

宮城県 御中

2022年3月28日

令和3年度地域経済構造分析推進業務
報告書(詳細版)

株式会社帝国データバンク

目次

1. 事業概要	...	4ページ
2. 地域経済分析		
2.1. 地域経済分析概要	...	6ページ
2.2. 地域経済分析結果	...	7ページ
3. 個人アンケート調査		
3.1. 個人アンケート調査概要	...	21ページ
3.2. 個人アンケート調査結果	...	24ページ
4. 企業アンケート調査		
4.1. 企業アンケート調査概要	...	36ページ
4.2. 企業アンケート調査の結果	...	37ページ
5. 企業ヒアリング調査		
5.1. 企業ヒアリング調査概要	...	50ページ
5.2. 企業ヒアリング調査結果	...	51ページ

目次

6. 経済波及効果の推計

- 6.1. 観光経済波及効果簡易推計システム概要 …… 70ページ
- 6.2. 推計に必要なデータの収集・入力 …… 75ページ
- 6.3. 推計結果 …… 93ページ

7. 参考資料

- 7.1. 個人アンケート調査票 …… 105ページ
- 7.2. 企業アンケート調査票 …… 108ページ
- 7.3. 企業ヒアリング調査票 …… 110ページ

1. 事業概要

【事業目的】

本業務は、国が提供する地域経済分析システム及びその他の行政機関や民間のビッグデータ、統計データ等を活用し、宮城県の観光産業が、地域を支える基幹産業として、特色ある地域資源を生かした各産業への経済波及効果や、県民の県内観光に対する消費行動が各地域の利益にどのようにつながり、持続可能な地域経済の発展にどの程度寄与しているのかの現状把握・分析を行うことを目的とする。

【事業実施期間】

2021年11月～2022年3月

【事業内容】

- ① 宮城県の産業構造分析
- ② 法人向けアンケート調査（2021年11月～12月）
- ③ 個人向けアンケート調査（2022年1月）
- ④ ヒアリング調査（2022年1月～2月）
- ⑤ 事業報告会・RESAS勉強会の実施（2022年3月）
- ⑥ 報告書の作成

地域經濟分析結果

2.地域経済分析

2.1. 地域経済分析概要

【目的】

宮城県の産業構造を全国と比較し、類似地域との相対的な産業的特徴を明らかにする。

また、宮城県内企業を業種分類毎に比較することで、宮城県内での相対的に特徴のある業種を明らかにする。

【使用データ】

1. RESAS

総務省「経済センサスー基礎調査」

総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」

観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」

2. V-RESAS

株式会社Agoop「流動人口データ」

Retty株式会社 Food Data Platform

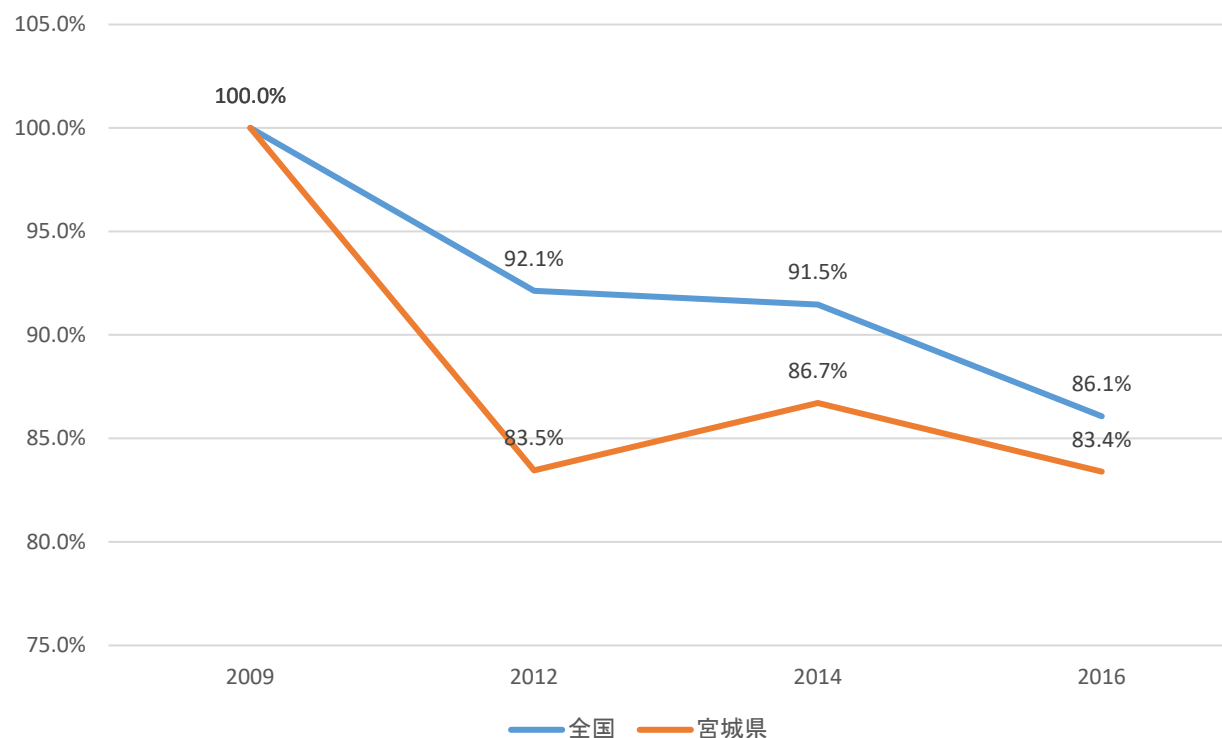
3. 帝国データバンク保有の企業情報データベース

【分析対象】・原則として宮城県内に本社のある企業

2.地域経済分析

2.2. 地域経済分析結果 全国と比較した企業数の推移

- 全国的に企業数は減少傾向であり、宮城県においてもその傾向は変わらない。
- 東日本大震災の影響が色濃く表れたと想定される2012年においては、減少幅が全国と比べ8.6ポイント多くなっている。



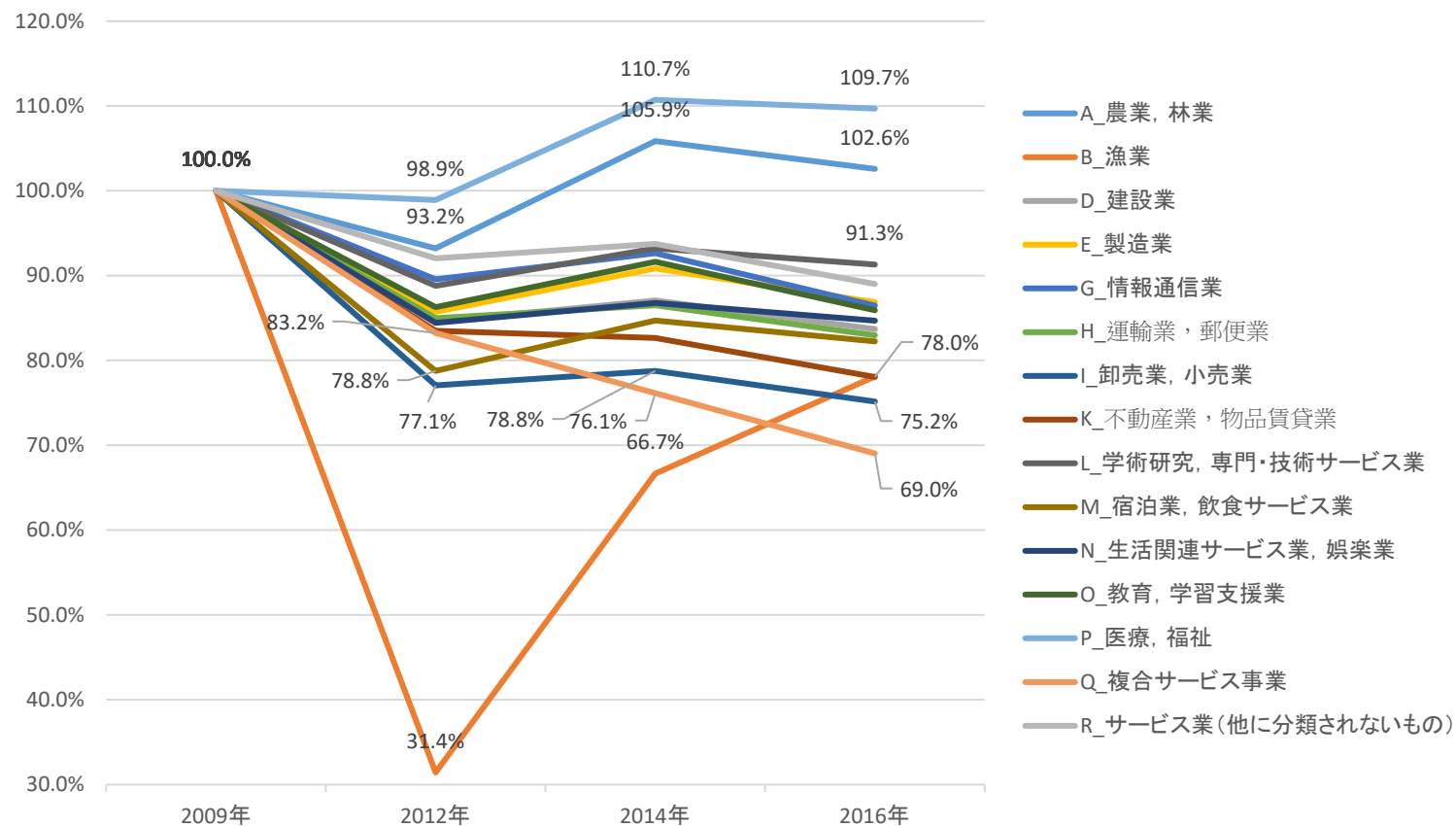
出典:総務省「経済センサスー基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」再編加工

※2009年の企業数を「100」として各年の伸び率を算出している。

2.1 地域経済分析

2.2 地域経済分析結果 宮城県内の業種別企業数の推移

- 「A_農業,林業」「P_医療,福祉」を除くすべての業種が2009年比で減少傾向
- 特に「B_漁業」は2012年に大幅に減少しており、2016年にかけて改善に向かっている。



出典:総務省「経済センサス-基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工

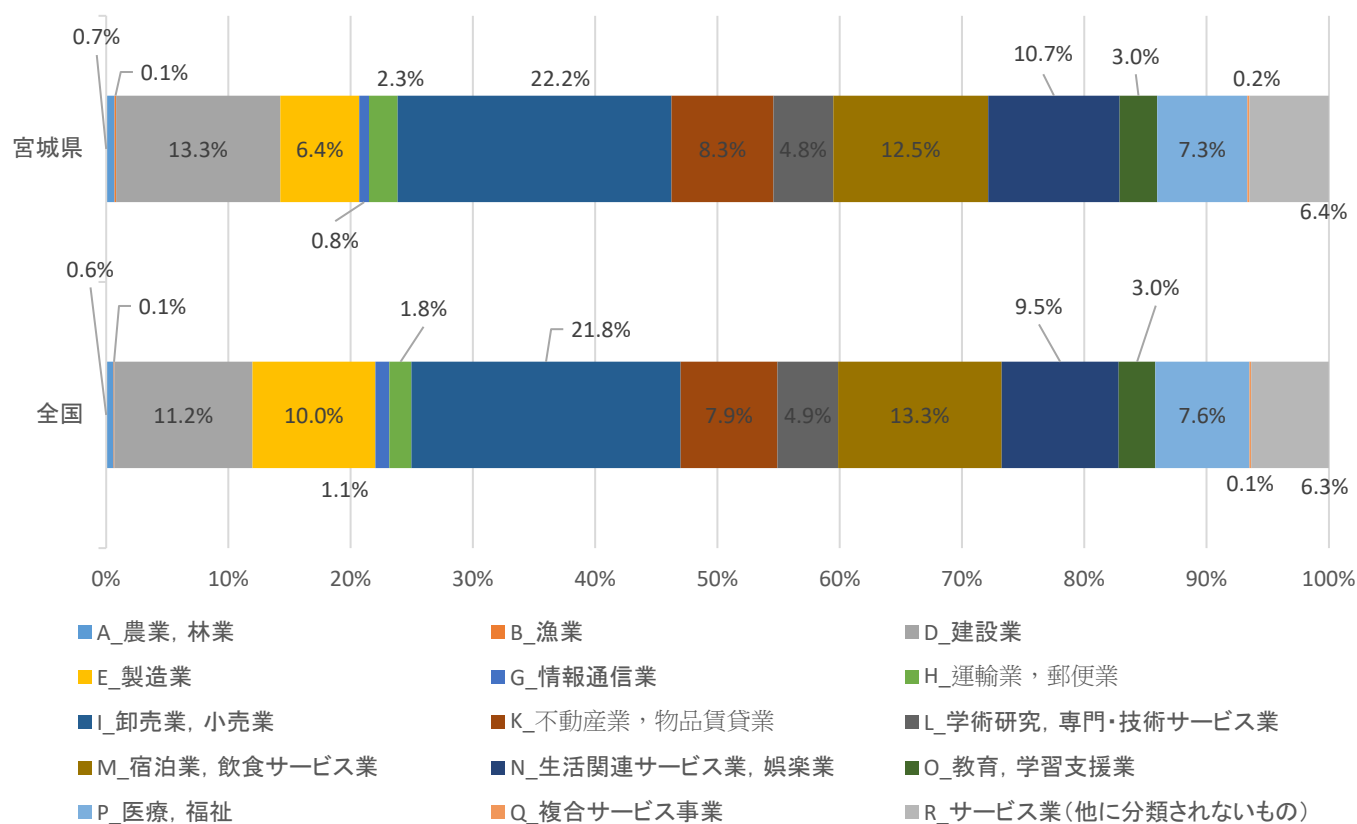
※2009年の企業数を「100」として各年の伸び率を算出している。

※2009年時点の企業数が100社以上の業種を表示している（金融業・保険業を除く）。

2.地域経済分析

2.2. 地域経済分析結果 業種別企業数割合

- 2016年における業種別企業数割合をみると、全国の構成比と大きな変動はない。
- そうした中においても、「D_建設業」の割合は13.3%と全国（11.2%）に比べ高く、「E_製造業」は6.4%と全国（10.0%）を下回っている。



出典:RESAS（総務省「経済センサスー基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」再編加工）

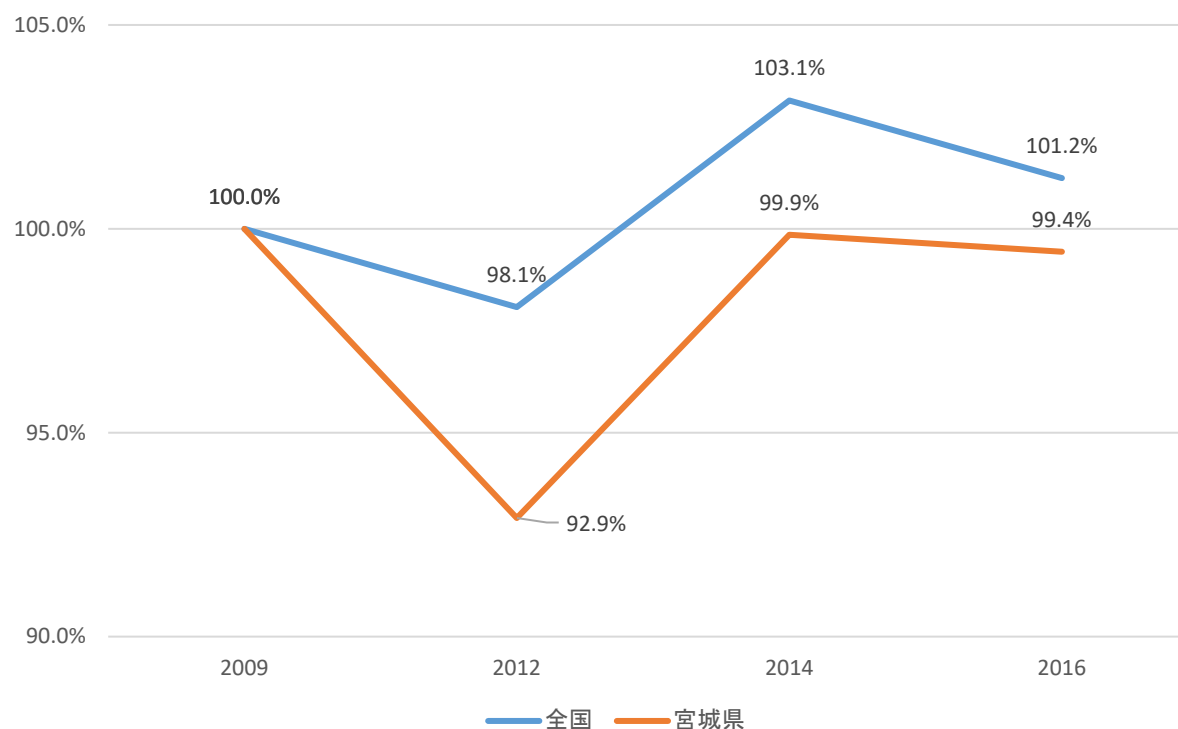
※2009年の企業数を「100」として各年の伸び率を算出している。

※2009年時点の企業数が100社以上の業種を表示している（金融業・保険業を除く）。

2.地域経済分析

2.2. 地域経済分析結果 全国と比較した従業員数の推移

- 推移の傾向は全国と同様であるものの、全国的には従業員数は2009年比で増加しているが、宮城県においては2009年を割り込んでいる。

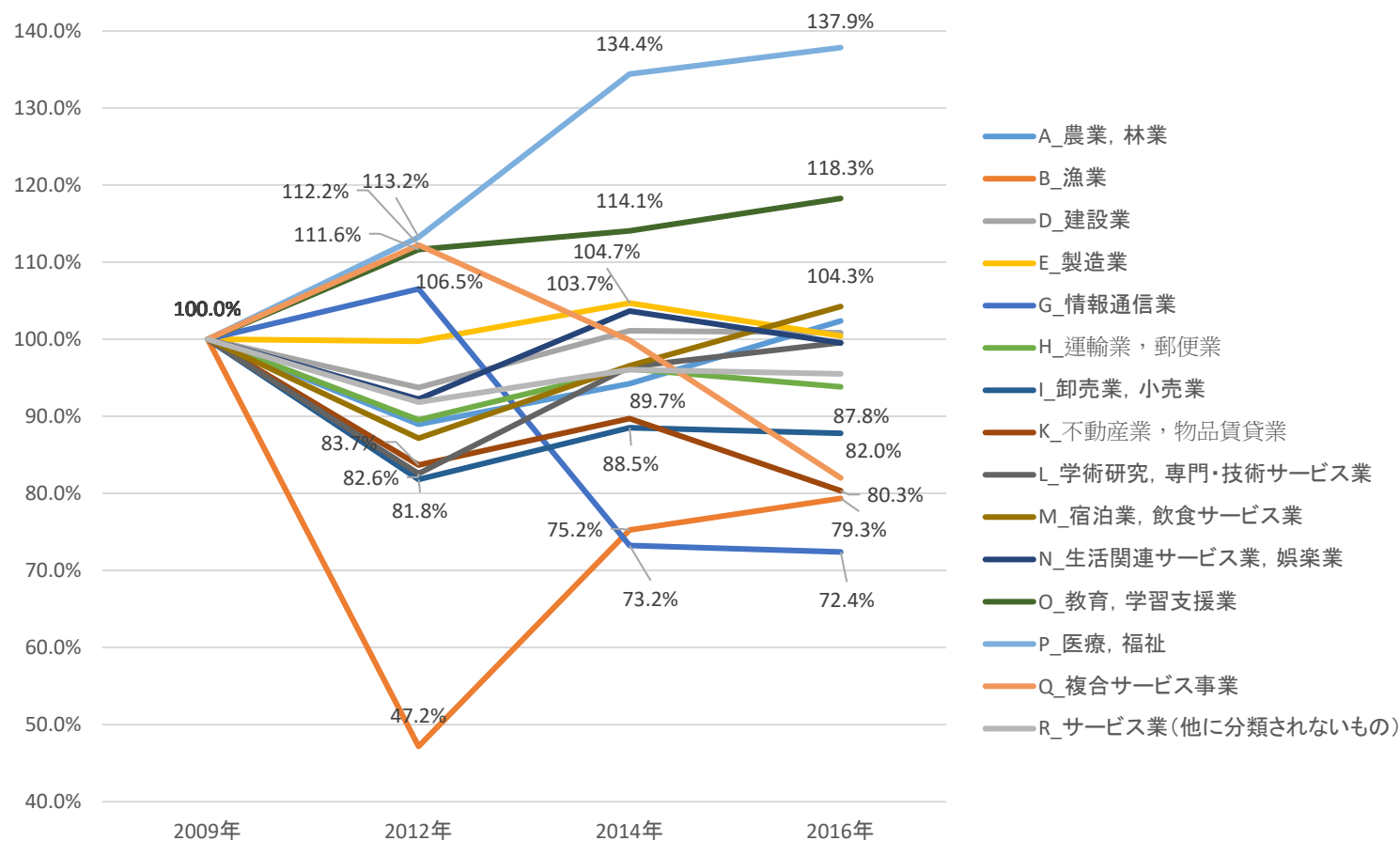


出典:総務省「経済センサス-基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工
※2009年の企業数を「100」として各年の伸び率を算出している。
※2009年時点の企業数が100社以上の業種を表示している（金融業・保険業を除く）。

2.地域経済分析

2.2. 地域経済分析結果 宮城県内の業種別従業員数の推移

- 2009年比の業種別従業員数の推移は業種によるばらつきが大きい。
- 「O_教育, 学習支援業」、「P_医療, 福祉」などの伸びが著しい一方で、「B_漁業」、「G_情報通信業」の減少幅が大きい結果となった。



出典:総務省「経済センサス基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工

※2009年の従業員数を「100」として各年の伸び率を算出している。

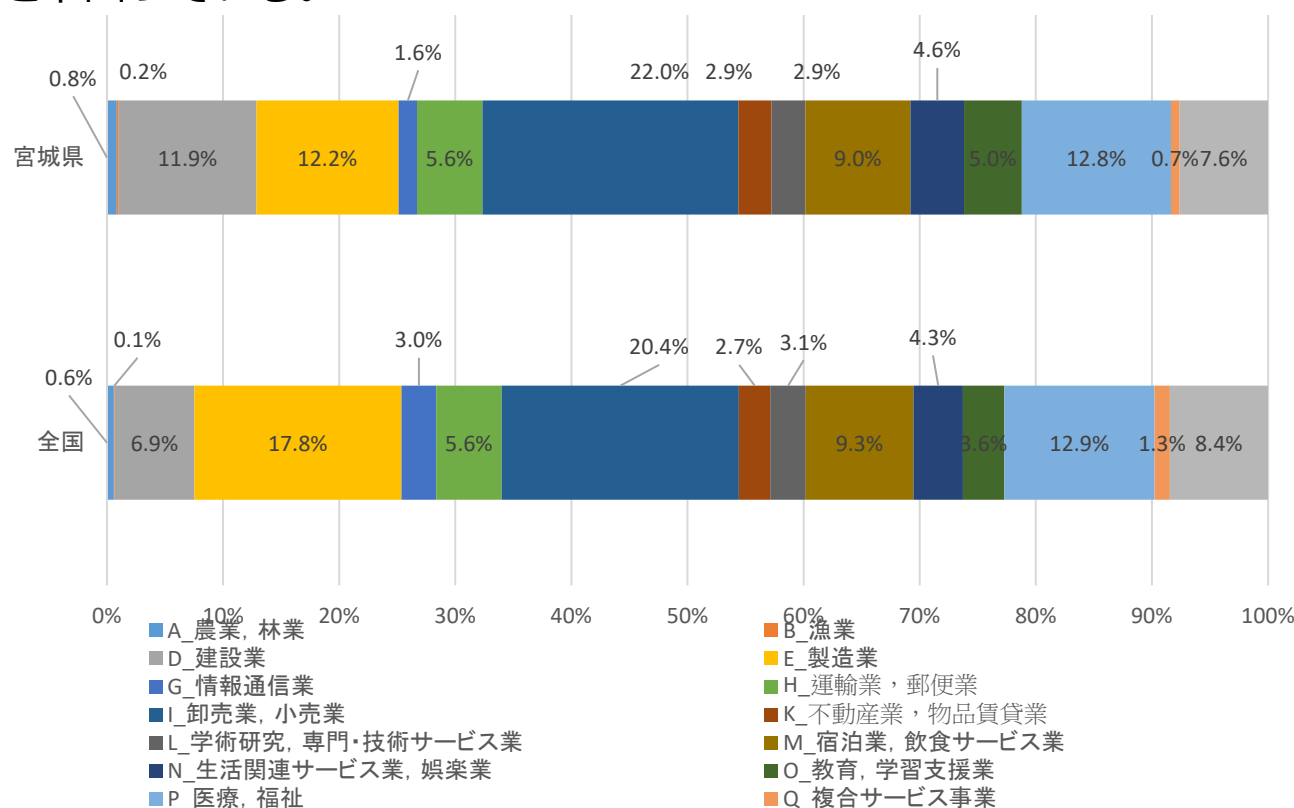
※2009年時点の企業数が100社以上の業種を表示している（金融業・保険業を除く）。

2.地域経済分析

2.2. 地域経済分析結果

類似地域と比較した業種別従業員数割合

- 2016年における業種別従業員数割合をみると、全国とおおむね同様の傾向となった。
- 「D_建設業」の割合は11.9%と全国（6.9%）に比べ高く、「E_製造業」は12.2%と全国（17.8%）を下回っている。

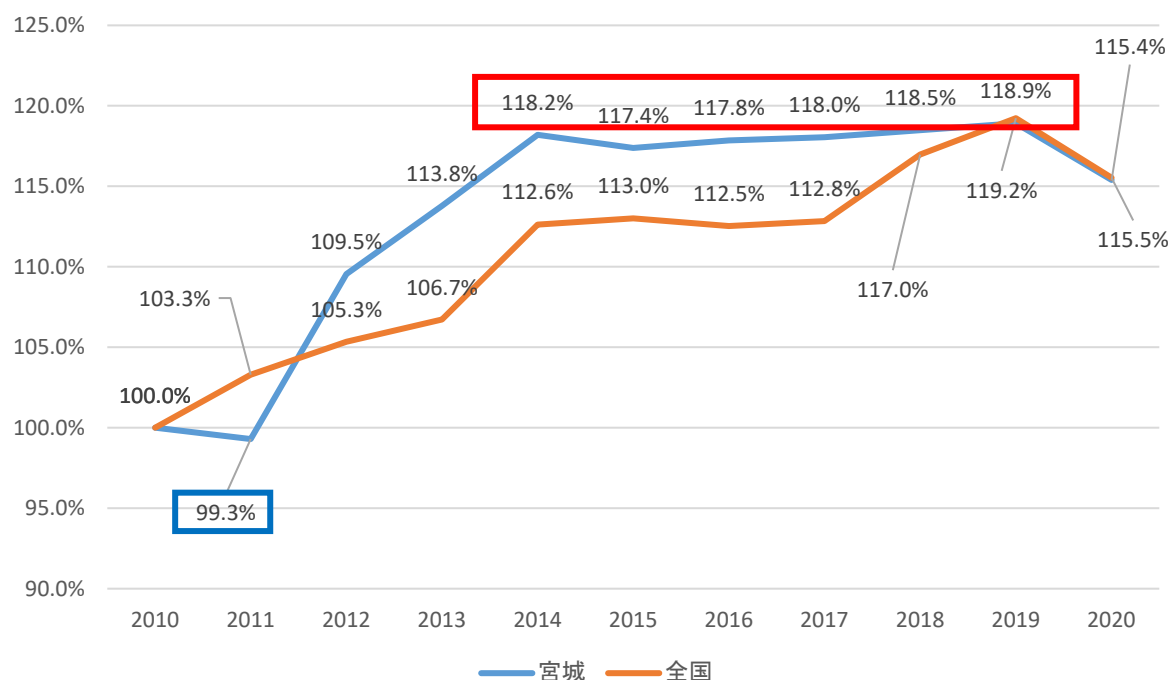


出典:RESAS（総務省「経済センサス基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工）
※2009年の従業員数を「100」として各年の伸び率を算出している。
※2009年時点の企業数が100社以上の業種を表示している（金融業・保険業を除く）。

2.地域経済分析

2.2. 地域経済分析結果 全国と比較した売上高の推移

- 2011年度に2010年度比で0.7ポイント減少したものの、以降は全国を上回る状況が続いた。
- 2014年度から2019年度の期間は横ばいが続いていたが、2020年度はマイナス成長となり、全国を下回った。



出典:帝国データバンク COSMOS2

※2010年の売上高合計を「100」として各年の伸び率を算出している。

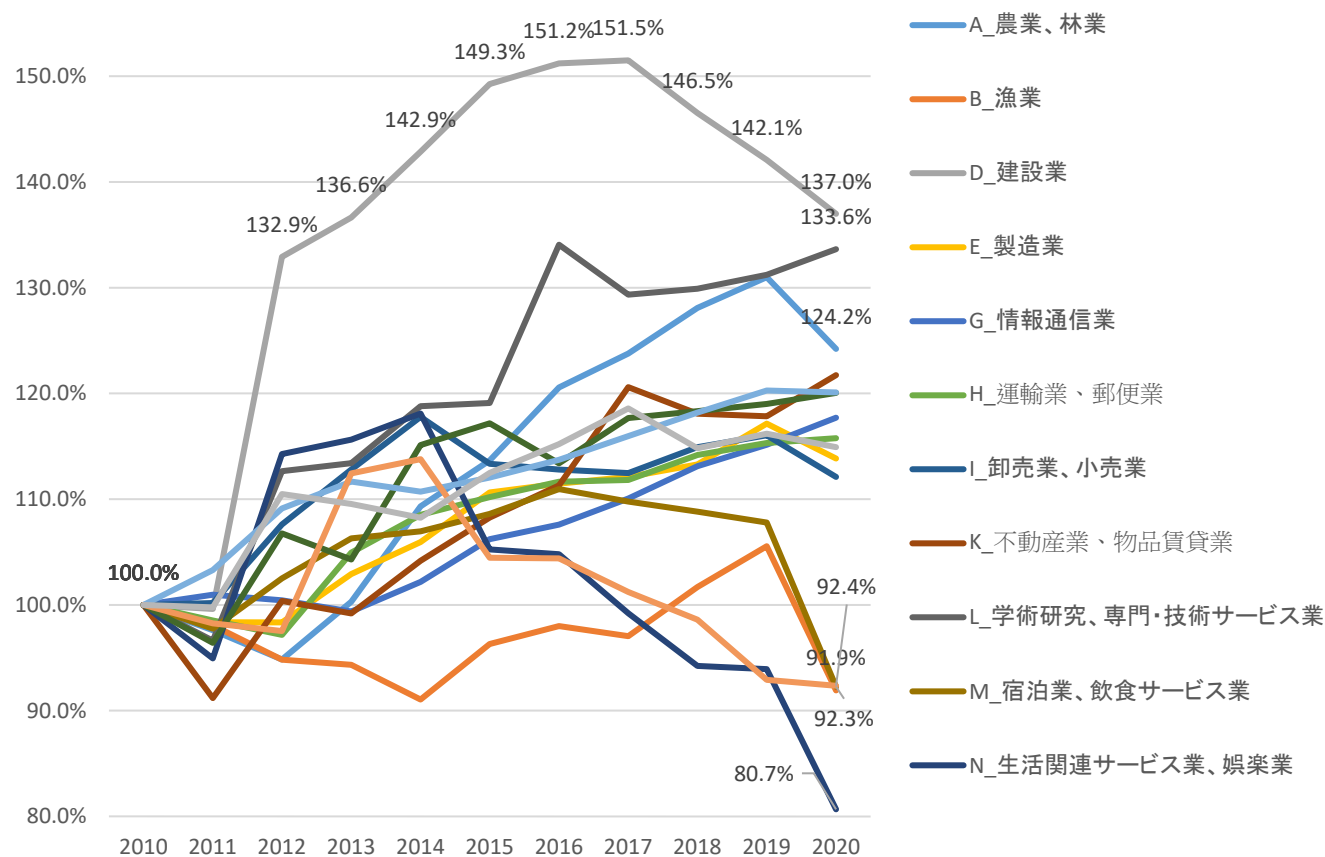
※COSMOS2に2011~2020年に毎年収録があり、業種に変更が内企業を対象としている。

※※2009年時点の企業数が100社以上の業種と「J_金融業・保険業」を除いている。

2.地域経済分析

2.2. 地域経済分析結果 宮城県内の業種別売上高の推移

- 「D_建設業」が大幅に2011年から2012年にかけて30%以上の伸びを記録し、2017年には2010年比で50ポイント以上の増加となった。
- 一方で、「N_生活関連サービス業」など4業種は2010年の数値を下回った。



出典:帝国データバンク COSMOS2

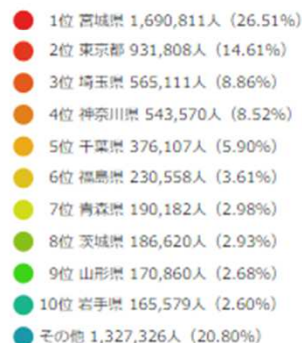
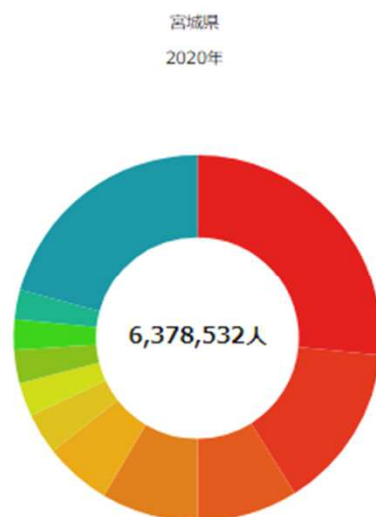
※2010年の売上高合計を「100」として各年の伸び率を算出している。
※COSMOS2に2011~2020年に毎年収録があり、業種に変更が内企業を対象としている。
※2009年時点の企業数が100社以上の業種と「J_金融業・保険業」を除いている。

2.地域経済分析

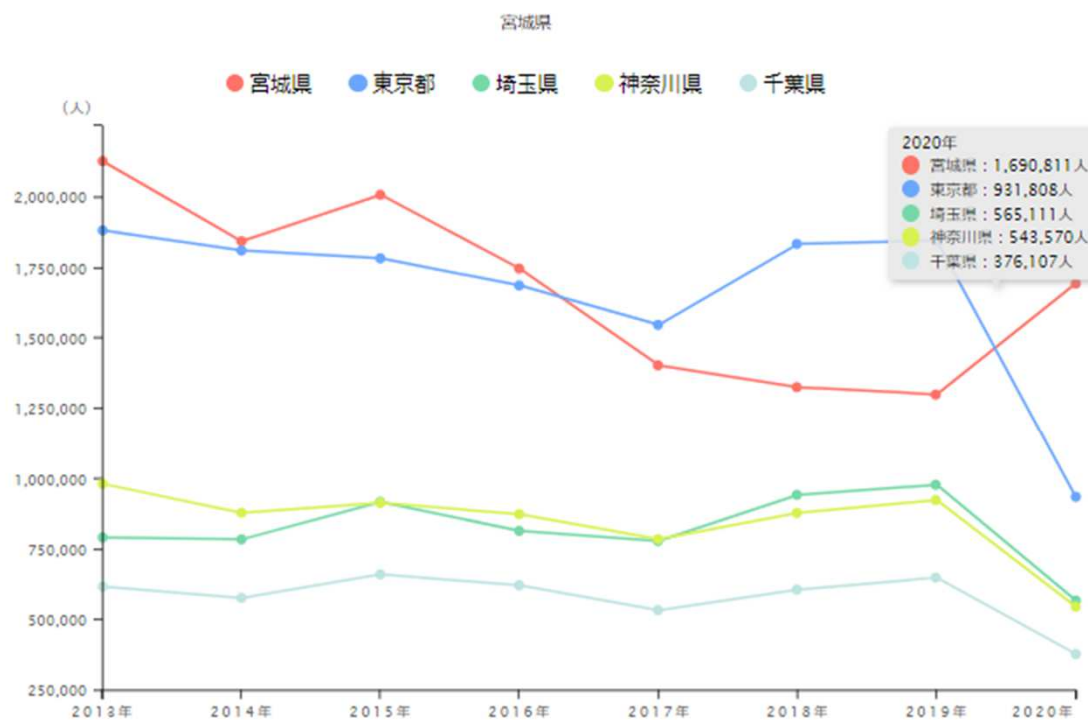
2.2. 地域経済分析結果 宮城県内の観光業に関する統計

- 宮城県に宿泊した日本人の居住都道府県をみると、2017年から2019年にかけては「東京都」からの宿泊者が最も多かったものの、2020年においては「宮城県」が最も多い。

居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の構成割合



居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の推移



【出典】

RESAS（観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」）

2.地域経済分析

2.2. 地域経済分析結果 宮城県内の観光業に関する統計

- 県内における滞在人口の動向を確認すると、コロナ禍において宮城県内、宮城県外ともに滞在人口は同期比で減少しているものの、減少幅は県外からの移動のほうが大きい。

滞在人口の推定居住地：

■ 市区町村内 ■ 都道府県内 ■ 都道府県外



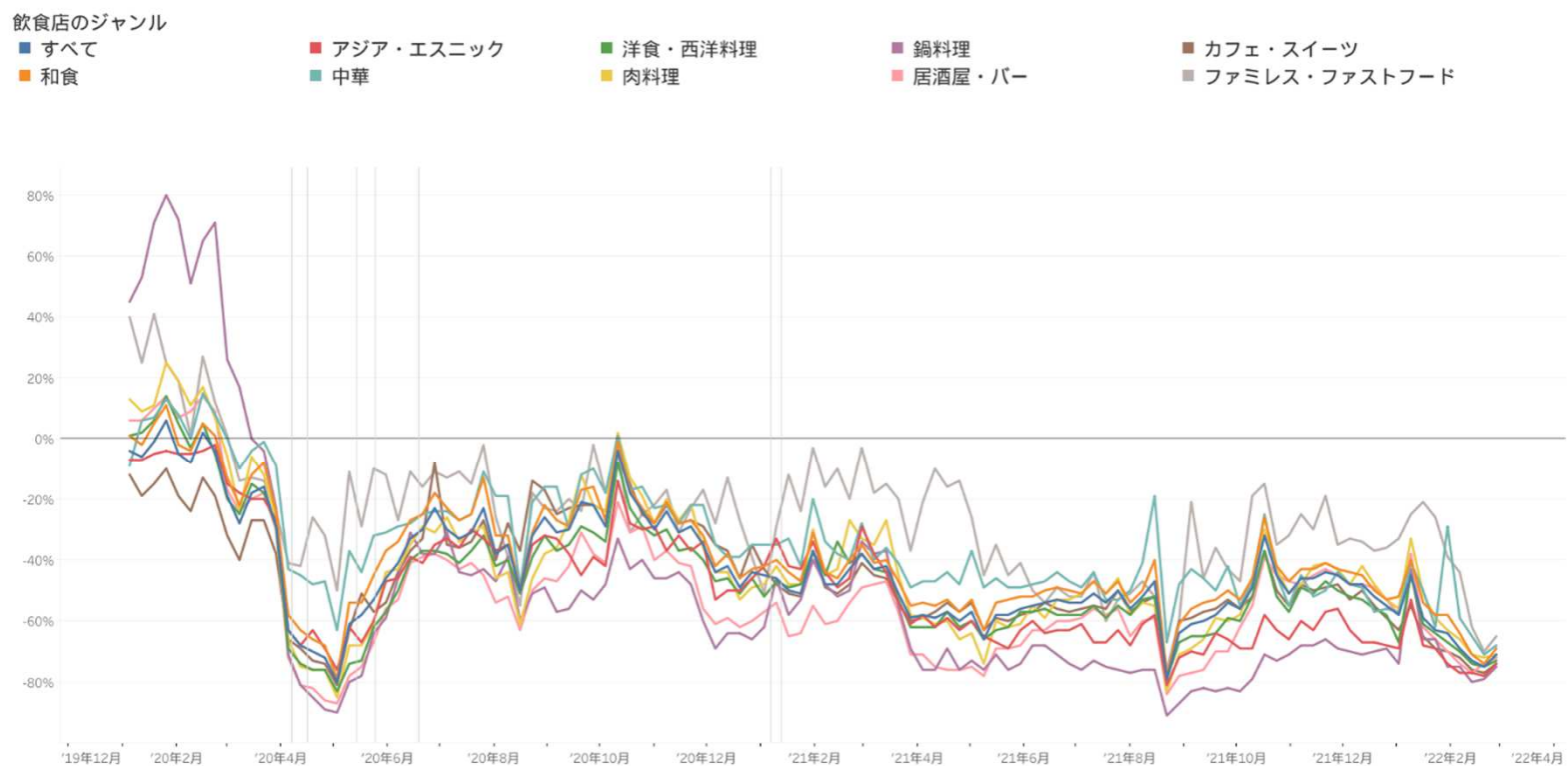
V-RESAS <https://v-resas.go.jp>

出典：株式会社Agoop「流動人口データ」（GPSデータを元に換算処理を施した人口換算値）を元に集計

2.地域経済分析

2.2. 地域経済分析結果 宮城県内の観光業に関する統計

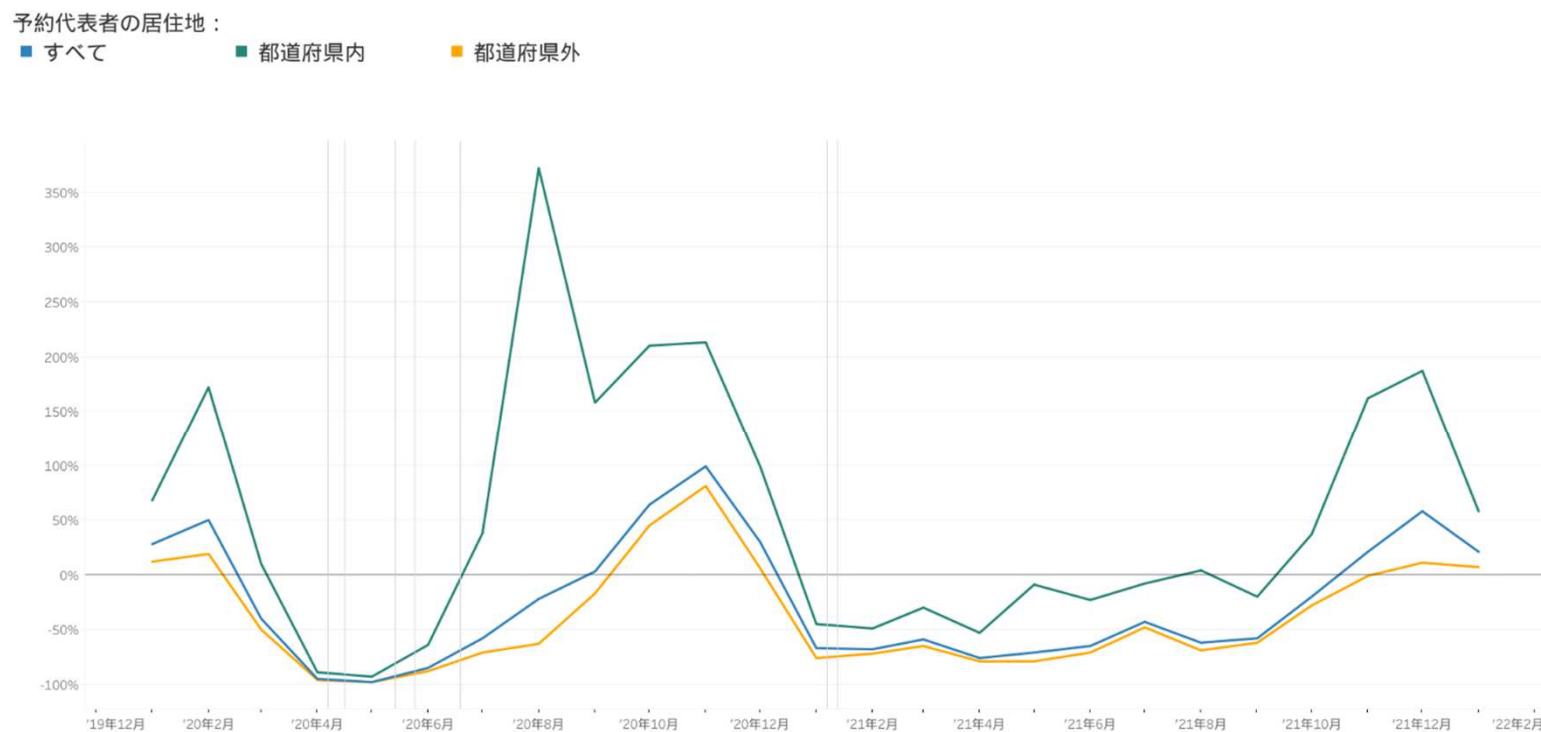
- 宮城県内における飲食店情報の閲覧数においては、国内において新型コロナウイルスの影響が拡大した2020年3月に大幅に低下し、2月時点でも元の水準に回復は行っていない。



2.地域経済分析

2.2. 地域経済分析結果 宮城県内の観光業に関する統計

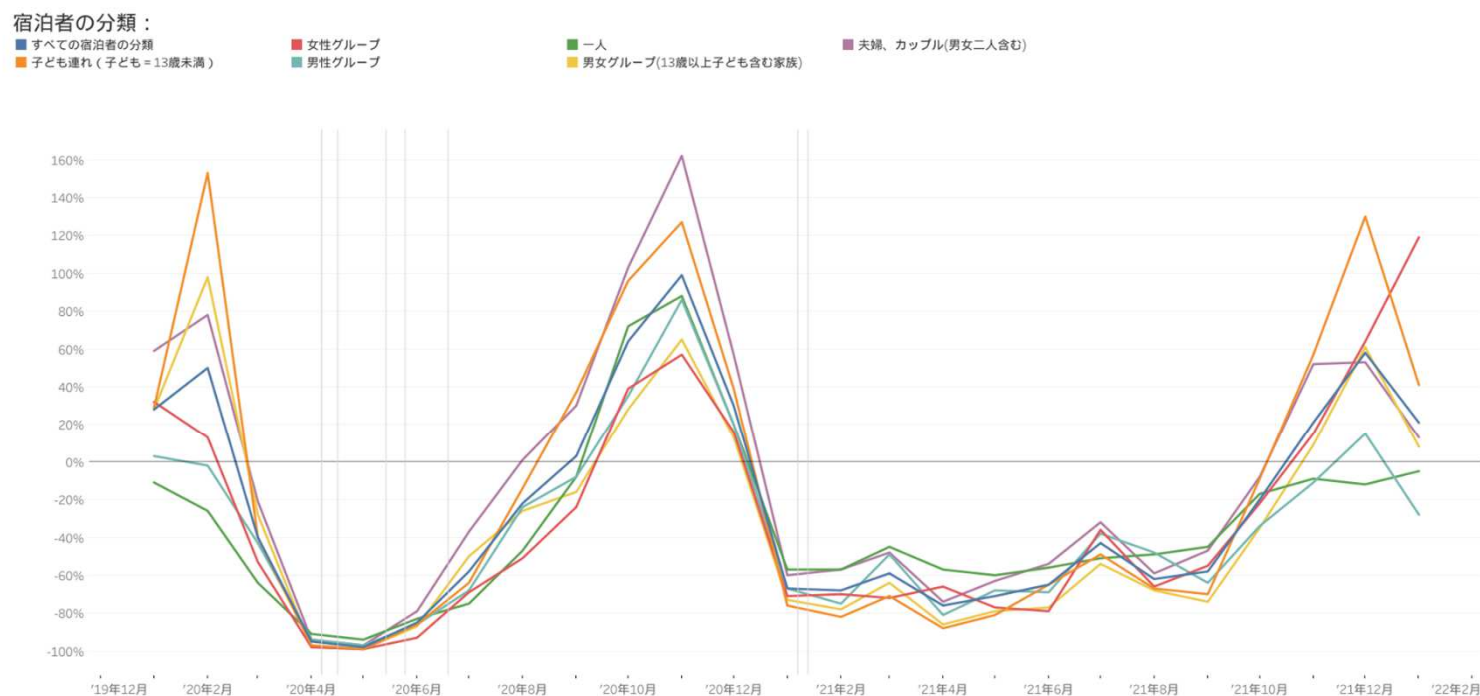
- 宮城県に宿泊した日本人の居住都道府県をみると、宮城県内外の在住者のいずれにおいても大幅に減少しているが、その後の改善幅においては、宮城県内居住者が劇的な改善を見せている。



2.地域経済分析

2.2. 地域経済分析結果 宮城県内の観光業に関する統計

- コロナ禍における宿泊者分類を確認すると、コロナ禍以前では最も伸びていた「子ども連れ（13歳未満の子ども）」が減少し、「夫婦、カップル（男女2人を含む）」が最も増加幅として大きくなるなど、少人数での旅行意識の高まりがうかがえる。



個人アンケート調査結果

3.個人アンケート調査

3.1.個人アンケート調査概要

【調査対象】

提携する調査会社が保有するモニターに登録している、宮城県内に居住する15～79歳の男女42,084名

地区	仙南地区	仙台地区	大崎地区	栗原地区	登米地区	石巻地区	気仙沼地区	合計
対象者数	2,196	32,924	2,475	645	797	2,316	731	42,084

【調査方法】 Webアンケート調査（48時間で実施）

【回収数】 2,500件

※異常値削除のため旅行回数21回以上のデータ（24件、全体の上位1%）は削除し、計2,476者で集計を行っている。

※SA：単一回答、MA：複数回答可、FA：自由記載、N：有効回答数 を表す。

※四捨五入を行っているため、合計が100%にならないこともる。

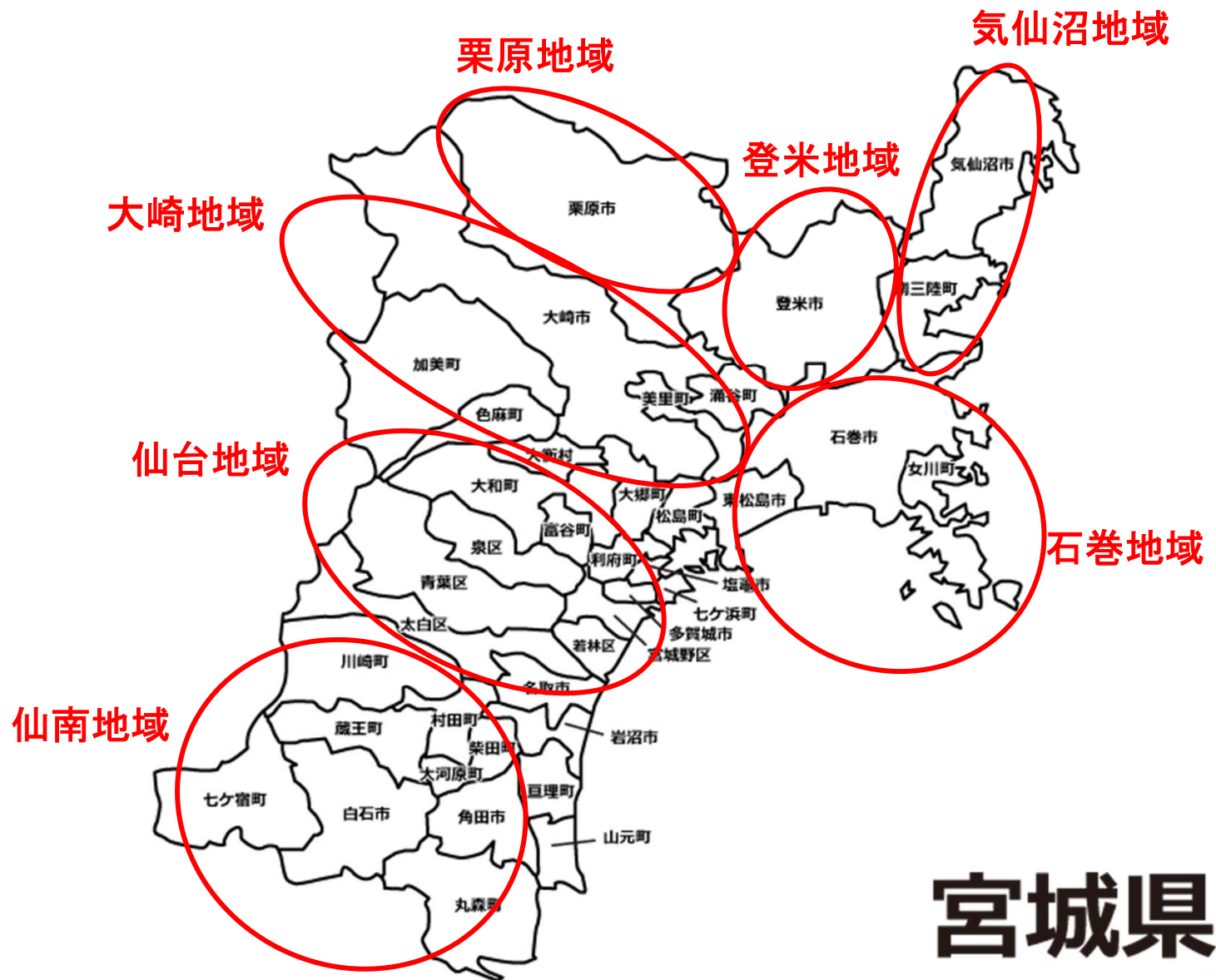
Appendix 地区と市町村の対応

地域	市町村名
仙南地域	白石市
	角田市
	刈田郡蔵王町
	刈田郡七ヶ宿町
	柴田郡大河原町
	柴田郡村田町
	柴田郡柴田町
	柴田郡川崎町
	伊具郡丸森町

地域	市町村名
仙台地域	仙台市 (旧仙台市、旧泉市、 旧秋保町、旧宮城町)
	塩竈市
	名取市
	多賀城市
	岩沼市
	富谷市
	亘理郡亘理町
	亘理郡山元町
	宮城郡松島町
	宮城郡七ヶ浜町
	宮城郡利府町
	黒川郡大和町
	黒川郡大郷町
	黒川郡大衡村

地域	市町村名
大崎地域	大崎市 (旧岩出山町、旧鳴子町、 その他)
	加美郡加美町
	加美郡色麻町
	遠田郡涌谷町
	遠田郡美里町
栗原地域	栗原市
登米地域	登米市
石巻地域	石巻市
	東松島市
	牡鹿郡女川町
気仙沼地域	気仙沼市
	本吉郡南三陸町

Appendix 地区と市町村の対応

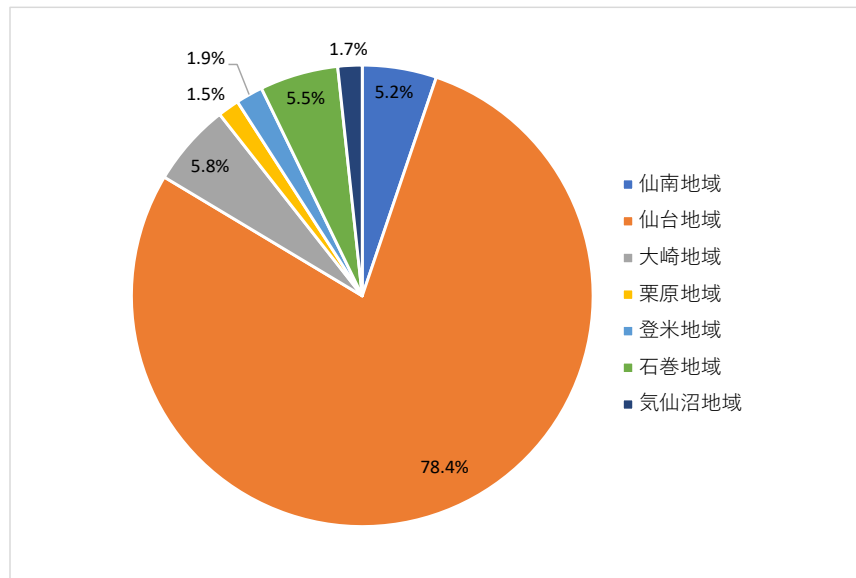


3.個人アンケート調査

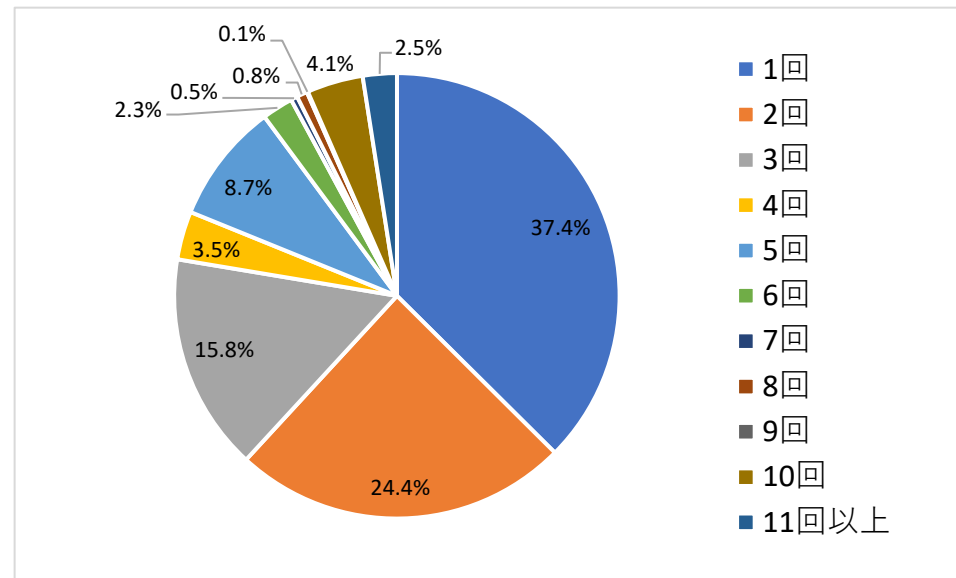
3.2.個人アンケート調査結果 回答者の基本情報

- 「仙台地域」からの回答が78.4%と最も多く、他の地域からの回答は多くても6%未満であった。
- 2020年1月～12月における県内旅行に行った回数は、1回が37.4%と最も多く、6回以上行ったのは10.3%と全体の1割にとどまった。

現在の居住地区 (SA) N=2,476



旅行回数 (SA) N=2,476

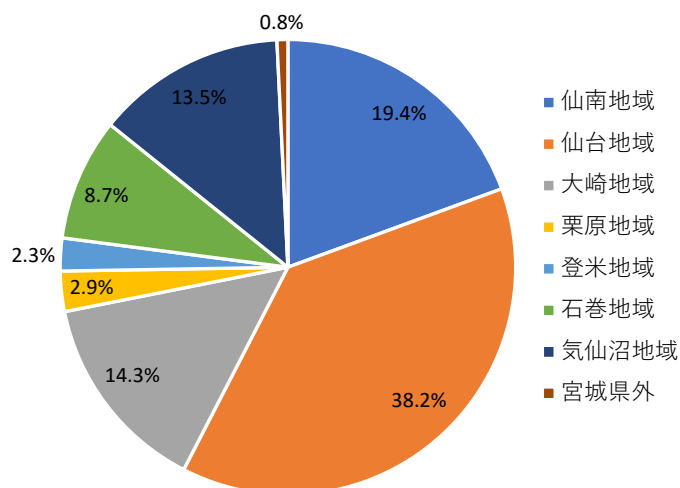


3.個人アンケート調査

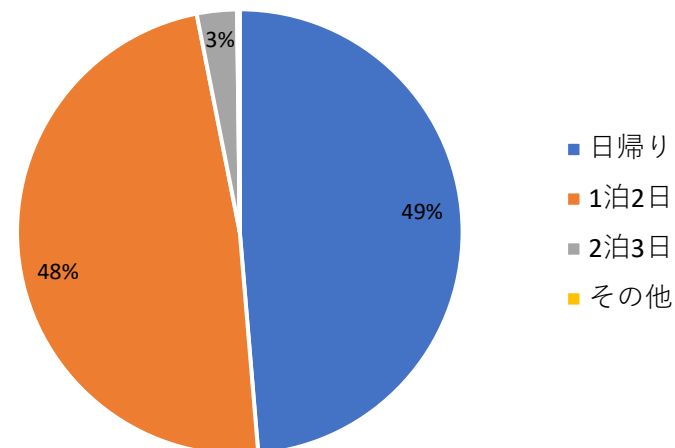
3.2.個人アンケート調査結果 旅行先と宿泊数

- 県内旅行先として最も多い地域は「仙台地域」で38.2%であり、次いで「仙南地域」で19.4%である。
- 泊数は「日帰り」が最も多く49%、次いで「1泊2日」が48%であり、2日以内の旅行がほとんどである。

旅行先 (SA) N=4,025



宿泊数 (SA) N=4,025

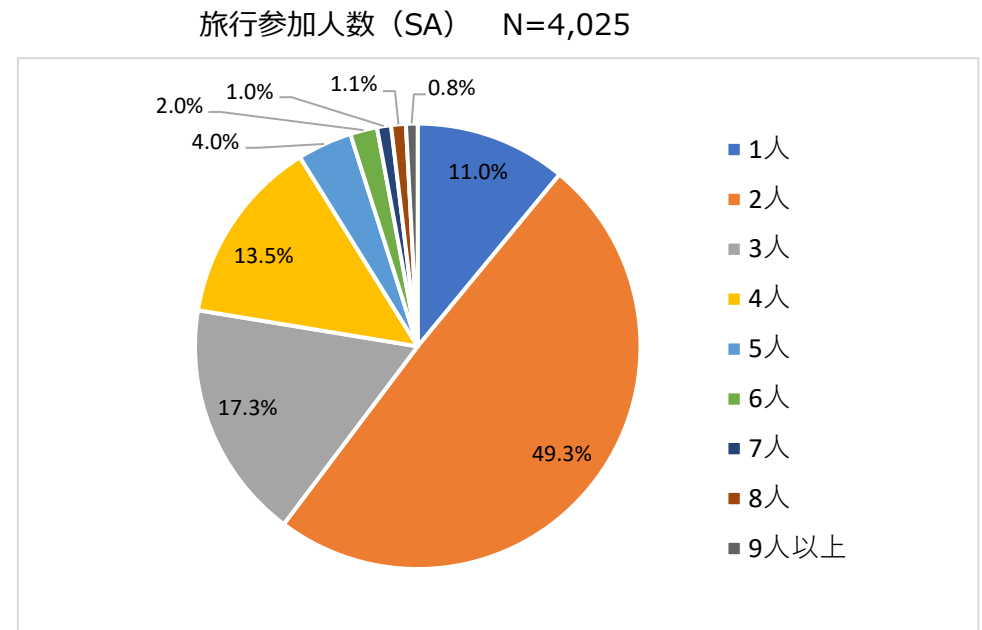
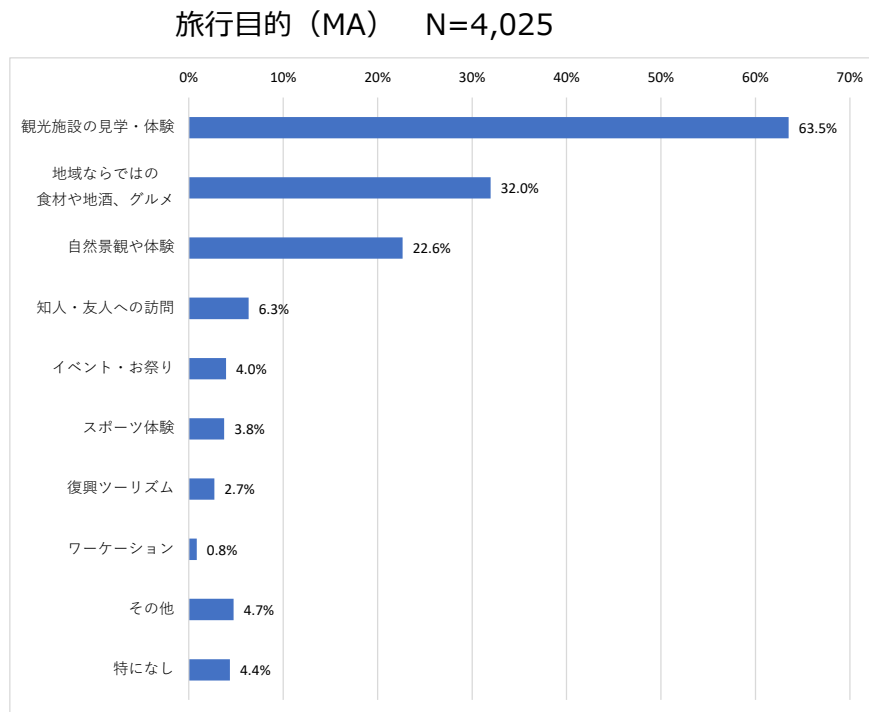


※直近から最大2回の県内旅行について回答を求めている。

3.個人アンケート調査

3.2.個人アンケート調査結果 旅行目的と参加人数

- 旅行目的としては、「観光施設の見学・体験」が63.5%と最も多く、「地域ならではの食材や地酒、グルメ」が32.0%、「自然景観や体験」が22.6%と続く。
- 旅行の人数としては「2人」以下が60.3%と全体の6割以上を占め、少人数での旅行が多い。



※直近から最大2回の県内旅行について回答を求めている。

3.個人アンケート調査

3.2.個人アンケート調査結果 県内旅行の出発地・目的地

- 旅行先は、どの地域からも「仙台地域」が最も多く、「栗原地域」「登米地域」からは「気仙沼地域」への旅行が20%を超え、各地区からの旅行者も多い。
- 「仙台地域」を除く旅行先としては「仙南地域」「大崎地域」が多い。

各地区からの旅行先 (SA) N=4,025

		旅行先							合計	
		仙南地域	仙台地域	大崎地域	栗原地域	登米地域	石巻地域	気仙沼地域		宮城県外
居住地	仙南地域	40 (19.0%)	93 (44.3%)	23 (11.0%)	6 (2.9%)	3 (1.4%)	22 (10.5%)	23 (11.0%)		210 (100.0%)
	仙台地域	665 (21.1%)	1183 (37.5%)	435 (13.8%)	79 (2.5%)	76 (2.4%)	291 (9.2%)	394 (12.5%)	29 (0.9%)	3152 (100.0%)
	大崎地域	32 (13.4%)	89 (37.2%)	46 (19.2%)	10 (4.2%)	5 (2.1%)	12 (5.0%)	44 (18.4%)	1 (0.4%)	239 (100.0%)
	栗原地域	5 (8.5%)	21 (35.6%)	10 (16.9%)	6 (10.2%)	0 (0.0%)	2 (3.4%)	15 (25.4%)		59 (100.0%)
	登米地域	7 (9.3%)	25 (33.3%)	16 (21.3%)	3 (4.0%)	2 (2.7%)	7 (9.3%)	15 (20.0%)		75 (100.0%)
	石巻地域	32 (14.6%)	86 (39.3%)	34 (15.5%)	8 (3.7%)	5 (2.3%)	10 (4.6%)	43 (19.6%)	1 (0.5%)	219 (100.0%)
	気仙沼地域		39 (54.9%)	12 (16.9%)	3 (4.2%)	3 (4.2%)	6 (8.5%)	8 (11.3%)		71 (100.0%)
合計		781	1536	576	115	94	350	542	31	4025

※20%を超える部分に網掛けを行っている。

3.個人アンケート調査

3.2.個人アンケート調査結果 各地区への旅行目的

- 各地域への旅行目的としては、全ての地域で「観光施設の見学・体験」が最も多い。
- 栗原地域では「自然景観や体験」を目的とした旅行が約2割を占める。また、宮城県外には「イベント・お祭り」を目的とした旅行も約1割を占める。

各地域への旅行目的 (SA) N=4,025

		観光施設の見学・体験	自然景観や体験	地域ならではの食材や地酒、グルメ	スポーツ体験	知人・友人への訪問	ワーケーション	復興ツーリズム	イベント・お祭り	その他	特になし
旅行先	仙南地域	45.3%	18.5%	19.7%	3.7%	3.2%	0.6%	1.2%	2.3%	3.6%	2.0%
	仙台地域	45.2%	13.1%	21.3%	2.7%	4.6%	0.8%	0.8%	3.2%	4.0%	4.2%
	大崎地域	51.5%	16.1%	19.3%	1.4%	2.9%	0.3%	0.4%	1.8%	3.8%	2.4%
	栗原地域	30.9%	23.0%	21.7%	5.9%	9.9%	0.0%	1.3%	2.0%	3.3%	2.0%
	登米地域	40.2%	18.2%	18.9%	2.3%	7.6%	0.0%	3.0%	2.3%	3.8%	3.8%
	石巻地域	38.1%	14.5%	25.0%	3.3%	6.1%	0.7%	5.2%	3.9%	1.5%	1.7%
	気仙沼地域	38.2%	17.0%	28.7%	0.9%	4.3%	0.3%	4.6%	1.9%	1.5%	2.5%
	宮城県外	47.4%	10.5%	13.2%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	10.5%	5.3%	10.5%
計	43.9%	15.6%	22.1%	2.6%	4.4%	0.6%	1.9%	2.7%	3.3%	3.0%	

※20%を超える部分に網掛けを行っている。

3.個人アンケート調査

3.2.個人アンケート調査結果 各地区のイメージ

- 仙台地域のイメージはプラスの印象が多く、マイナスの印象はほとんどない。
- 仙台地域以外のイメージは「自然が豊富」が半分近くであり、「交通の便が悪い」印象が多い。
- 栗原地域、登米地域、石巻地域ではイメージが「特になし」と回答した企業が20%を超えている。

Q12.各地区のイメージ (MA) N=2,476

	商業施設が豊富	自然が豊富	文化的観光施設が豊富	レジャー向け観光施設が豊富	歴史的・文化的建造物が豊富	交通の便が良い	宿泊施設が多い	ビジネスでの活用	若者に人気	商業施設が少ない	交通の便が悪い	特になし
仙南地域	5.3%	69.6%	11.0%	19.5%	16.8%	7.6%	13.3%	1.3%	1.5%	23.4%	20.6%	13.7%
仙台地域	69.2%	27.7%	40.3%	27.8%	26.2%	52.5%	41.4%	22.5%	25.8%	1.2%	2.0%	9.4%
大崎地域	2.5%	63.0%	8.5%	9.6%	10.4%	5.6%	10.5%	1.3%	1.3%	24.2%	26.6%	18.0%
栗原地域	1.2%	58.8%	4.1%	5.0%	5.4%	2.7%	2.2%	0.8%	0.7%	23.6%	31.0%	24.2%
登米地域	1.3%	49.3%	13.9%	2.7%	13.9%	3.1%	1.8%	1.0%	0.6%	18.4%	29.4%	25.2%
石巻地域	18.6%	49.6%	17.3%	9.9%	10.0%	13.1%	8.8%	2.5%	2.5%	8.6%	13.0%	20.5%
気仙沼地域	6.6%	60.9%	8.8%	6.1%	4.6%	4.6%	6.7%	1.7%	1.3%	12.8%	27.2%	18.3%

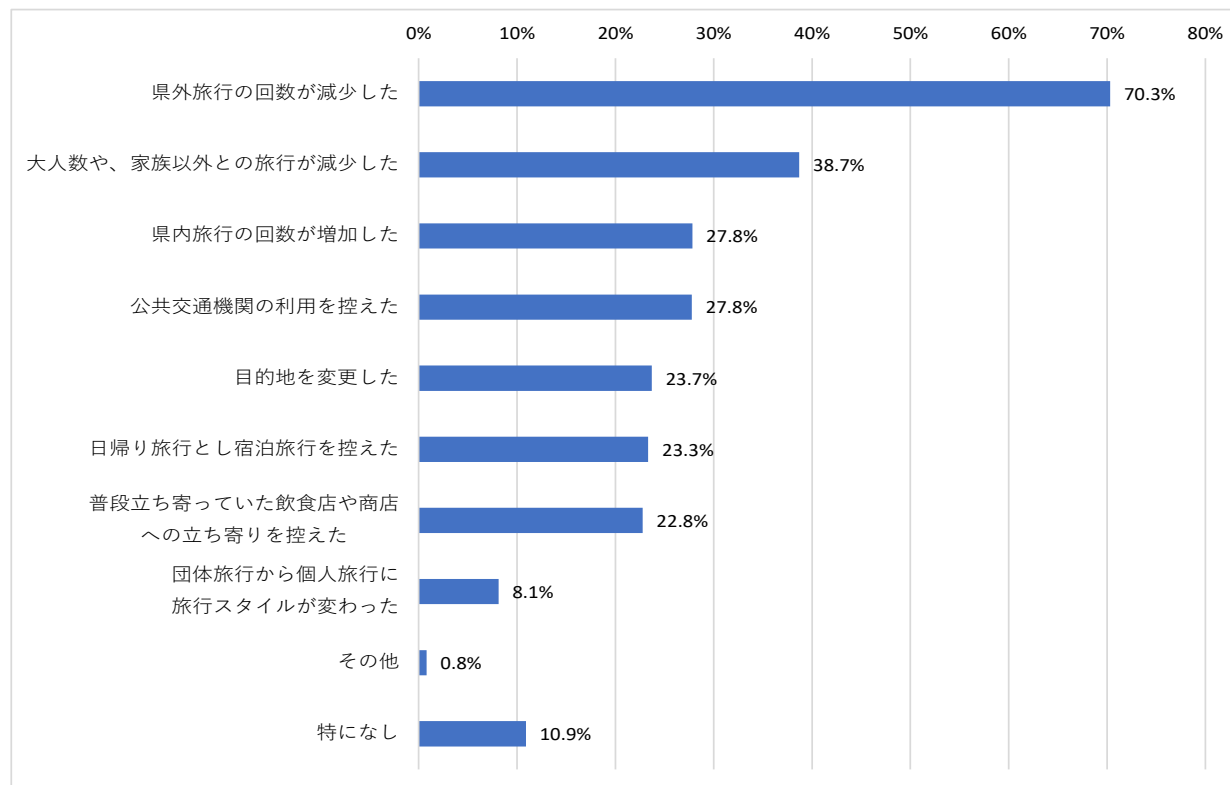
※視認性向上のため、一部選択肢を除外している。
 ※20%を超える部分に網掛けを行っている。

3.個人アンケート調査

3.2.個人アンケート調査結果 新型コロナウイルスの影響

- 新型コロナウイルスの旅行への影響としては、「県外旅行の回数が減少した」が70.3%と最も多く、「県内旅行の回数が増加した」は27.8%となった。

Q11.新型コロナウイルスの影響 (MA) N=2,476



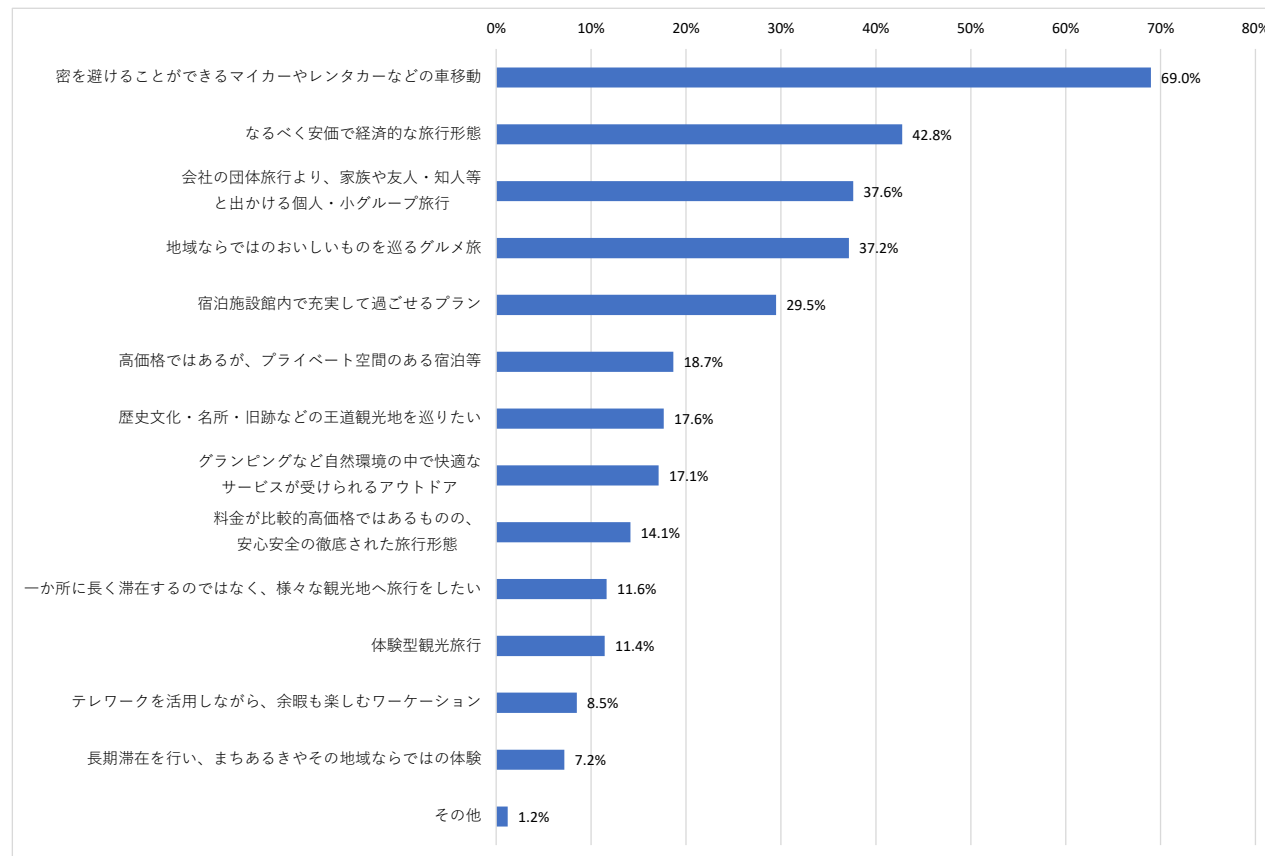
3.個人アンケート調査

3.2.個人アンケート調査結果

新型コロナウイルスを踏まえた魅力的な旅行形態

- 「密を避けることができるマイカーやレンタカーなどの車移動」が69.0%と最も多く、「なるべく安価で経済的な旅行形態」が42.8%であった。

Q13.魅力的な旅行形態 (MA) N=2,476

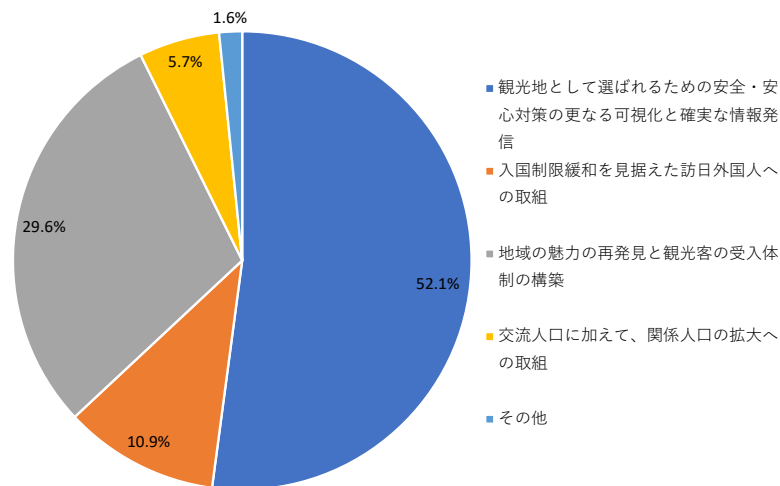


3.個人アンケート調査

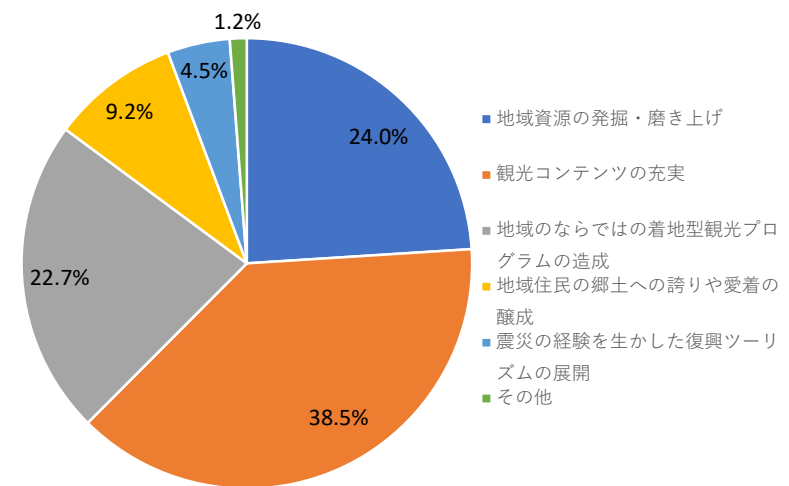
3.2.個人アンケート調査結果 観光産業のために必要な施策

- 観光需要回復に必要なこととしては「観光地として選ばれるための安全・安心対策の更なる可視化と確実な情報発信」が52.1%であった。
- 魅力あふれる観光地づくりとしては「観光コンテンツの充実」が38.5%と最も多く、「地域資源の発掘・磨き上げ」が24.0%、「地域ならではの着地型観光プログラムの造成」が22.7%となった。

Q14.観光需要回復に必要なこと (SA) N=2,476



Q15.魅力あふれる観光地づくり (SA) N=2,476

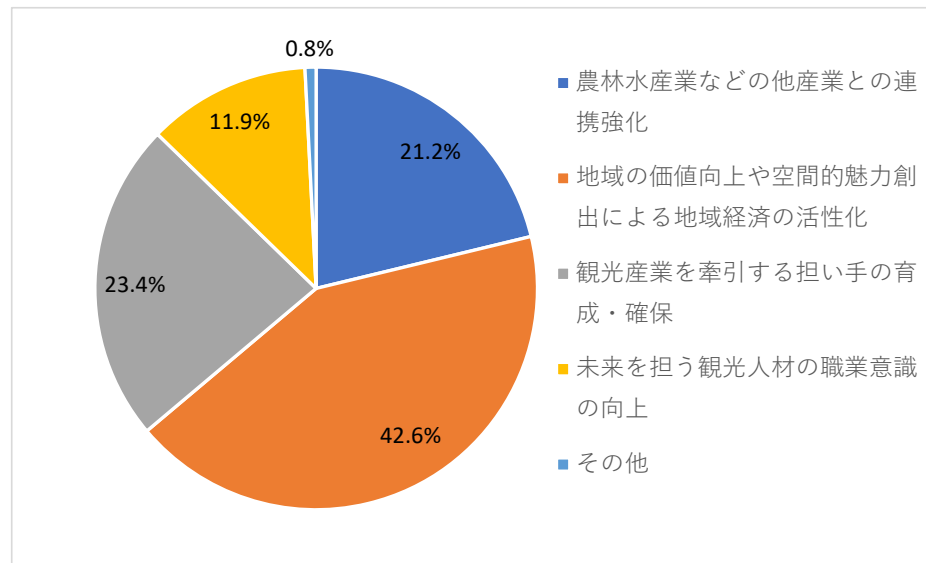


3.個人アンケート調査

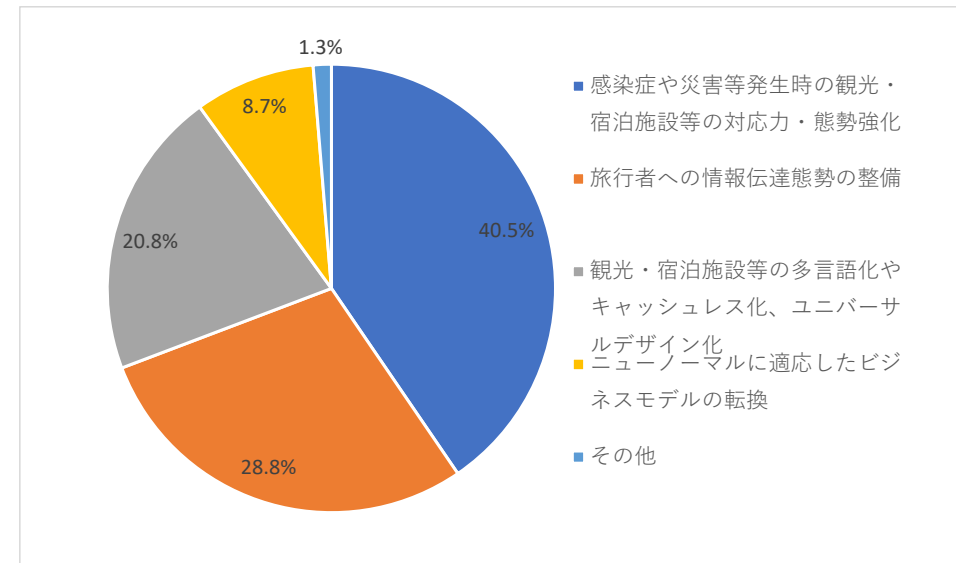
3.2.個人アンケート調査結果 観光産業のために必要な施策

- 観光産業の体制強化としては「地域の価値向上や空間的魅力創出による地域経済の活性化」が42.6%と最も多い。
- 受入環境の整備促進としては「感染症や災害等発生時の観光・宿泊施設等の対応力・態勢強化」を求める声が40.5%と最も多い。

Q16.観光産業の体制強化 (SA) N=2,476



Q17.受入環境の整備促進 (SA) N=2,476

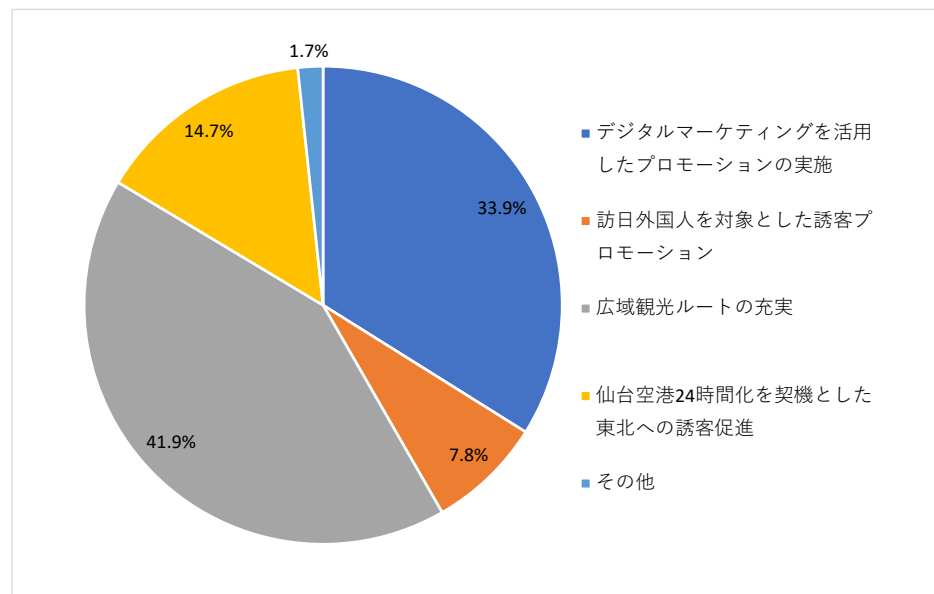


3.個人アンケート調査

3.2.個人アンケート調査結果 観光産業のために必要な施策

- 戦略的な誘客プロモーションとしては「広域観光ルートの充実」が41.9%と最も多く、「デジタルマーケティングを活用したプロモーションの実施」も33.9%と多い。

Q18.戦略的な誘客プロモーション (SA) N=2,476



企業アンケート調査結果

4.企業アンケート調査

4.1.企業アンケート調査概要

【目的】

宮城県内の観光業に携わる企業に幅広く調査を行うことで、「観光経済波及効果簡易推計システム」に必要な情報を収集するとともに、地域における特色や課題等について意見を収集する。

【調査対象】

宮城県内にある、TSA観光8分類の属する企業群2,277社

	スポーツ・娯楽サービス	飲食サービス	宿泊サービス	小売	文化サービス	輸送設備 レンタルサービス	旅客輸送サービス	旅行代理店その他の予約サービス	総計
気仙沼地区	4	9	5	113	1	2	8	3	145
栗原地区		6	8	51	1		5	1	72
石巻地区	1	32	15	128	1	1	31	3	212
仙台地区	28	367	82	650	17	30	167	32	1,373
仙南地区	1	34	19	100		5	16	2	177
大崎地区	6	22	23	135	4	2	18	3	213
登米地区	2	10	3	62			7	1	85
総計	42	480	155	1,239	24	40	252	45	2,277

【回収数】 608社/ 2,277社（回収率：26.7%）

※SA：単一回答、MA：複数回答可、FA：自由記載、N：有効回答数 を表す。

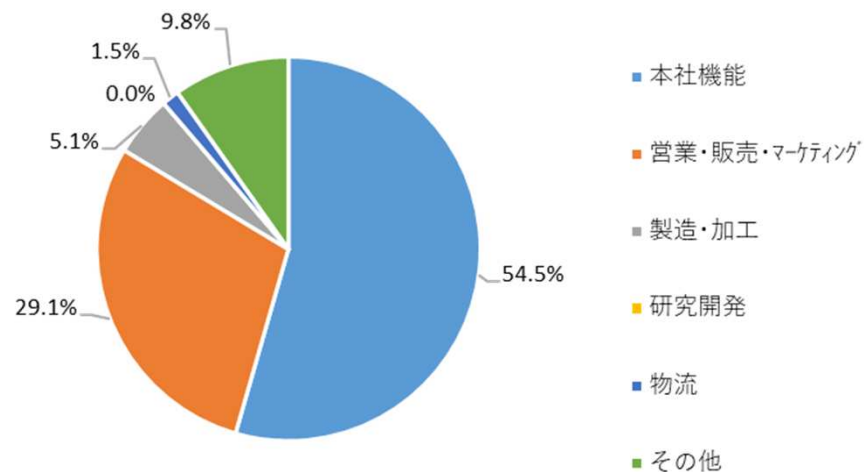
※四捨五入を行っているため、合計が100%にならないこともる。

4. 企業アンケート調査

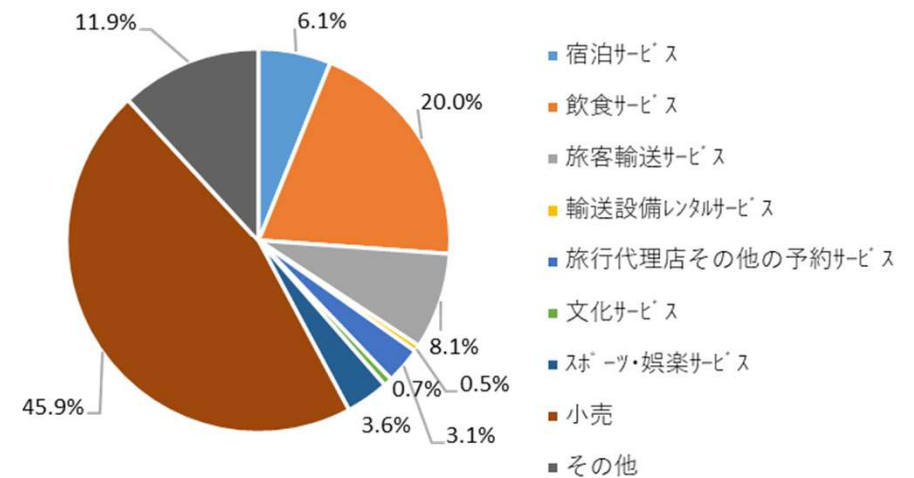
4.2. 企業アンケート調査結果 回答企業の基本情報

- 回答企業の機能分布は、54.5%と半数以上が「本社」と回答しており、次いで「営業・販売・マーケティング」が29.1%であった。
- 回答企業の業種分布は、45.9%と半数弱が「小売」であり、次いで「飲食サービス」が20.0%であった。

【問1】 機能(SA) n=549



【問1】 業種(SA) n=555

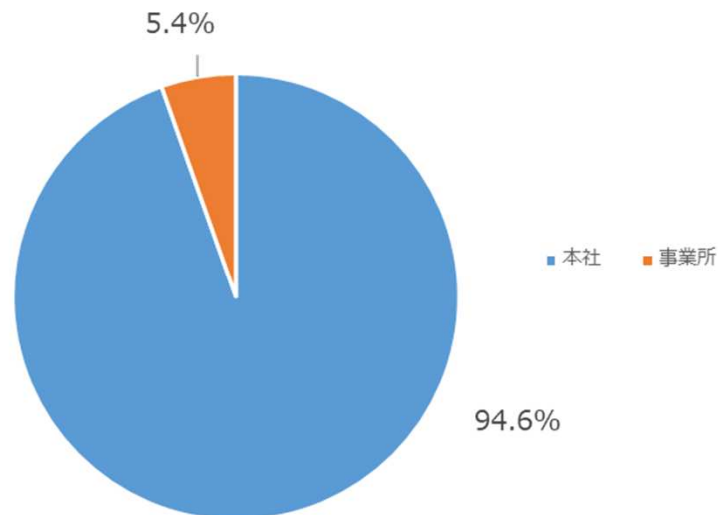


4. 企業アンケート調査

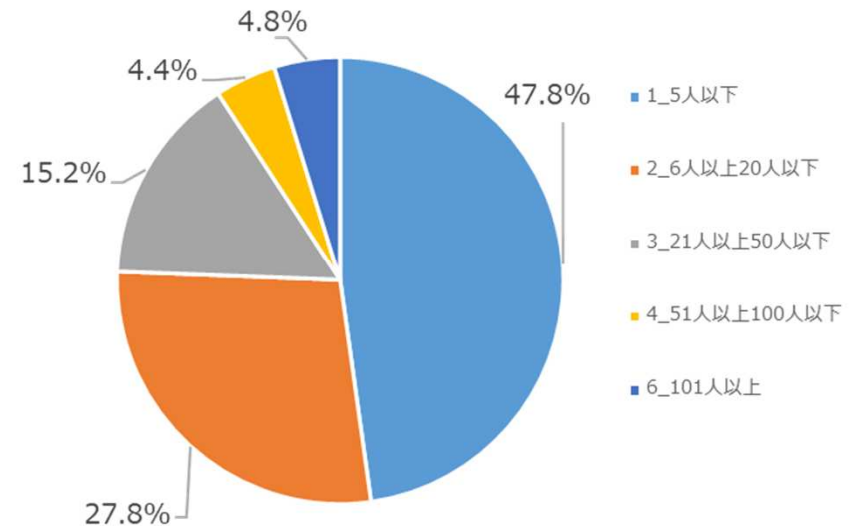
4.2. 企業アンケート調査結果 回答企業の基本情報

- 回答企業の本社比率は、回答企業の約94.6%が「本社」であった。
- 回答企業の従業員数は、約半数に当たる47.8%が最も多く、小規模事業者である「5人以下」の企業であった。

【問1】 本社・事業所(SA) n=554



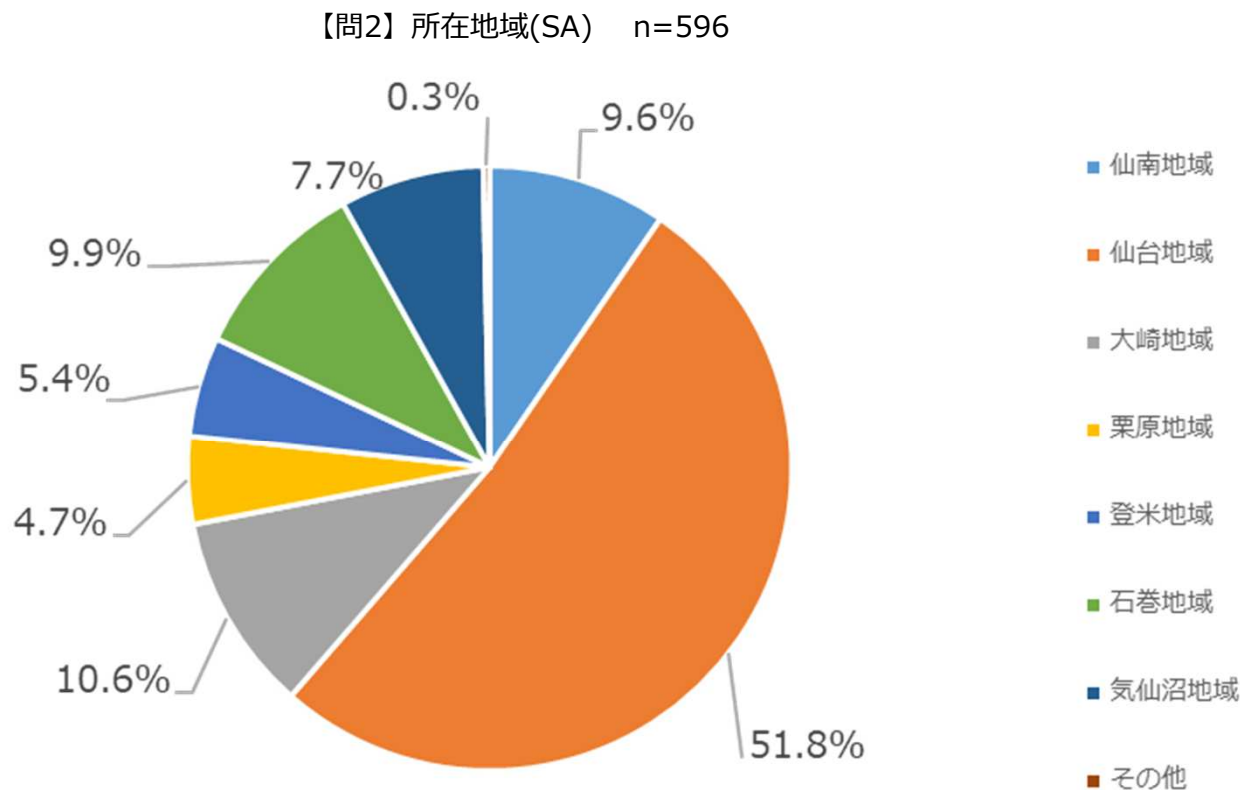
【問1】 従業員数 n=586



4. 企業アンケート調査

4.2. 企業アンケート調査結果 回答企業の基本情報

- 回答企業の本社所在地域は、「仙台地域」が最も多く51.8%、次いで「大崎地域」が10.6%、「石巻地域」が9.9%となった。

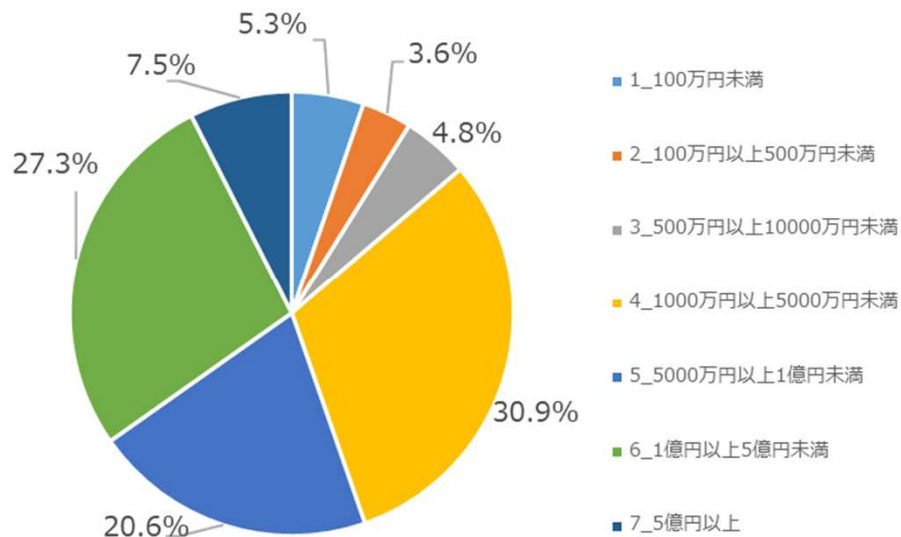


4. 企業アンケート調査

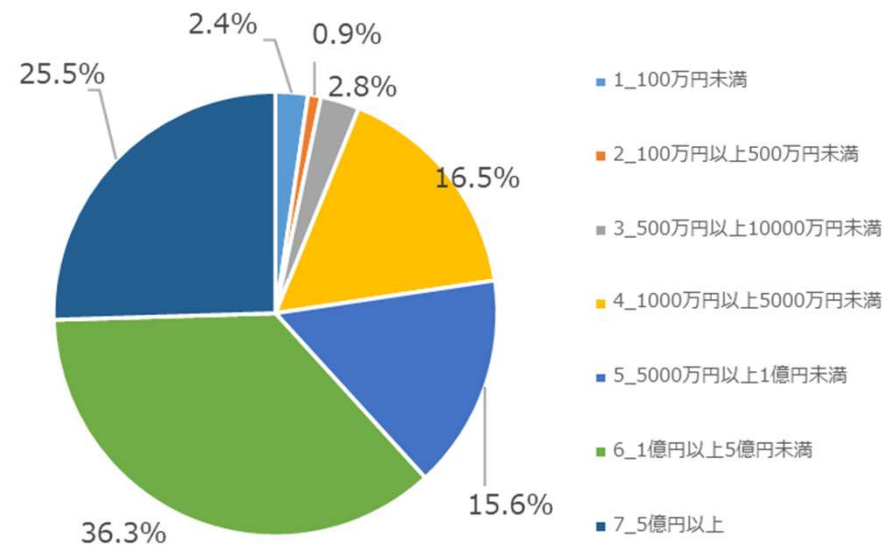
4.2. 企業アンケート調査結果 回答企業の基本情報

- 単独事業所売上高は、1千万円以上5億円未満の企業で約8割を占めていた。
- 本社・支社売上合計も、1千万円以上5億円未満企業で約6割を占めており、単独事業所と比較し、5億円以上の企業の割合が多い。

【問3】 単独事業所売上高 n=495



【問3】 本社・支社売上合計 n=212



4.企業アンケート調査

4.2.企業アンケート調査結果 観光産業に対する認識等

- 地域における観光業の強みについて、仙台地域は「交通の便が良い」が最も多く、その他の地域は「自然が豊富」が最も多く、特に気仙沼地域で、84.4%、登米地域では73.3%であった。
- 全体を見ると「特にない」という回答も2割程度であり、特に大崎地域が34.5%、栗原地域が30.4%であった。

【問8】地域における観光業の強み(MA) n=550

	合計	商業施設が豊富	自然が豊富	文化的観光施設が豊富	ツアー向け観光施設が豊富	歴史的・文化的建造物が豊富	交通の便が良い	宿泊施設が多い	観光客の滞在時間が長い	特にない	その他
全体	550	17.3%	52.2%	13.1%	6.5%	17.6%	30.9%	14.0%	3.1%	21.6%	7.5%
仙南地域	51	0.0%	62.7%	0.0%	13.7%	17.6%	29.4%	11.8%	2.0%	19.6%	5.9%
仙台地域	279	28.7%	40.5%	18.6%	6.8%	24.0%	44.8%	21.1%	3.2%	19.4%	7.2%
大崎地域	58	3.4%	50.0%	8.6%	13.8%	12.1%	17.2%	12.1%	5.2%	34.5%	0.0%
栗原地域	23	0.0%	60.9%	0.0%	0.0%	0.0%	34.8%	0.0%	0.0%	30.4%	8.7%
登米地域	30	0.0%	73.3%	33.3%	3.3%	33.3%	3.3%	3.3%	0.0%	20.0%	3.3%
石巻地域	52	11.5%	63.5%	5.8%	1.9%	3.8%	5.8%	0.0%	3.8%	26.9%	15.4%
気仙沼地域	45	8.9%	84.4%	4.4%	0.0%	0.0%	6.7%	4.4%	4.4%	11.1%	11.1%

※各地域上位3位までのセルを色付けしている。

4. 企業アンケート調査

4.2. 企業アンケート調査結果 観光産業に対する認識等

- 地域内で取引を行うメリットについて、全体を見ると「事業者間のつながりを持てる」が最も多く42.5%、次いで「地域の活性化を身近に感じる」が39.7%であった。

【問9】地域内で取引を行うメリット(MA) n=537

	合計	地域の活性化を身近に感じる	地域の強みをアピールできる	事業者間の繋がりを持てる	輸送コストの削減	取引先との信頼関係を構築しやすい	小回りの利く対応が可能	特にない	その他
全体	537	39.7%	35.8%	42.5%	24.4%	37.1%	39.5%	12.1%	0.9%
仙南地域	50	34.0%	30.0%	28.0%	12.0%	24.0%	36.0%	16.0%	2.0%
仙台地域	274	40.9%	38.0%	45.6%	26.6%	40.5%	41.2%	10.6%	0.4%
大崎地域	57	36.8%	29.8%	43.9%	29.8%	35.1%	45.6%	12.3%	1.8%
栗原地域	19	26.3%	47.4%	26.3%	36.8%	52.6%	31.6%	15.8%	5.3%
登米地域	30	46.7%	30.0%	43.3%	16.7%	36.7%	33.3%	13.3%	0.0%
石巻地域	52	42.3%	34.6%	44.2%	19.2%	32.7%	28.8%	17.3%	1.9%
気仙沼地域	43	39.5%	37.2%	41.9%	20.9%	34.9%	46.5%	9.3%	0.0%

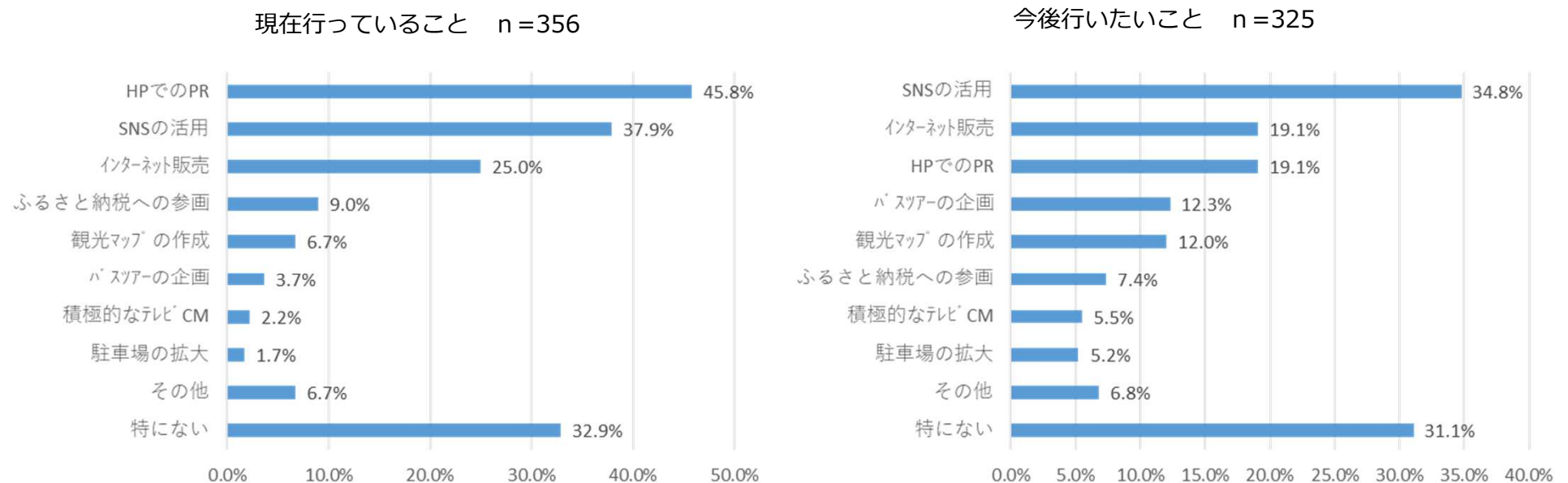
※各地域上位3位までのセルを色付けしている。

4.企業アンケート調査

4.2.企業アンケート調査結果 観光産業に対する認識等

- 観光客増加促進のために現在行っていること・今後行いたいことについては、ともに「HPでのPR」や「SNSの活用」、「インターネット販売」等、インターネットを活用したことに集中していた。
- 現在、今後ともに3割程度の企業が「特にない」と回答している。

【問10】観光客増加促進のための対策(MA)

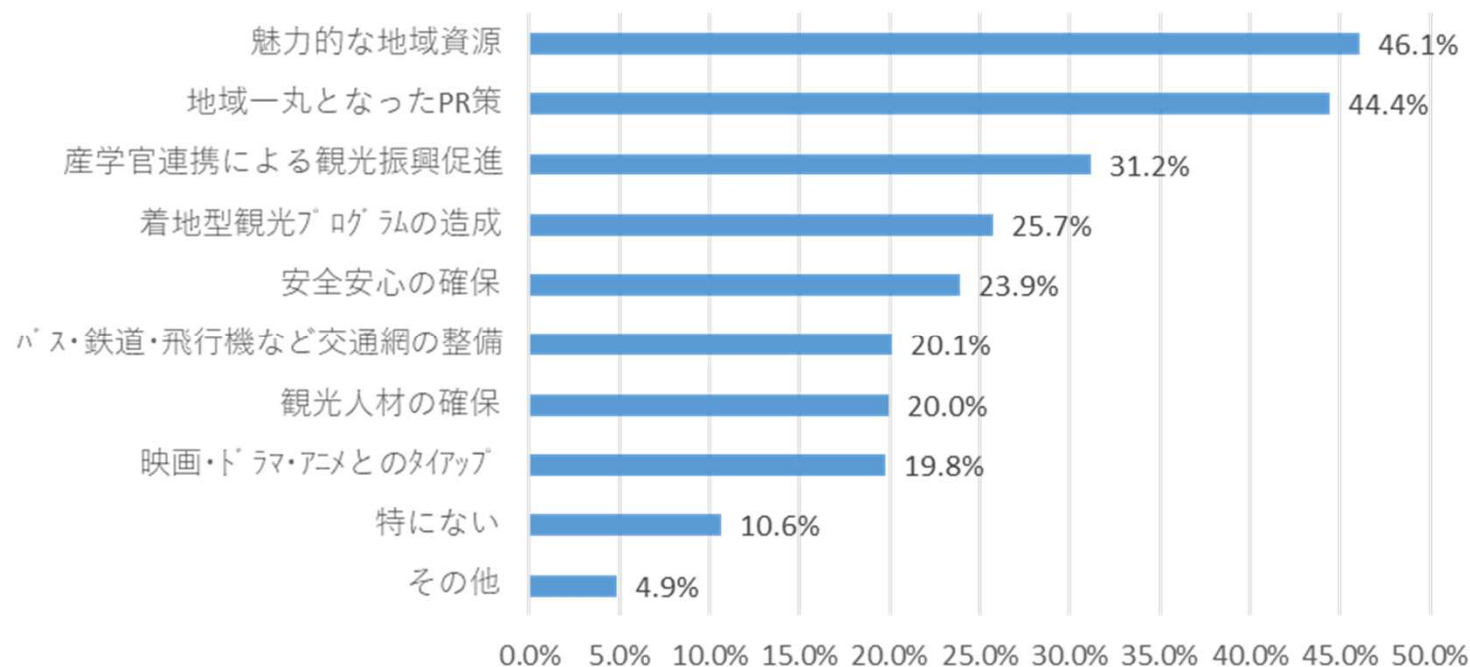


4.企業アンケート調査

4.2.企業アンケート調査結果 観光産業に対する認識等

- 観光客増加を進めるために必要と思う点については、「魅力的な地域資源」が最も多く46.1%であり、次いで「地域一丸となったPR策」が44.4%、「産学官連携による観光促進」が31.2%であった。

【問11】 観光客増加を進めるため、必要だと思う点(MA) n=536

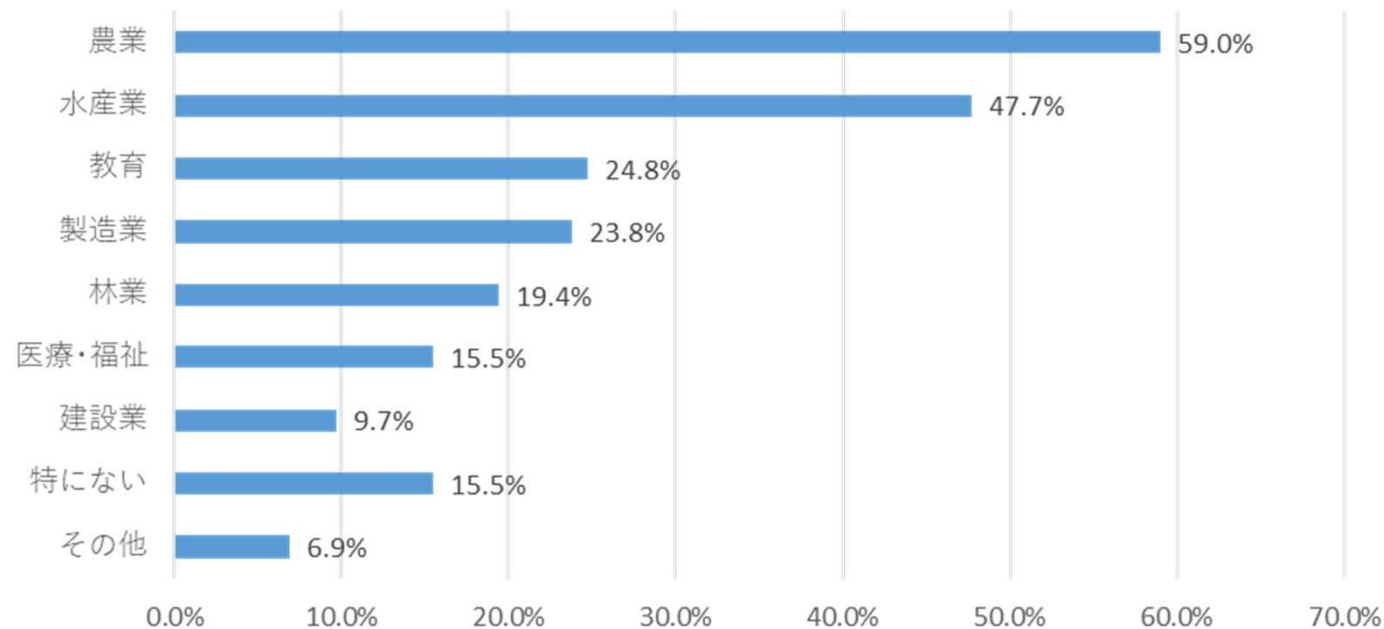


4. 企業アンケート調査

4.2. 企業アンケート調査結果 観光産業に対する認識等

- 観光業と他産業の連携について重要だと思う産業については、「農業」が最も多く59.0%、次いで「水産業」が47.7%など、飲食や卸売業の仕入れ先に当たる業種が挙がった。

【問12】 他産業との連携について、重要だと思う産業(MA) n=537

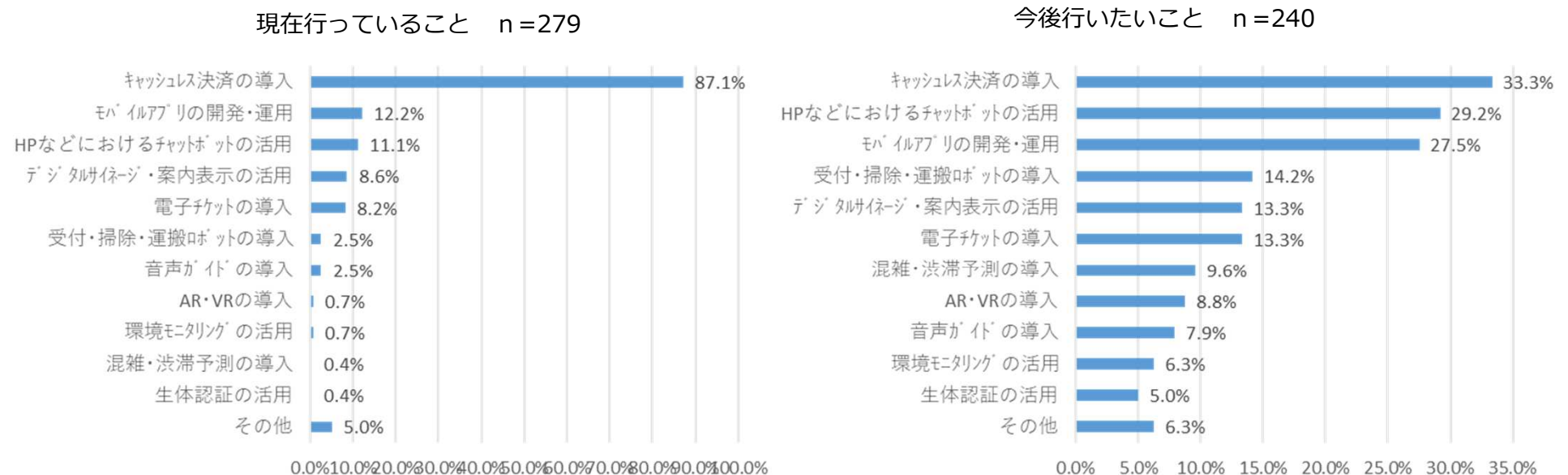


4. 企業アンケート調査

4.2. 企業アンケート調査結果 デジタル化への取り組み

- 現在行っているデジタル化への取り組みについては、「キャッシュレス決済の導入」が87.1%と圧倒的に多いが、今後行いたいことでは、「キャッシュレス決済」だけでなく、「チャットボットの導入」や「モバイルアプリの開発」等、多岐にわたっている。

【問13】 デジタル化に向けた取り組み(MA)

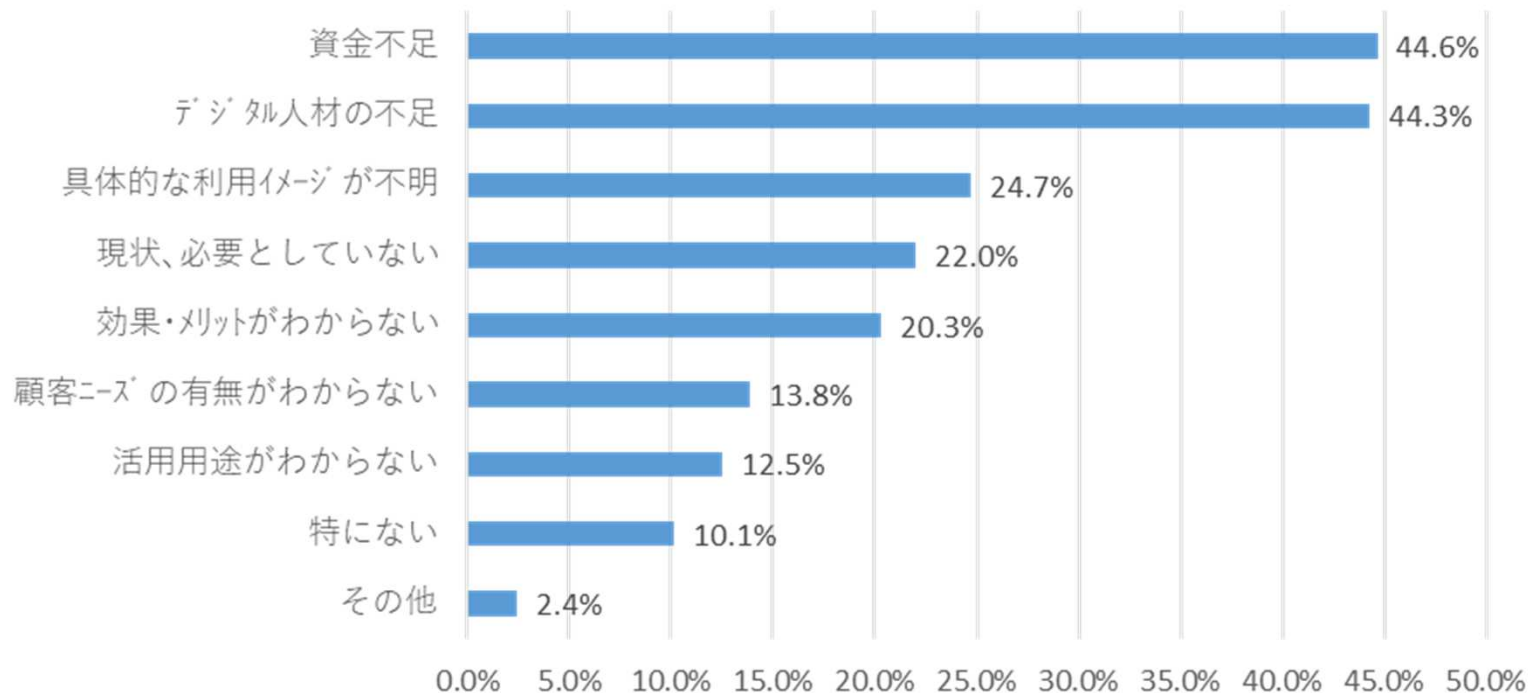


4. 企業アンケート調査

4.2. 企業アンケート調査結果 デジタル化への取り組み

- デジタル化に向けた取り組みを阻む要因としては、「資金不足」が44.6%と最も多く、次いで「デジタル人材の不足」44.3%であり、両者ともに4割強の回答があった。
- 「具体的な利用イメージが不明」や「効果・メリットがわからない」の回答も2割強あった。

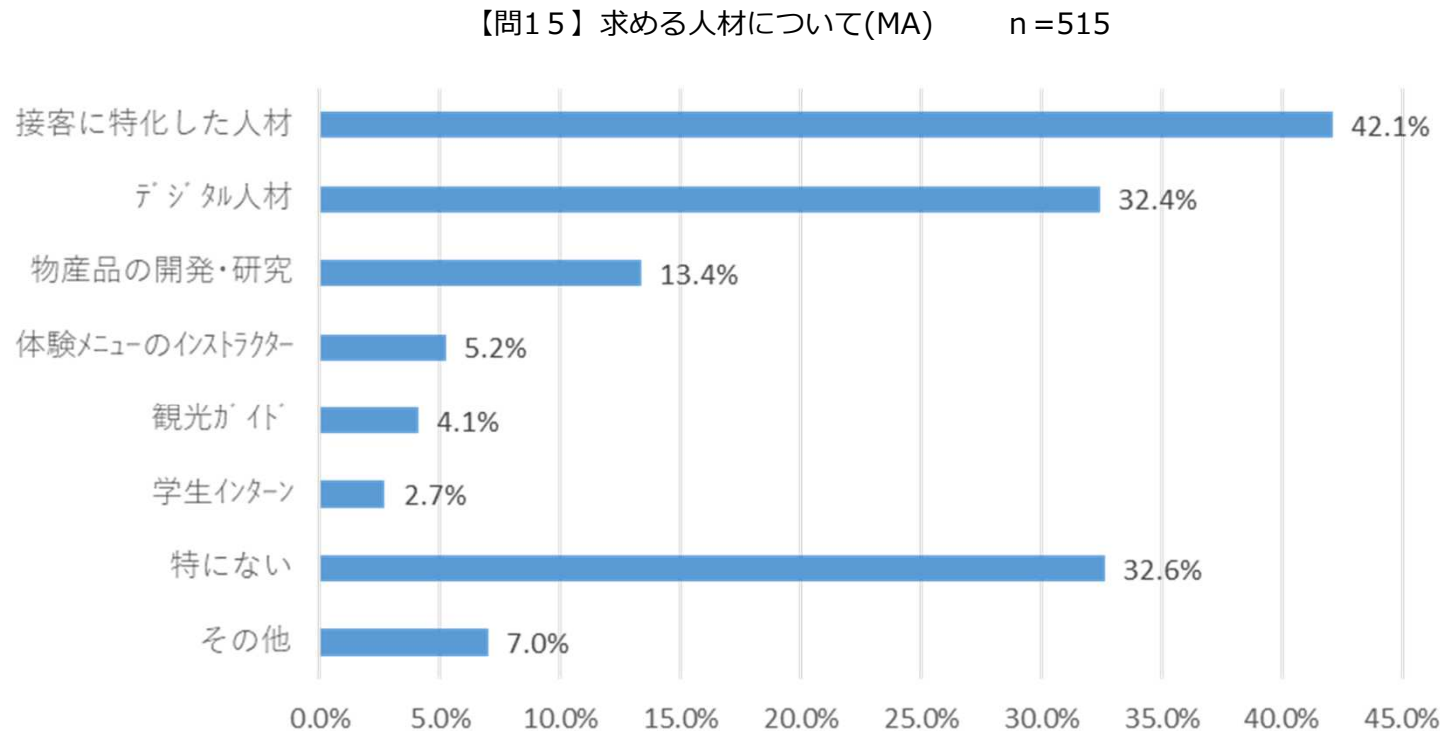
【問14】 デジタル化の取り組みを阻む要因(MA) n=542



2. アンケート結果

4.2. 企業アンケート調査結果 人材について

- 求めている人材については、「接客に特化した人材」42.1%と最も多く、次いで「デジタル人材」で32.4%であった。



企業ヒアリング調査結果

5.企業ヒアリング

5.1.企業ヒアリング調査概要

【目的】

宮城県の観光に携わる企業を訪問し、直接ヒアリングすることにより、アンケート調査等では把握しきれない、背景や具体的な内容に対話を通して収集する。

【対象企業】

宮城県観光関連企業 28社

【実施期間】

2022年2月

※一部意見をピックアップして記載している。

5.企業ヒアリング調査

5.2. 企業ヒアリング調査結果

Q1.地域における観光業に対する強みを教えてください。（郵送調査：問8）

【仙南地域 自然豊富、交通の便が良い】

- 温泉やスキー場、別荘などを含めた自然が豊富である。（小売）
- 宮城蔵王の懐にある山々に囲まれたロケーションが良い。東北新幹線（白石蔵王駅）、東北本線（白石駅）、高速道路（白石IC）があり、仙台空港からも1時間圏内。（宿泊サービス）

【仙台地域 商業・観光・宿泊施設が多い、自然豊富】

- 商業施設、宿泊施設が多く、仙台が宮城県・東北地方における拠点となる。（スポーツ・娯楽サービス）
- 仙台から近距離にあり仙台市の観光施設をそのまま「地域内」の施設として活用できることが強みである。（宿泊サービス）

【大崎地域 自然豊富】

- 化女沼、伊豆沼（栗原市）があり、渡り鳥が来ることで季節感を感じるとともに、観光としても優れていると感じている。（旅客輸送サービス）
- 鳴子温泉。紅葉シーズンの観光客が多い。（小売）

5.企業ヒアリング調査

5.2. 企業ヒアリング調査結果

Q1.地域における観光業に対する強みを教えてください。（郵送調査：問8）

【栗原地域 自然豊富、交通の便が良い】

- 伊豆沼地区においては、ガンを中心とした野鳥の観測を出来る場所が豊富で、バードウォッチングを目的とした観光客が多い。夏から秋にかけては、栗駒山での紅葉を目的とした登山客の集客に強みがある。（宿泊サービス）
- 東北自動車道 築館IC、若柳金成IC、東北新幹線、くりこま高原駅。（飲食サービス）

【登米地域 自然豊富、文化的観光施設が豊富】

- 伊豆沼（白鳥の飛来地）、田園風景、みやぎ明治村、NHK朝ドラロケ地。（飲食サービス）
- 三滝堂ふれあい公園があり、春の花見、夏の水遊び、キャンプ等に利用される。（小売）

【石巻地域 自然豊富】

- 海、山、川いずれも至近距離にあり、自然豊か。（小売）
- 豊富な水産・農産物やお米や野菜、イチゴなどの魅力あるものがたくさんあること。（飲食サービス）

5.企業ヒアリング調査

5.2. 企業ヒアリング調査結果

Q1.地域における観光業に対する強みを教えてください。（郵送調査：問8）

【気仙沼地域 自然が豊富、文化観光施設が豊富】

- 自然は、大島、唐桑半島、岩井崎、田束山（海、山、星空）、文化観光施設は、「リアス・アーク美術館」「煙雲館」他（震災遺構など）。（旅客輸送サービス）
- 海水浴場、キャンプ場、釣りスポット、風光明媚。（飲食サービス）

5.企業ヒアリング調査

5.2. 企業ヒアリング調査結果

Q2.地域における観光業に関して課題と感じている点についてお聞かせください。

【仙南地域】

- 観光としてのコンテンツが少ない。最終目的地の通過点になっていることが多い（特に川崎町）。新たな観光客の獲得が進んでいない。自然・牧場等で体験型の観光ができるはずだが、活かして切れていないのではないか。（旅客輸送サービス）
- 新しい観光資源は見込みにくい点。（小売）

【仙台地域】

- 交通の便の悪さを解消しなくてはなりません。プロモーションだけでなく、列車・バス・タクシーといった既存の交通モードの組み合わせの充実が必要であり、MaaS(例：東北MaaS、仙台MaaS)による包括的な予約・決済システムの整備が求められます。（旅客輸送サービス）
- 地域としてのPR力を高めていくことが必要。（飲食サービス）

5.企業ヒアリング調査

5.2. 企業ヒアリング調査結果

Q2.地域における観光業に関して課題と感じている点についてお聞かせください。

【大崎地域】

- 観光地自体が少ない、手土産（名産品）が少ない。（旅客輸送サービス）
- 温泉街に魅力がない、面白くない。大型旅館から温泉街に客が出てこない。（宿泊サービス）

【栗原地域】

- 観光資源が少なく、観光客の滞在時間が短く、地元に落とすお金が少ない。宿泊施設が少ない。（小売）
- 全国的な知名度の低さが課題と言える。地域全体としてPR不足と感じる。（宿泊サービス）

【登米地域】

- 小さな観光地はあるが、松島・平泉・鳴子のような特化した観光スポットがない。日帰り観光が多い。（宿泊サービス）
- 交通インフラが整っていない。宿泊施設が少ない。（飲食サービス）

5.企業ヒアリング調査

5.2. 企業ヒアリング調査結果

Q2.地域における観光業に関して課題と感じている点についてお聞かせください。

【石巻地域】

- 仙台や松島などの近隣地域に強力な観光地があるために、石巻の観光客の滞在時間が短い。（周辺地域への波及効果が薄い）（宿泊サービス）
- 観光に対しての事業認識が石巻市は低いため、観光ツアーやコンテンツを作ることができていない。（飲食サービス）

【気仙沼地域】

- 三陸沿岸道路の開通後は日帰り客が増加したが、宿泊客が伸び悩んでいる。（滞在時間が短く、経済効果が薄い）。（旅客輸送サービス）
- 観光資源に乏しい。三陸道は整備されたが、そこからのアクセス道が未整備。（宿泊サービス）

5.企業ヒアリング調査

5.2. 企業ヒアリング調査結果

Q3.地域における観光客増加のための地域での取り組みについて教えてください。

【仙南地域】

- 地元産直と連携した「そらまめ祭り」に駐車場を賃貸し、地域の活性化に協力している。（スポーツ・娯楽サービス）
- 新しい過去にはみやぎ36景、みちのくおとぎ街道、JR東日本のパッケージ商品などがあったが、どれも長続きするものではなかった。（宿泊サービス）

【仙台地域】

- 地元旅行会社と連動したショートトリップを温泉街で行う予定。新しい技術であるVRやERといったもの（360°パノラマビュー）を提供させていただく予定。（宿泊サービス）
- 情報発信拠点事業「東北ハウス」がアキバスクエアで開催され、東北地域のプロモーションが行われました。また東北6県の自治体・観光関係者と鉄道会社（JR東日本）が主催する東北デスティネーションキャンペーンにおいては、「TOHOKUサポーター」を広く募集し、地域全体で観光を盛り上げる取り組みもあわせて行われた。（旅客輸送サービス）

5.企業ヒアリング調査

5.2. 企業ヒアリング調査結果

Q3.地域における観光客増加のための地域での取り組みについて教えてください。

【大崎地域】

- 旅行会社やバス会社に対して、地域一体となったツアーの提案。行政と連携したイベントの開催や集客、テレビや雑誌などのメディアへの露出。（小売）
- 地元の農産物の広域的なアピール（飲食サービス）

【栗原地域】

- 地域内の企業が連携して町おこしのようなものは行っていると聞かれる。米をはじめとした、地元食材を活かしたPRなどを今後は強化していく予定（宿泊サービス）
- 地域としては、地元食材などを利用した商品開発を行っており、同企画・ツアーでの販売促進をしている。（宿泊サービス）

【登米地域】

- YouTubeを活用したPR戦略。NHK朝ドラとのタイアップ企画を継続する。（飲食サービス）
- 東京など都会の子供たちを地元農家に宿泊してもらい、農業や自然に親しんでもらう。登米市の環境事業として取り組んでいる。（その他サービス）

5.企業ヒアリング調査

5.2. 企業ヒアリング調査結果

Q3.地域における観光客増加のための地域での取り組みについて教えてください。

【石巻地域】

- 観光地域づくり法人（DMO）や観光協会を中心とした着地型商品の開発、サイクルツーリズムの推進、リボーンアートフェスティバルのような集客イベントの実施。地域の食材を使った石巻らしい食の提供。（宿泊サービス）
- 体験型のツアー企画（マリンスポーツなど）（小売）

【気仙沼地域】

- 震災遺構めぐりや、気嵐（けあらし）、塩づくり、農漁業などの体験ツアーを組み込んだ修学旅行。（旅客輸送サービス）

5. 企業ヒアリング調査

5.2. 企業ヒアリング調査結果

Q4. 地域における観光客増加を進めるために行政に求める支援について教えてください。

【仙南地域】

- 地域と宮城県の担当者が連携して意見交換ができる仕組みがあるといい。観光業を支える働き手の確保（特に外国人の就労支援に関する手続きの簡素化と支援金等）にも目を向けて欲しい。（宿泊サービス）
- 新たな取り組みに対する各種助成の全額支給。2 / 3 支援では中小企業には負担が重い。（旅客輸送サービス）

【仙台地域】

- 人材（スタッフ）や資金（補助金）などの支援。（飲食サービス）
- MaaSなどのデジタルプラットフォームの整備を継続的に推進することが必要。（旅客輸送サービス）

【大崎地域】

- 農業従事者の育成。（飲食サービス）
- テレビや雑誌への露出を継続して貰いたい。（小売）
- 観光地の発掘、鳴子地区をもっと活性化させる。（旅客輸送サービス）

5.企業ヒアリング調査

5.2. 企業ヒアリング調査結果

Q4.地域における観光客増加を進めるために行政に求める支援について教えてください。

【栗原地域】

- 上記取り組みに対する助成金などがあればいい。また、そもそもとして行政と民間が話し合えるような場の創出を行って欲しい。（宿泊サービス）
- もっとPRをしてほしい。栗駒山の紅葉シーズン以外の時期に、栗原地域に観光客を呼べる企画、イベントが欲しい。（旅客輸送サービス）

【登米地域】

- 広報、情報発信が不足している。まずは県内在住者を誘致するため「県政だより」での特集を行って欲しい。県外からの誘致については、宮城県のホームページでの情報発信を増やして欲しい。現在コンテンツ別の外部サイトを多く立ち上げていただいているが、どこに届いているか、どういった反応を得ているが効果測定を行い、有効的な広報活動をお願いします。（飲食サービス）
- 南三陸、気仙沼、松島に負けないコンテンツを作成し南三陸、気仙沼、松島に行った際には必ず登米を経由してもらおう施策が必要。農業や自然を媒体にして宣伝してほしい。（その他サービス）

5.企業ヒアリング調査

5.2. 企業ヒアリング調査結果

Q4.地域における観光客増加を進めるために行政に求める支援について教えてください。

【石巻地域】

- 関係者で方向性を決めるような場をつくり、事業に対する予算付けを行ったり、実行できるような工夫や応援をするなどの取り組みを行ってほしい。（飲食サービス）
- アフターコロナを見据えた商品づくりへの財政的支援、DXを推進するために必要な人材の派遣及び予算措置。（宿泊サービス）

【気仙沼地域】

- 地元の生活を体験できる民泊の促進。（旅客輸送サービス）
- アクセス道及び沿岸の整備。（宿泊サービス）

5.企業ヒアリング調査

5.2. 企業ヒアリング調査結果

Q5. 域内で取引に関する課題・問題について教えてください。

【仙南地域】

- 域内で取引するメリットが、正直ない。価格・サービスともに域外の方が勝る。
（旅客輸送サービス）
- 主に食材となるが、生産者が少なく、安定供給（配送まで）できる業者が乏しい。
また、ワインやウイスキーなどに精通し、調達出来る地元酒問屋が少ない。（宿泊サービス）

【仙台地域】

- 域内における企業間の取引においては、大手企業にはない小回りの利く柔軟な対応ができることや、地域理解の得やすさなどにメリットがあると思われませんが、人材確保には課題があります。（旅客輸送サービス）
- 農産物を仕入れたいと考えているが「量」の問題で実現化していない。（ただし「米」は地元産を組合内で使用させていただいている。）（宿泊サービス）

5.企業ヒアリング調査

5.2. 企業ヒアリング調査結果

Q5. 域内で取引に関する課題・問題について教えてください。

【大崎地域】

- 高齢化による地元産業の衰退。（飲食サービス）
- 地元大手工場はあるが、連携している企業が少ないのではないかと感じている。（旅客輸送サービス）

【栗原地域】

- 商品を使用、消費する側と、供給する側が会う機会が無いので、商品に対する正しい評価やニーズをくみ取れていない可能性が感じられる。（宿泊サービス）
- 栗原市は米所として有名なので、米を使ったおかしや2次製品を生産する会社が多くなっている。ただし、上手くPRが出来ず、域外や観光客に対する販売に苦慮している状況にある。そのため、域内での販売自体も限定的になってしまっていると思う。（宿泊サービス）

2.調査結果

5.2. 企業ヒアリング調査結果

Q5. 域内で取引に関する課題・問題について教えてください。

【登米地域】

- 生産者の高齢化が大きな課題となっており、生産物の回収を販売者側が行わなくてはならなくなっている。また、後継者もいないため今後生産の途絶える可能性のある生産物が増えてきている。（飲食サービス）
- 米、野菜、仙台牛といった地域の食材をブランド化してほしい。ブランド化した商品を地元だと低価格で購入できるシステムづくりが必要。（宿泊サービス）

【石巻地域】

- 仕入単価は地元よりも、仙台市の方が安いですが、地域経済を支えるために価格の高い地元から仕入れている。（宿泊サービス）
- 震災後の企業減少によって女川町内での取引が減少している。当社事業に関わるものとしては、ガソリンスタンドが少なく、域外で給油するケースが多くなってしまっている。（旅客輸送サービス）

【気仙沼地域】

- 海産物の品質・価格を吟味すると、他県（域外）の物が優れている場合がある。（宿泊サービス）

5.企業ヒアリング調査

5.2. 企業ヒアリング調査結果

Q6. デジタル化を阻む要因として具体的な課題・問題について教えてください。

【資金、人材不足】

- 人、時間、資金が不足しており、複雑な建物構造の問題からデジタル化は難しい。（旅客輸送サービス）
- デジタル化に特化した人材を雇う資金的余裕がない。（宿泊サービス）

【具体的な利用イメージが不明、活用用途がわからない】

- デジタル化が進めば進むほど農村産業のアナログ化の価値も出ると考えているが、その価値をどうデジタルに落とし込むかが難しい。（飲食サービス）
- 知識不足でデジタル化におけるメリットが理解できない。（小売）
- 各店舗の売上高集計なども依然として手書きで行っている。どのようにデジタル化を進めていけば良いのか分からない。（小売）
- デジタル化推進の具体的な内容と効果が分からない。デジタル化に関する説明・提案をしてくれるアドバイザーに支援を頼みたい。何を以てデジタルというのかが今一度分からない。（飲食サービス）

5.企業ヒアリング調査

5.2. 企業ヒアリング調査結果

Q7.経済を活性化していくための意見がありましたらご自由にお答えください。

【民間と行政の連携】

- 民間、国、県、市町村で連携し、ある程度行政主導で動かないと連携がとれない。
(旅客輸送サービス)
- 民間と行政が話し合いを行える場の創出が必要と感じる。(宿泊サービス)

【情報発信】

- 県内においては、仙台市や松島などに観光客が集中しており、周辺地域、特に県北・県南の集客増に向けた県内外への情報発信に取り組んで欲しい。(飲食サービス)
- 宮城県内各地の観光地を巡ってもらえる様な、キャンペーンや動きをして欲しい。それぞれが独立していて、つながっていない。相乗効果を生んでいないと思う。各観光地独自の宣伝には限界がある。(小売)

5.企業ヒアリング調査

5.2. 企業ヒアリング調査結果

Q7.経済を活性化していくための意見がありましたらご自由にお答えください。

【企業誘致】

- もっと企業誘致に力を入れるべきではないか。企業誘致により企業が集積し、人口減（県北エリア）にも対応できるのではないか。（旅客輸送サービス）
- 若い人が住みやすい環境を作っていく必要がある。例えば地域の特性に合った企業誘致をし働き場所を確保する。更に子育て支援の手当面を含めて充実させる。長い目で見て人口増加にならないと衰退していく一方で経済の活性化はない。（その他サービス）

経済波及効果の推計

6. 経済波及効果の推計

6.1. 観光経済波及効果簡易推計システム概要

【出典】

観光産業の地域経済への波及効果分析手法の検討及び地域ストーリー作りに関する調査、
公益財団法人日本交通公社、2015年3月

【システム概要】

特定地域における観光業者から、地域の商工業者・サービス業者のサプライチェーンを分析し、観光産業と地域経済全体の産業連関を明らかにするとともに、経済波及効果を簡易に算出するシステム

6. 経済波及効果の推計

6.1. 観光経済波及効果簡易推計システム概要 特徴

① 産業連関表の作成が不要

本システムでは推定方法として「乗数理論」を採用している。乗数理論では起点が観光客の消費額であり、サプライチェーンをもとにどのように分配されていくかを乗数で推定していくため、産業連関表を利用せずに経済波及効果を推定することが可能である。

①観光客数：対象となる地域を訪れる観光客の数

②消費単価：観光客一人あたりの消費額

※「観光客数」と「消費単価」を掛け合わせることで、「観光消費額」が算出される。

③域内調達率：対象施設が対象地域内から原材料や雇用者等を調達する率

※同時に、経費構造のデータも計算上必要となる。

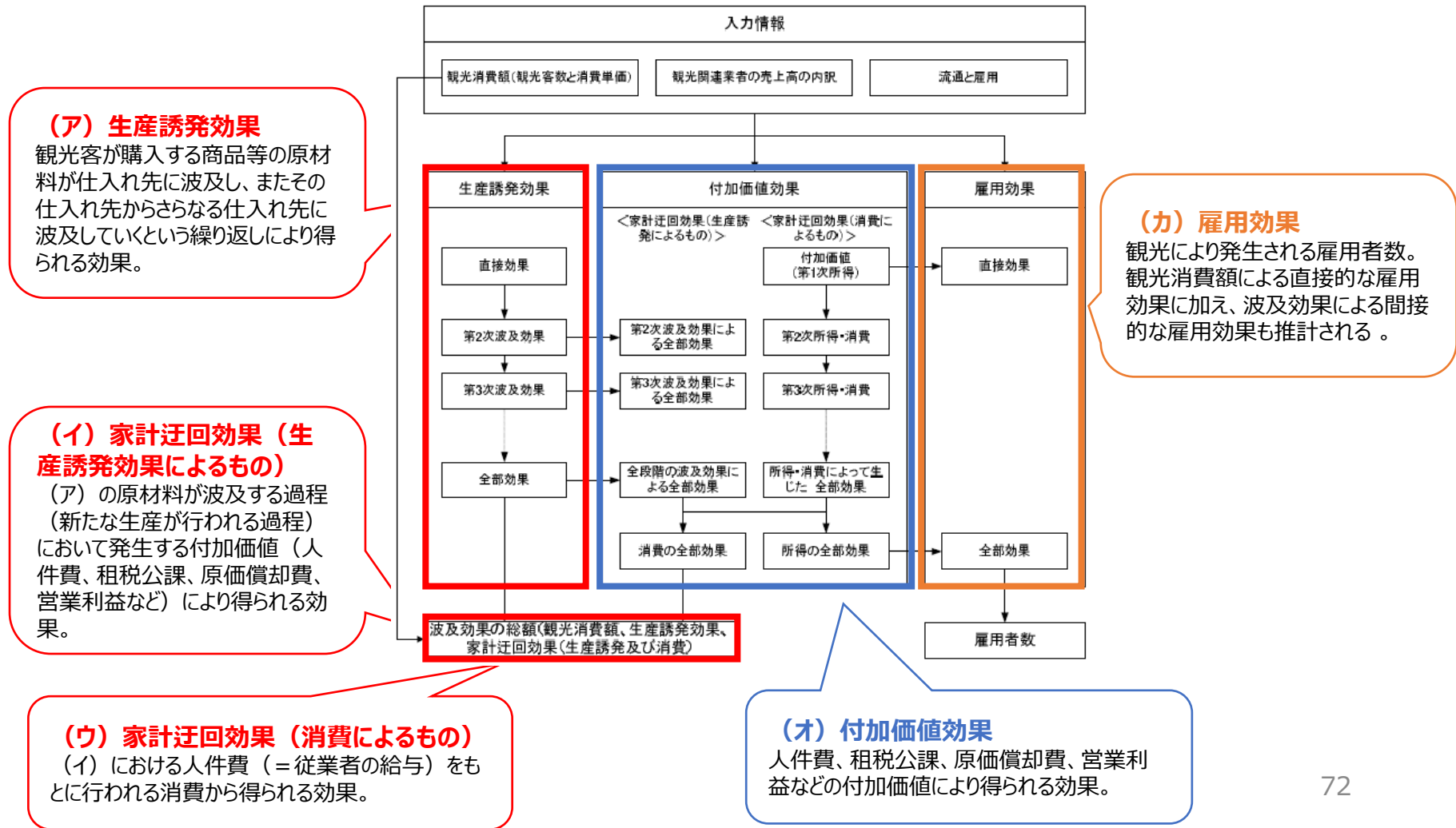
6. 経済波及効果の推計

6.1. 観光経済波及効果簡易推計システム概要 特徴

(工) 経済波及効果

観光消費額及び (ア) ~ (ウ) により得られる効果。

② 様々な効果を推定可能



Appendix イメージ図(富岡市)

一次波及の対象分野

TSA観光産業分類8分野

宿泊サービス	旅行代理店その他の予約サービス
飲食サービス	文化サービス
旅客運送サービス	スポーツ・娯楽サービス
運送設備レンタルサービス	小売

観光消費

観光消費

一般消費者が観光時に消費した金額を8分野に別け調査

・個人アンケート

観光全体	
●観光客数	-日帰り 2,070千人 -宿泊 157千人 (平成25年)
●消費単価	-日帰り 3,948円 -宿泊 16,232円 (平成26年)
●総消費額	-日帰り 81.7億円 -宿泊 25.5億円 合計 107.2億円

<参考:消費費数値(平成25年)>

●消費単価	-日帰り 40.8億円 -宿泊 8.3億円 合計 49.1億円
-------	---------------------------------------

一次波及

二次波及

<三次波及>

宿泊サービス

●支出比率 11.5%
●消費額 12.4億円

原材料
一次域内調達率 30%

一次仕入れ先

原材料
二次域内調達率 30%

二次仕入れ先

原材料
三次以降域内調達率 30%

飲食サービス

●支出比率 26.6%
●消費額 28.5億円

原材料
一次域内調達率 84%

一次仕入れ先

原材料
二次域内調達率 84%

二次仕入れ先

原材料
三次以降域内調達率 84%

旅客運送サービス

●支出比率 12.1%
●消費額 13.0億円

原材料一次域内調達率

原材料費のうち域内で調達した割合
・一次波及企業へのアンケート調査で把握

推計不可

輸送設備レンタルサービス

●支出比率 1.2%
●消費額 1.3億円

推計不可

旅行代理店その他の予約サービス

●支出比率 0.0%
●消費額 0円

対象なし

文化サービス

●支出比率 12.9%
●消費額 13.8億円

推計不可

スポーツ・娯楽サービス

●支出比率 12.9%
●消費額 13.8億円

二次波及

原材料
一次域内調達率 9%

一次仕入れ先

原材料
二次域内調達率 9%

二次仕入れ先

原材料
三次以降域内調達率 9%

小売

●支出比率 35.6%
●消費額 38.2億円

原材料二・三次域内調達率

原材料費のうち域内で調達した割合

・原材料一次域内調達率を転用

推計不可・対象なし

対象企業が少ない、もしくははないため推計が不能

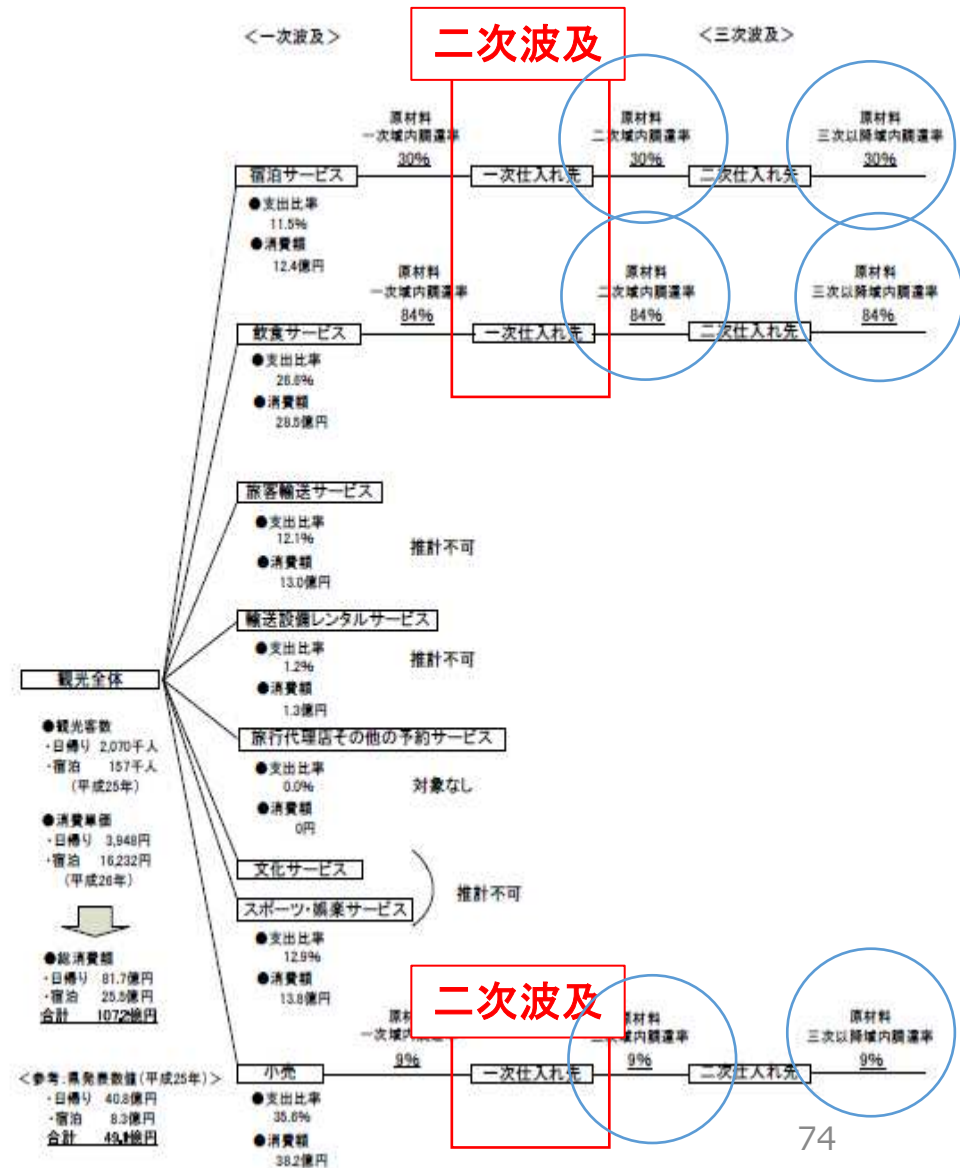
6. 経済波及効果の推計

6.1. 観光経済波及効果簡易推計システム概要 今回調査における注意点

①二次波及先については、「一次仕入先」に統一して波及効果を算定する

②原材料二・三次域内調達率は原材料一次域内調達率を転用する

③「旅行代理店その他の予約サービス」「スポーツ・娯楽サービス」については、個人アンケートの使用上、消費額を調査できなかったため推計不可としている



(例) 富岡市

6. 経済波及効果の推計

6.2. 推計に必要なデータの収集・入力

分類	必要項目	公的統計・民間統計	アンケート、ヒアリング	弊社保有DB
●観光客数	観光客数	観光庁「観光入込客統計データ」		
●観光消費単価	宿泊サービス 飲食サービス 旅客運送サービス 旅行代理店その他の予約サービス 文化サービス スポーツ・娯楽サービス 小売		個人・企業アンケート、ヒアリング 個人・企業アンケート、ヒアリング 個人・企業アンケート、ヒアリング 個人・企業アンケート、ヒアリング 個人・企業アンケート、ヒアリング 個人・企業アンケート、ヒアリング 個人・企業アンケート、ヒアリング	
●その他の指標	(1)限界消費性向 (2)域内消費率 (3)年間給与所得平均(全国) (4)給与地域補正值 (5)調査対象期間 (6)域内人口	総務省「家計調査」 自地域「購買動向調査」 国税庁「民間給与実態統計調査」 (株)JPS「個人所得指標」 - 総務省「住民基本台帳」		
●TSA観光産業分類における8分類それぞれ 「宿泊サービス(旅館、ホテル等)」 「飲食サービス(食堂、レストラン、喫茶店等)」 「旅客輸送サービス(鉄道、バス、駐車場等)」 「輸送設備レンタルサービス(レンタカー等)」 「旅行代理店その他の予約サービス(旅行業者等)」 「文化サービス(博物館、歴史的建造物等)」 「スポーツ・娯楽サービス(遊園地、水族館等)」 「小売(土産店、百貨店・スーパー等)」	①売上原価 うち、農林漁業者から直接仕入れる割合 うち、製造業者から直接仕入れる割合 うち、卸売業(問屋)から仕入れる割合 うち、その他(上記以外)から仕入れる割合 ②営業経費 ③人件費 ④その他経費 ⑤営業利益 ⑥売上原価の域内調達率 ⑦営業経費の域内調達率 ⑧人件費の域内調達率 ⑨域内事業者の本社比率	経済産業省「経済センサス」	企業アンケート、ヒアリング 企業アンケート、ヒアリング 企業アンケート、ヒアリング 企業アンケート、ヒアリング 企業アンケート、ヒアリング 企業アンケート、ヒアリング 企業アンケート、ヒアリング 企業アンケート、ヒアリング 企業アンケート、ヒアリング 企業アンケート、ヒアリング 企業アンケート、ヒアリング	COSMOS1 GIMT GIMT GIMT GIMT COSMOS1 COSMOS1 COSMOS1 COSMOS1 COSMOS1.GIMT COSMOS1.GIMT COSMOS1.GIMT
●二次波及先等の経費構造(対売上比率) 農林漁業 製造業 卸売業	①売上原価 ②営業経費 ③人件費 ④その他経費 ⑤営業利益		企業アンケート、ヒアリング 企業アンケート、ヒアリング 企業アンケート、ヒアリング 企業アンケート、ヒアリング 企業アンケート、ヒアリング	COSMOS1 COSMOS1 COSMOS1 COSMOS1 COSMOS1
●二次波及先等の域内調達率 「宿泊サービス」「飲食サービス」「小売」 の仕入先のうち、 「農林漁業者」「製造業者」「卸売業者」	①売上原価 ②営業経費 ③人件費		企業アンケート、ヒアリング 企業アンケート、ヒアリング 企業アンケート、ヒアリング	COSMOS1.GIMT COSMOS1.GIMT COSMOS1.GIMT

6. 経済波及効果の推計

6.2. 推計に必要なデータの収集・入力

- ①観光客数：対象となる地域を訪れる観光客の数
- ②消費単価：観光客一人あたりの消費額
※「観光客数」と「消費単価」を掛け合わせるにより、「観光消費額」が算出される。
- ③域内調達率：対象施設が対象地域内から原材料や雇用者等を調達する率
※同時に、経費構造のデータも計算上必要となる。

①観光客数

- ・対象となる地域を訪れる観光客の数
- ・日帰客と宿泊客では出費単価が異なるため、可能であれば日帰・宿泊別データを使用

【取得方法】

◆観光庁「宿泊旅行統計調査」

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html>

◆宮城県「令和2年観光統計概要」

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankou/statistical.html>

2 観光客数を入力してください。

	(日帰客)	(宿泊客)	(合計)
観光客数	千人	千人	0 千人

6. 経済波及効果の推計

6.2. 推計に必要なデータの収集・入力

②観光消費単価

- ・観光客一人あたりの消費額
- ・可能な限り、日帰客・宿泊客毎に推計する

【取得方法】

- ・個人アンケート

→調査期間内に該当地域の訪問客を日帰・宿泊客に分類し、各項目における消費額を調査する

(・企業アンケート)

→該当地域に所在する企業に対して、客単価を調査する

3 観光消費単価を入力してください。

	(日帰客)	(宿泊客)	(平均*)
(1)宿泊サービス	円	円	0円
(2)飲食サービス	円	円	0円
(3)旅客運送サービス	円	円	0円
(4)運送設備レンタルサービス	円	円	0円
(5)旅行代理店その他の予約サービス	円	円	0円
(6)文化サービス	円	円	0円
(7)スポーツ・娯楽サービス	円	円	0円
(8)小売	円	円	0円
合計	0円	0円	0円

*平均は日帰客と宿泊客の人数で加重平均を算出

6. 経済波及効果の推計

6.2. 推計に必要なデータの収集・入力

③「域内調達率」「経費構造データ」の取得

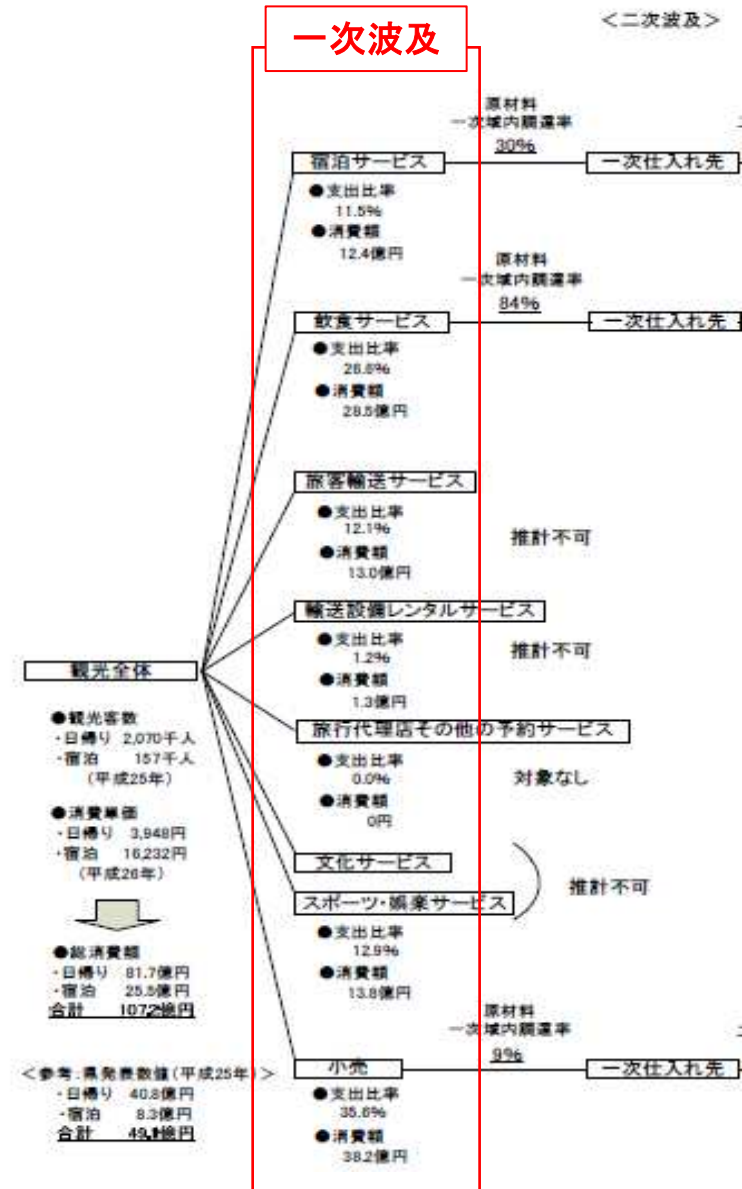
【対象先】

一次波及先

→ TSA観光産業分類8分野における、観光客が直接お金を使用した企業

TSA観光産業分類8分野	
宿泊サービス	旅行代理店その他の予約サービス
飲食サービス	文化サービス
旅客運送サービス	スポーツ・娯楽サービス
運送設備レンタルサービス	小売

※対象企業のカウント結果は別途提示します。



6. 経済波及効果の推計

6.2. 推計に必要なデータの収集・入力

*その他の指標

必要データ	取得方法
(1)限界消費性向	総務省「家計調査」
(2)域内消費量	自地域「購買動向調査」
(3)年間給与所得平均(全国)	国税庁「民間給与実体統計調査」
(4)給与地域補正值	(株)ゼンリンマーケティングソリューションズ 「個人所得指標」
(5)調査対象期間	—
(6)域内人口	総務省「住民基本台帳」

6. 経済波及効果の推計

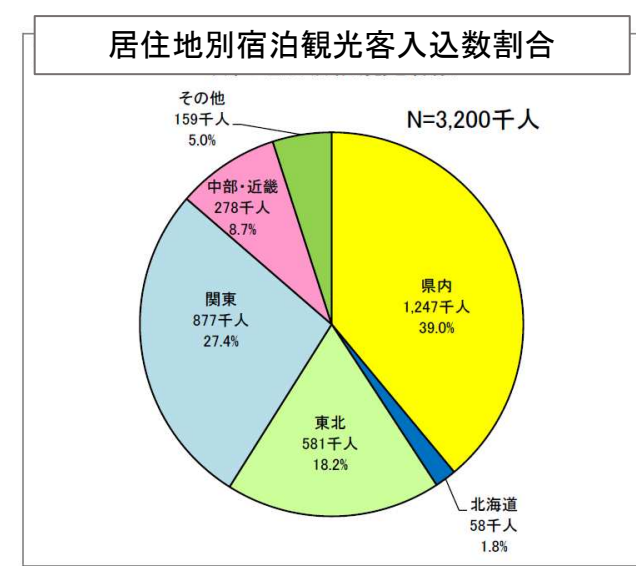
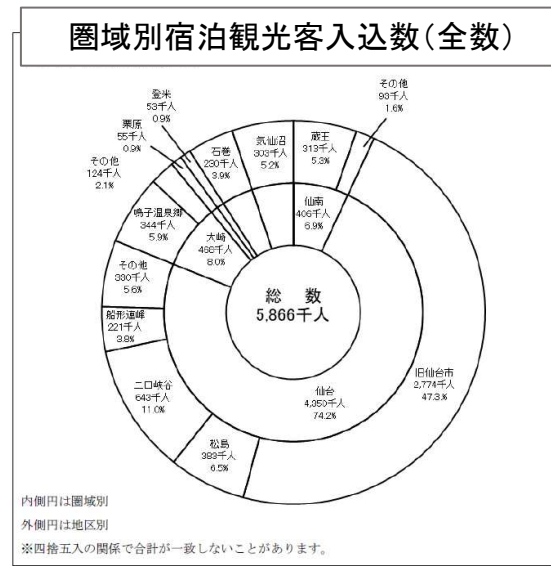
6.2. 推計に必要なデータの収集・入力

①観光客数

【参照データ】 宮城県「令和2年観光統計概要」（P3、9、11より抜粋）

※2020年1月～12月の集計結果

居住地別宿泊観光客数における「県内」の割合「**39.0%**」を採用し、全数から推計



Ex) 宮城県全域の県内旅行者数

日帰客: $(39,448 \text{ 千人} - 5,806 \text{ 千人}) \times 0.39 = 13,120 \text{ 千人}$

宿泊客: $5,806 \text{ 千人} \times 0.39 = 2,264 \text{ 千人}$

6. 経済波及効果の推計

6.2. 推計に必要なデータの収集・入力

②観光消費単価

【参照データ】個人アンケート調査

個人アンケート調査にて最大直近2回の県内旅行について、「旅行の参加人数」と「訪問先における総支出額」から「1人当たりの支出額」を算出し、項目ごとに平均値を算出して採用

	項目
(1)宿泊サービス	5.宿泊代
(2)飲食サービス	6.飲食代
(3)旅客運送サービス	1.交通費
	4.駐車場代
(4)運送設備レンタルサービス	2.レンタカー代
(5)旅行代理店その他の予約サービス	—
(6)文化サービス	8.施設利用費
(7)スポーツ・娯楽サービス	—
(8)小売	3.ガソリン代
	7.買い物代

※「(5)旅行代理店その他の予約サービス」「(7)スポーツ・娯楽サービス」

については、今回の設問構成上作成が難しかったため、対象外としている。

<宮城県内旅行>			
① 訪問先 (単一回答)			
1. 仙南地区 (白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町・村田町・柴田町・川崎町、丸森町)			
2. 仙台地区 (仙台市、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、富谷市、亘理町・山元町、松島町・七ヶ浜町・利府町、大和町・大郷町・大衡村)			
3. 大崎地区 (大崎市、加美町・色麻町、涌谷町・美里町)			
4. 栗原地区 (栗原市)			
5. 登米地区 (登米市)			
6. 石巻地区 (石巻市、東松島市、女川町、)			
7. 気仙沼地区 (気仙沼市、南三陸町)			
8. 不明 ()			
② 旅行全体の泊数 (単一回答)			
1. 日帰り		2. 1泊2日	
3. 2泊3日		4. その他 ()	
③ 旅行の参加人数 (単一回答)			
1. 1人	2. 2人	3. 3人	
4. 4人	5. 5人	6. 6人	
7. 7人	8. 8人	9. 9人以上 ()人	
④ ①で選択した、訪問先における総支出額			
1. 交通費	約 _____ 円/回	2. レンタカー代	約 _____ 円/回
3. ガソリン代	約 _____ 円/回	4. 駐車場代	約 _____ 円/回
5. 宿泊代	約 _____ 円/回	6. 飲食代	約 _____ 円/回
7. 買い物代	約 _____ 円/回	8. 施設利用費	約 _____ 円/回

6. 経済波及効果の推計

6.2. 推計に必要なデータの収集・入力

③その他の指標 (1)限界消費性向

【参照データ】総務省「令和2年家計調査年報」(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)
(宮城県「令和3年度版宮城県社会経済白書」P129より抜粋)

以下の計算式で求められた全国の限界消費性向「**39.7%**」を全地域で採用

$$\text{限界消費性向(\%)} = \frac{\Delta\text{消費支出}\textcircled{2}}{\Delta\text{可処分所得}\textcircled{1}} \times 100 = \frac{323,853 - 315,314}{476,645 - 455,125} \times 100 = 39.7$$

区 分		平成27年	28	29	30	令和元
全 国	実 収 入	525,669	526,973	533,820	558,718	588,149
	可処分所得(手取収入)①	427,270	428,697	434,415	455,125	476,645
	消費支出②	315,379	309,591	313,057	315,314	323,853
	黒 字	111,891	119,106	121,358	139,811	152,792
	非消費支出(社会保険・税金等)	98,398	98,276	99,405	103,593	109,504
	平均消費性向(②/①)	73.8	72.2	72.1	69.3	67.9
世 帯 人 員	3.39	3.39	3.35	3.32	3.31	

6. 経済波及効果の推計

6.2. 推計に必要なデータの収集・入力

③その他の指標 (2) 域内消費率

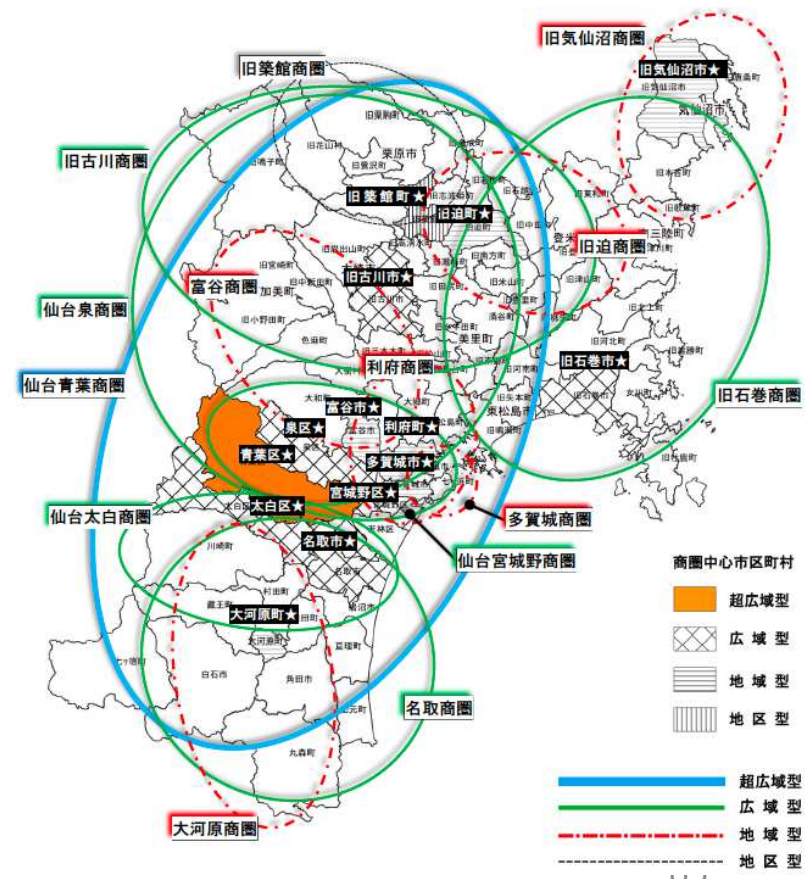
【参照データ】宮城県「平成30年度消費購買動向調査」
 (宮城県「令和3年度版宮城県社会経済白書」P242より抜粋)

それぞれの地域に対応する商圈における、
 代表市町村の「買回品の地元購買率(%)」
 を採用

地域	商圈	商圈類型	代表市町村	買回品の 地元購買率 (%)
仙南地域	大河原商圈	地域型	大河原町	53.0
仙台地域	仙台宮城野商圈	広域型	宮城野区	45.0
大崎地域	利府商圈	地域型	利府町	51.5
栗原地域	旧築館商圈	地区型	旧築館町	32.5
登米地域	旧迫商圈	地域型	旧迫町	61.3
石巻地域	旧石巻商圈	広域型	旧石巻区	87.6
気仙沼地域	旧気仙沼商圈	地区型	旧気仙沼市	72.1
宮城県	仙台青葉商圈	超広域型	青葉区	64.2

※買回品とは、
 衣料品、アクセサリ、玩具・ゲーム、家具、電化製品など、いくつか
 の店舗を見て回り選ぶ商品。(消費購買動向調査報告書より)

宮城県の商圈分布



6. 経済波及効果の推計

6.2. 推計に必要なデータの収集・入力

③その他の指標 (3)年間給与所得平均(全国)

【参照データ】国税庁「令和2年度民間給与実態統計調査」

令和2年の全国平均給与額「3,701千円」を採用

③その他の指標 (4)給与地域補正值

【参照データ】(株)ゼンリンマーケティングソリューションズ「2022年版個人所得指標」

市町村毎の「所得指標」から推計して採用

③その他の指標 (5)調査対象期間

今回、2020年1月～12月で調査を行なったため「12ヶ月」を採用

③その他の指標 (6)域内人口

【参照データ】総務省「令和2年国勢調査」

令和2年国勢調査の結果からそれぞれ人口を採用

地 域	実数 (人)					割合 (%)				
	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
県 計	2,365,320	2,360,218	2,348,165	2,333,899	2,301,996	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
仙 南 広 域 圏	194,884	191,139	183,679	177,192	166,529	8.2	8.1	7.8	7.6	7.2
仙 台 都 市 圏	1,437,181	1,463,279	1,490,098	1,528,508	1,540,389	60.8	62.0	63.5	65.5	66.9
大 崎 広 域 圏	222,513	218,298	210,789	205,925	195,353	9.4	9.2	9.0	8.8	8.5
栗 原 広 域 圏	84,947	80,248	74,932	69,906	64,637	3.6	3.4	3.2	3.0	2.8
登 米 広 域 圏	93,769	89,316	83,969	81,959	76,037	4.0	3.8	3.6	3.5	3.3
石 巻 広 域 圏	229,772	221,282	213,780	193,051	185,679	9.7	9.4	9.1	8.3	8.1
気仙沼・本吉広域圏	102,254	96,656	90,918	77,358	73,372	4.3	4.1	3.9	3.3	3.2

6. 経済波及効果の推計

6.2. 推計に必要なデータの収集・入力

④経費構造、域内調達率

【参照データ】企業アンケート調査

企業アンケート調査にて「経費構造(問5)」「域内調達率(問6)」についてデータを収集し、地域と業種毎にそれぞれ平均値を算出し採用

問5. 2020年度の年間売上高の中で、貴事業所単独で各経費がどの程度かかっていたのかおおよその割合(%)をご記入ください。

科目	売上高に対する比率	備考
① 原材料費(売上原価)	%	製造や料理など原材料費や販売用商品の仕入れなどの費用を指します。農林漁業の場合は肥料・種苗・薬剤・餌代、製造業の場合は加工外注費も含めてご記入ください。また、運輸・交通業の場合には燃料費も含めてご記入ください。
② 営業経費	%	旅費や通信費、水道光熱費、広告宣伝費、消耗品費、修繕費等、製品やサービスを提供するにあたって必要となる費用を指します。農林漁業の場合は、農機具・漁船・漁具費・油費も含めてご記入ください。
③ 人件費	%	貴事業所で働かれている従業員の人件費(パートなどを含む)を指します。役員給与や賞与なども含めてご記入ください。直接労務費や構成比なども含めてご記入ください。個人事業主・家族経営の方は本人や家族の人件費は0とし、所得は全て営業利益に含めてください。
④ その他経費	%	原価償却費や固定資産税などの租税公課、支払利息などが該当します。
⑤ 営業利益	%	売上高から上記の原材料費、営業経費、人件費、その他経費を除いた額をご記入ください。
合計	100%=売上高	

問6. 2020年度における各経費(原材料費(売上原価)、営業経費、人件費)について貴事業所(店舗)単独での支払先(域内(問2で回答した地域のことを指す)、県内、県外)のおおよその割合をご記入ください。

科目	各種経費等支払先(購入先)の比率			
	A.域内	B.域内外の宮城県内	C.宮城県外	合計(A+B+C)
① 原材料費(売上原価)	%	%	%	100%
② 営業経費	%	%	%	100%
③ 人件費	%	%	%	100%

6. 経済波及効果の推計

6.2. 推計に必要なデータの収集・入力

⑤ 本社比率

【参照データ】総務省「平成28年経済センサス-活動調査-」
「事業所における集計-産業横断的集計-」の各都道府県の「(売上高(収入)金額等)」における各地域の「単独事業所数」「本所・本社・本店」「支所・支社・支店」の事業所数をもとに、本社比率を推計し採用

Ex) 宮城県全域の本社比率

$$\text{本社比率(\%)} = \frac{(\text{単独事業所数}) + (\text{本所・本社・本店数})}{\text{総数}} \times 100 = \frac{55,332 + 4,600}{91,315} \times 100 = 65.6(\%)$$

6. 経済波及効果の推計

6.2. 推計に必要なデータの収集・入力 宮城県の場合

1 調査エリア名を入力してください。

調査エリア名	宮城県
--------	-----

2 観光客数を入力してください。

	(日帰客)	(宿泊客)	(合計)
観光客数	13,097 千人	2,288 千人	15,385 千人

3 観光消費単価を入力してください。

	(日帰客)	(宿泊客)	(平均*)
(1)宿泊サービス	194 円	11,166 円	1,826 円
(2)飲食サービス	1,620 円	2,472 円	1,747 円
(3)旅客運送サービス	325 円	417 円	339 円
(4)運送設備レンタルサービス	80 円	153 円	91 円
(5)旅行代理店その他の予約サービス	0 円	0 円	0 円
(6)文化サービス	321 円	444 円	339 円
(7)スポーツ・娯楽サービス	0 円	0 円	0 円
(8)小売	2,382 円	1,422 円	2,239 円
合計	4,922 円	16,074 円	6,580 円

*平均は日帰り客と宿泊客の人数で加重平均を算出

6. 経済波及効果の推計

6.2. 推計に必要なデータの収集・入力 宮城県の場合

4 その他の指標を入力してください

(1)限界消費性向	40%	総務省「家計調査」から算出
(2)域内消費率	64%	自地域の「購買動向調査」等から推計
(3)年間給与所得平均(全国)	¥3,701,000	国税庁「民間給与実態統計調査」から入力
(4)給与地域補正值	90%	JPS「個人所得指標」から自地域の値を入力
(5)調査対象期間	12	ヶ月
(6)域内人口	2,301,996	人

6. 経済波及効果の推計

6.2. 推計に必要なデータの収集・入力 宮城県の場合

5 各業種の経費構造(対売上比率)を入力してください。

(1) 宿泊サービス
(対売上比率: ①+②+③+④+⑤=100)

①売上原価	23%
うち、農林漁業者から直接仕入れる割合	
うち、製造業者から直接仕入れる割合	
うち、卸売業(問屋)から仕入れる割合	
うち、その他(上記以外)から仕入れる割合	
合計	0%
②営業経費	30%
③人件費	40%
④その他経費	14%
⑤営業利益	-6%

(2) 飲食サービス
(対売上比率: ①+②+③+④+⑤=100)

①売上原価	38%
うち、農林漁業者から直接仕入れる割合	
うち、製造業から直接仕入れる割合	
うち、卸売業(問屋)から仕入れる割合	
うち、その他(上記以外)から仕入れる割合	
合計	0%
②営業経費	23%
③人件費	35%
④その他経費	9%
⑤営業利益	-5%

(3) 旅客運送サービス
(対売上比率: ①+②+③+④+⑤=100)

①売上原価	33%
②営業経費	17%
③人件費	52%
④その他経費	13%
⑤営業利益	-15%

(4) 運送設備レンタルサービス
(対売上比率: ①+②+③+④+⑤=100)

①売上原価	39%
②営業経費	13%
③人件費	43%
④その他経費	11%
⑤営業利益	-5%

6. 経済波及効果の推計

6.2. 推計に必要なデータの収集・入力 宮城県の場合

(5) 旅行代理店その他の予約サービス

(対売上比率: ①+②+③+④+⑤=100)

①売上原価	44%
②営業経費	32%
③人件費	30%
④その他経費	7%
⑤営業利益	-14%

(7) スポーツ・娯楽サービス

(対売上比率: ①+②+③+④+⑤=100)

①売上原価	19%
②営業経費	24%
③人件費	44%
④その他経費	12%
⑤営業利益	0%

★全産業

(対売上比率: ①+②+③+④+⑤=100)

①売上原価	44%
②営業経費	20%
③人件費	30%
④その他経費	9%
⑤営業利益	-2%

(6) 文化サービス

(対売上比率: ①+②+③+④+⑤=100)

①売上原価	41%
②営業経費	33%
③人件費	24%
④その他経費	4%
⑤営業利益	-1%

(8) 小売

(対売上比率: ①+②+③+④+⑤=100)

①売上原価	55%
うち、農林漁業者から直接仕入れる割合	
うち、製造業から直接仕入れる割合	
うち、卸売業(問屋)から仕入れる割合	
うち、その他(上記以外)から仕入れる割合	
合計	0%
②営業経費	15%
③人件費	19%
④その他経費	6%
⑤営業利益	4%

6. 経済波及効果の推計

6.2. 推計に必要なデータの収集・入力 宮城県の場合

7 各業種の域内調達率を入力してください。

(1)宿泊サービス	
①売上原価	66%
②営業経費	62%
③人件費	92%

(2)飲食サービス	
①売上原価	70%
②営業経費	78%
③人件費	89%

(3)旅客運送サービス	
①売上原価	88%
②営業経費	89%
③人件費	92%

(4)運送設備レンタルサービス	
①売上原価	11%
②営業経費	89%
③人件費	92%

(5)旅行代理店その他の予約サービス	
①売上原価	47%
②営業経費	82%
③人件費	85%

(7)スポーツ・娯楽サービス	
①売上原価	56%
②営業経費	66%
③人件費	85%

★全産業	
①売上原価	56%
②営業経費	73%
③人件費	88%

(入力のヒント)

域内調達率について
 域内調達率により観光消費の地元へ与える影響が異なります。そこで、原材料費や営業経費、人件費（雇用者）などの程度、自地域内から調達されているか、すなわち地域内調達率を明らかにします。例えば、地域のうどん屋さんの売上のうち、50%が原材料費（主に小麦粉などの食材）だったとします。小麦粉の仕入先が市内の農業者から直接仕入れたのか、県外の間接仕入れ先から仕入れたのかによって、域内に残る観光消費額に違いがでてきます。

域内調達率の算出方法
 域内調達率表を埋めるには、以下の2つの手法があります。

1. 地域内の事業所にアンケート調査を実施して取得する
2. 既存の統計資料の統計値を加工するなどして対応する

全産業の域内調達率について
 全産業の域内調達率については、経費構造と同様に、事業者アンケート調査にてサービス分野各業種以外の産業についても把握し平均値を求める、あるいは事業者ヒアリングから推計します。

(6)文化サービス	
①売上原価	88%
②営業経費	67%
③人件費	92%

(8)小売	
①売上原価	42%
②営業経費	70%
③人件費	86%

6. 経済波及効果の推計

6.2. 推計に必要なデータの収集・入力 宮城県の場合

9 域内事業者の本社比率を入力してください。

(1)宿泊サービス	④本社比率	68%
(2)飲食サービス	④本社比率	68%
(3)旅客運送サービス	④本社比率	51%
(4)運送設備レンタルサービス	④本社比率	83%
(5)旅行代理店その他の予約サービス	④本社比率	78%
(6)文化サービス	④本社比率	80%
(7)スポーツ・娯楽サービス	④本社比率	61%
(8)小売	④本社比率	53%
(9)農林漁業者	④本社比率	82%
(10)製造業者	④本社比率	76%
(11)卸売業(問屋)	④本社比率	53%
★全産業	④本社比率	66%

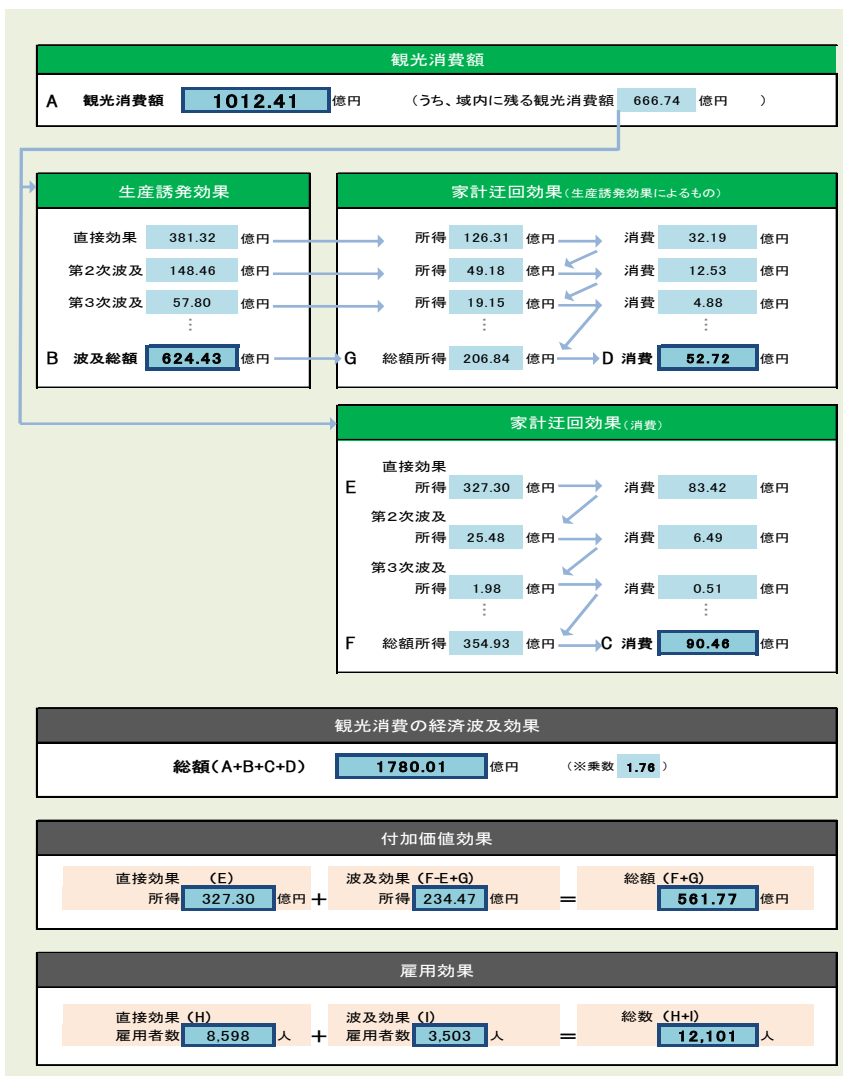
6. 経済波及効果の推計

6.2. 推計結果 宮城県

推計の結果は以下の通り

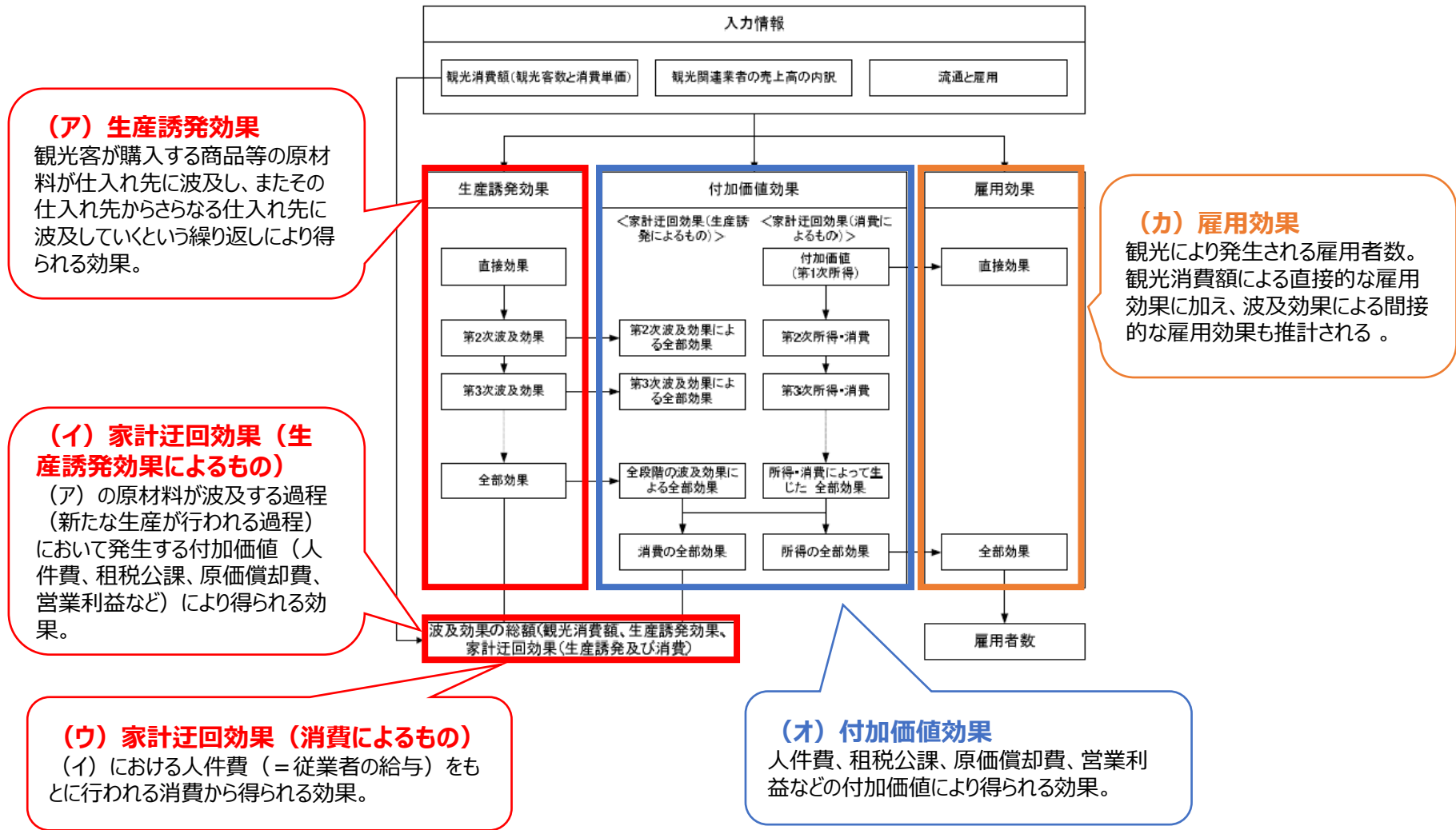
	宮城県
(ア) 生産誘発効果	624.43億円
(イ) 家計迂回効果 (生産誘発効果によるもの)	52.72億円
(ウ) 家計迂回効果 (消費によるもの)	90.46億円
(エ) 経済波及効果	1780.01億円
(オ) 付加価値効果	561.77億円
(カ) 雇用効果	12,101人

推計結果		
日帰り客観光消費単価が	4,922 円	観光客数が
宿泊客観光消費単価が	16,074 円	15,385 千人
の推計結果		



Appendix 推定される効果

(工) 経済波及効果 観光消費額及び (ア) ~ (ウ) により得られる効果。



6. 経済波及効果の推計

6.2. 推計結果 宮城県

結果シート②

1 産業別の観光消費額

	日帰客	宿泊客	合計
観光消費額	644.63 億円	367.77 億円	1012.41 億円
宿泊サービス	25.41 億円	255.48 億円	280.89 億円
飲食サービス	212.17 億円	56.56 億円	268.73 億円
旅客運送サービス	42.57 億円	9.54 億円	52.11 億円
運送設備レンタルサービス	10.48 億円	3.50 億円	13.98 億円
旅行代理店その他の予約サービス	0.00 億円	0.00 億円	0.00 億円
文化サービス	42.04 億円	10.16 億円	52.20 億円
スポーツ・娯楽サービス	0.00 億円	0.00 億円	0.00 億円
小売	311.97 億円	32.54 億円	344.51 億円

2 域内に残る観光消費額

	売上原価および 営業経費として	人件費として	合計
観光消費額	381.32 億円	285.43 億円	666.74 億円
宿泊サービス	94.70 億円	52.49 億円	147.19 億円
飲食サービス	118.99 億円	47.71 億円	166.70 億円
旅客運送サービス	23.12 億円	7.95 億円	31.07 億円
運送設備レンタルサービス	2.15 億円	1.56 億円	3.71 億円
旅行代理店その他の予約サービス	0.00 億円	0.00 億円	0.00 億円
文化サービス	26.01 億円	11.37 億円	37.38 億円
スポーツ・娯楽サービス	0.00 億円	0.00 億円	0.00 億円
小売	116.35 億円	36.12 億円	152.47 億円

6. 経済波及効果の推計

6.2. 推計結果 観光統計概要との比較

今回の簡易システムと、宮城県「令和2年観光統計概要」のP12「(9)観光消費額・観光による経済効果の推計」で使用されているシステム、以下2つの比較を行う。

- ・観光経済波及効果簡易推計システム
- ・宮城県企画部統計課「経済波及効果分析ツール」

【検討方法】

それぞれのシステムにおける推計方法の違いを分析し、各システムで採用している数値の違いについても考察を行う。

ただし、数値の比較においては産業連関表の有無が異なるため、各産業における経費構造や自地域内調達率を比較することは難しい。そのため、「観光客数」「観光消費単価」「推定の結果」についてのみ比較を行う。

6. 経済波及効果の推計

6.2. 推計結果 観光統計概要との比較

【推計方法について】

両推計システムについて、推計方法について比較を行う。

項目	観光経済波及効果 簡易推計システム	宮城県企画部統計課 経済波及効果分析ツール
推定方法	乗数理論	-
取引構造	本事業で実施の企業アンケート調査の結果	H27年宮城県産業連関表
観光客数	観光統計概要より推計	観光庁「共通基準による観光入込客統計」
観光消費単価	本事業で実施の個人アンケート調査の結果	観光庁「旅行・観光消費動向調査」
特徴	産業連関表の作成が必要なく、各地域毎の経済波及効果を比較的容易に算出可能	平成27年宮城県産業連関表を基礎に様々な公的統計から、本来専門的知識や推計のための複雑な計算過程が必要な経済波及効果を自動的に算出可能

6. 経済波及効果の推計

6.2. 推計結果 観光統計概要との比較

【観光客数・観光消費単価について】

「観光客数」については観光統計概要に近い数値を推定できているが、「観光消費単価」については観光統計概要よりも低い額となっている。

「観光消費単価」が低くなった理由としては、新型コロナウイルスの影響で「日帰り旅行とし宿泊旅行を控えた」「普段立ち寄っていた飲食店や商店への立ち寄りを控えた」(個人アンケート調査Q11より)ことが原因と考えられる。

		システム	観光統計概要 (日本人・観光目的)	観光統計概要 (日本人・ビジネス目的)	観光統計概要 (合計)
観光客数	日帰り	13,097千人	11,987千人	132千人	12,119千人
	宿泊	2,288千人	1,030千人	1,142千人	2,172千人
	合計	15,385千人	13,017千人	1,274千人	14,291千人
観光消費単価	日帰り	4,922円/人回	5,853円/人回	4,698円/人回	-
	宿泊	16,074円/人回	25,098円/人回	24,835円/人回	-

※観光統計概要については、以下の方法にて推計している。

「観光客数(人)」= 「③観光消費額(百万円)」 ÷ 「②観光消費額単価(円/人回)」

表6 観光消費額単価・観光消費額

区分	②観光消費額単価(円/人回)				③観光消費額(百万円)				④消費額合計 (百万円)
	県内		県外		県内		県外		
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	
日本人・観光目的	25,098	5,853	29,313	10,346	25,863	70,157	37,336	32,551	165,906
日本人・ビジネス目的	24,825	4,698	28,950	7,606	28,348	624	44,083	3,752	76,807
区分	②観光消費額単価(円/人回)				③観光消費額(百万円)				④消費額合計 (百万円)
	観光目的		ビジネス目的		観光目的		ビジネス目的		
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	
訪日外国人	36,100	0	124,847	-	1,246	-	5,800	-	7,046
合 計									249,759

6. 経済波及効果の推計

6.2. 推計結果 観光統計概要との比較

【推計結果について】

両推計システムでは用いている用語が異なるためその対応について示す。ただし、使用している推定方法が異なるため、一概に横比較はできない点に注意が必要である。

観光経済波及効果簡易推計システム	観光統計概要
A 観光消費額	消費額合計(※県内に限定)
(ア)生産誘発効果	生産誘発額(※観光統計概要には記載なし)
(イ)家計迂回効果 (生産誘発効果によるもの)	-
(ウ)家計迂回効果 (消費によるもの)	-
(エ)経済波及効果	観光による総合波及効果(百万円)
(オ)付加価値効果	-
(カ)雇用効果	雇用誘発数

	システム	観光統計概要
A 観光消費額	1,012.41億円	960.20億円
(エ)経済波及効果	1,780.01億円	896.81億円
(カ)雇用効果	12,101人	8,729人

Appendix 令和2年観光統計概要での記述(P12~13)

表6 観光消費額単価・観光消費額

区分	②観光消費額単価 (円/人回)				③観光消費額 (百万円)				④消費額合計 (百万円)
	県内		県外		県内		県外		
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	
日本人・観光目的	25,098	5,853	29,313	10,346	25,863	70,157	37,336	32,551	165,906
日本人・ビジネス目的	24,825	4,698	28,950	7,606	28,348	624	44,083	3,752	76,807
区分	②観光消費額単価 (円/人回)				③観光消費額 (百万円)				④消費額合計 (百万円)
	観光目的		ビジネス目的		観光目的		ビジネス目的		
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	
訪日外国人	36,100	0	124,847	-	1,246	-	5,800	-	7,046
合 計									249,759

表7 観光消費額・観光による経済効果

区分	消費区分	観光による総合波及効果 (百万円)					波及倍率	雇用誘発数
		観光による直接効果額			波及効果			
		日帰り客	宿泊客	計				
観光目的 県内観光客	宿泊費	0	5,489	5,489	2,713	8,202	149.4%	798
	飲食費	6,356	2,153	8,510	4,206	12,716		1,238
	みやげ代	12,001	2,272	14,273	7,055	21,328		2,076
	交通費	16,269	4,491	20,760	10,262	31,022		3,019
	入場・観覧費・その他	9,290	1,694	10,984	5,429	16,413		1,597
	総額	43,917	16,099	60,016	29,665	89,681		8,729

区分	消費区分	観光による総合波及効果 (百万円)					波及倍率	雇用誘発数
		観光による直接効果額			波及効果			
		日帰り客	宿泊客	計				
ビジネス目的 県内観光客	宿泊費	0	6,827	6,827	3,387	10,214	149.6%	1,068
	飲食費	64	2,678	2,743	1,361	4,103		429
	みやげ代	121	2,826	2,947	1,461	4,408		461
	交通費	164	5,586	5,750	2,853	8,603		899
	入場・観覧費・その他	94	2,108	2,201	1,092	3,294		344
	総額	443	20,026	20,469	10,154	30,622		3,201

6. 経済波及効果の推計

6.2. 推計結果 各地域の結果

各地域の経済波及効果の推計結果を以下に記載する。

- ほとんどの波及効果は「仙台地域」に集中しており、「(ア)生産誘発効果」については宮城県全体を上回っている。
- 「栗原地域」においては「(エ)経済波及効果」が25.27億円と小さく(宮城県の1.4%)、「(カ)雇用効果」も112人と宮城県の0.9%程度である。

	宮城県	仙南地域	仙台地域	大崎地域	栗原地域	登米地域	石巻地域	気仙沼地域
(ア)生産誘発効果	624.43億円	25.26億円	638.27億円	53.02億円	4.50億円	17.18億円	41.73億円	22.86億円
(イ)家計迂回効果 (生産誘発効果によるもの)	52.72億円	1.60億円	37.69億円	3.28億円	0.15億円	1.32億円	4.98億円	2.18億円
(ウ)家計迂回効果 (消費によるもの)	90.46億円	5.11億円	44.58億円	6.47億円	0.61億円	2.17億円	6.50億円	4.38億円
(エ)経済波及効果	1780.01億円	115.02億円	1454.37億円	170.57億円	25.27億円	58.42億円	110.99億円	75.71億円
(オ)付加価値効果	561.77億円	31.90億円	460.51億円	47.70億円	5.82億円	14.36億円	33.01億円	22.94億円
(カ)雇用効果	12,101人	752人	12,083人	1,110人	112人	350人	745人	579人

Appendix 観光統計概要における推定方法

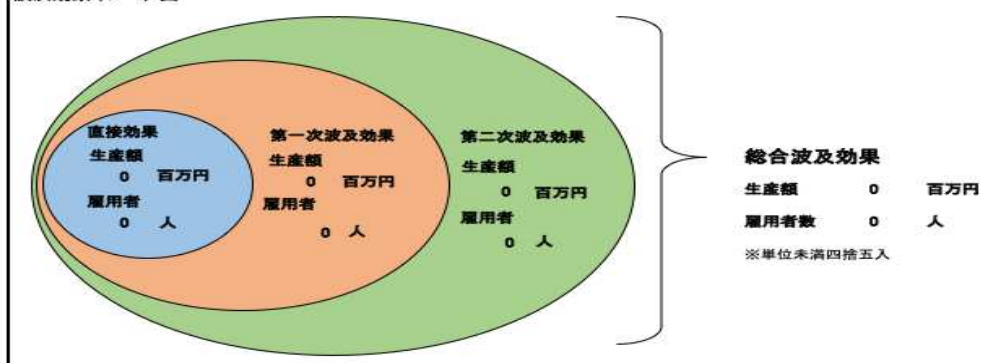
波及効果分析結果

下記の「波及効果イメージ図」、「フローチャート」、「部門別波及効果及び部門別波及効果(詳細版)」が分析結果となります。「波及効果イメージ図」は波及効果が水の波紋のように広がることをイメージしています。

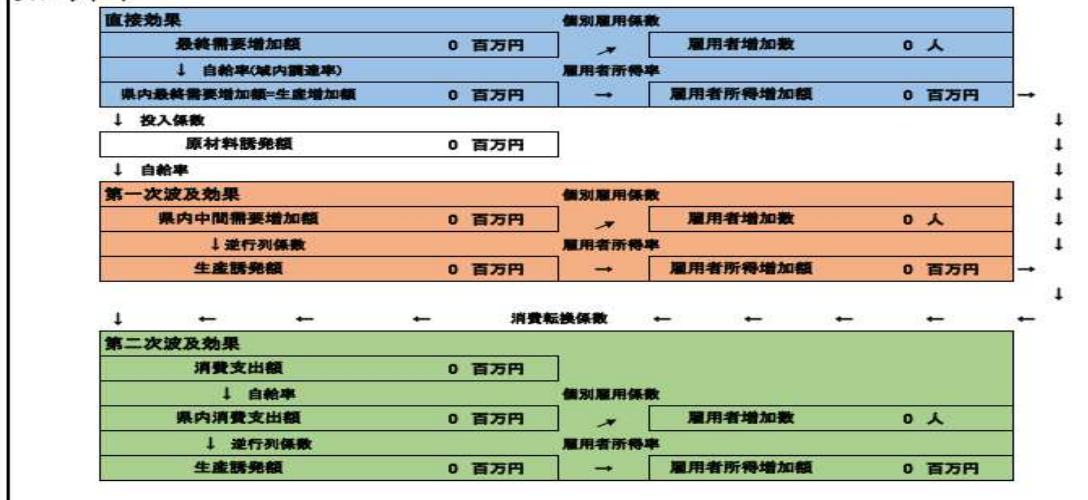
「フローチャート」では、最終需要の増加に伴い直接効果として新たな生産が発生します。第一次波及効果として、直接効果分の生産をするために新たな生産(原材料の生産)が行われます。そして、直接効果、第一次波及効果の生産に伴って、労働者の所得が増加します。第二次波及効果として、その所得が増加した労働者が、新たな消費を行い、それに伴って新たな生産が発生します。各生産の増加に伴って、雇用者数も増加します。以上の波及効果の一連の流れをフローチャートに示しています。

「部門別波及効果」では、各部門の直接効果、第一次波及効果、第二次波及効果でどの程度の波及があったかを示しています。「部門別波及効果(詳細版)」ではさらに詳しく、各部門が波及効果で誘発された生産額、粗付加価値額、雇用者所得額、雇用者数が示されています。

波及効果イメージ図



フローチャート



6. 経済波及効果の推計

6.2. 推計結果 まとめ

【推計結果】

- 全ての地区において、産業連関表を用いずに経済波及効果を推計することができた。
- 宮城県全体に関しては、「令和2年観光統計概要」で示されている波及効果の結果と比較して、本システムの方が経済波及効果は大きくなる傾向がある。
- 今回、「観光経済波及効果簡易推計システム」では、本事業で実施した企業・個人アンケート調査の結果を用いているため、より最新の状況を反映されていると考えられる

【各地域の特徴】

- 「仙台地域」にほとんどの経済波及効果が集中している
- 「栗原地域」では、経済波及効果・雇用効果が宮城県の1%以下である

參考資料

7.参考資料

7.1. 個人アンケート調査票

【全員にお伺いします】

(設問) 現在お住まいの地区にチェックを付けてください。(単一回答)

1. 仙南地区 (白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町・柴田町・川崎町、丸森町)
2. 仙台地区 (仙台市、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、富谷市、亶理町・山元町、松島町・七ヶ浜町・利府町、大和町・大郷町・大衡村)
3. 大崎地区 (大崎市、加美町・色麻町、涌谷町・美里町)
4. 栗原地区 (栗原市)
5. 登米地区 (登米市)
6. 石巻地区 (石巻市、東松島市、女川町、)
7. 気仙沼地区 (気仙沼市、南三陸町)
8. 宮城県以外 () 県)

以下参考

(設問) 2020年1月～現在までに宮城県内旅行(※)に行きましたか

1. 行った () 回)	2. 行っていない
---------------	-----------

→行った回数に応じ、この後の旅行についての表示回数変動します

1 回行っている : 1 回表示

2 回以上行っている : 2 回表示

※「宮城県内旅行」とは

宮城県居住者が県内を目的地とした日帰り旅行または宿泊旅行を行うことを指す。

また、「旅行」とは、日帰り・宿泊の両方と定義するが、日帰りの場合、城外への買い物や通勤など、日常利用が大半を占めるものや、帰省を主目的としたものは含めない。

【前問にて「1.行った」と回答したのみお伺いします。】

(設問) 宮城県内旅行の詳細について教えてください。

<宮城県内旅行>

① 訪問先 (単一回答)

1. 仙南地区 (白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町・柴田町・川崎町、丸森町)
2. 仙台地区 (仙台市、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、富谷市、亶理町・山元町、松島町・七ヶ浜町・利府町、大和町・大郷町・大衡村)
3. 大崎地区 (大崎市、加美町・色麻町、涌谷町・美里町)
4. 栗原地区 (栗原市)
5. 登米地区 (登米市)
6. 石巻地区 (石巻市、東松島市、女川町、)
7. 気仙沼地区 (気仙沼市、南三陸町)
8. 不明 ()

② 旅行全体の泊数 (単一回答)

1. 日帰り	2. 1泊2日
3. 2泊3日	4. その他 ()

③ 旅行の主要な目的 (複数回答)

1. 観光施設の見学・体験 (レジャー施設、城、神社、寺、温泉等)
2. 自然景観や体験 (登山、海水浴、キャンプ等)
3. 地域ならではの食材や地酒、グルメ
4. スポーツ体験 (ゴルフ、スキー、マリンスポーツ等)
5. 知人・友人への訪問
6. ワークেশョン
7. 復興ツーリズム (ボランティア活動、伝承施設への訪問、復興現場の見学等)
8. イベント・お祭り
9. その他 ()
10. 特になし

④ 旅行の参加人数 (単一回答)

1. 1人	2. 2人	3. 3人
4. 4人	5. 5人	6. 6人
7. 7人	8. 8人	9. 9人以上 () 人

7.参考資料

7.1. 個人アンケート調査票

⑤ ①で選択した、訪問先における総支出額

1. 交通費	約	円/回	2. レンタカー代	約	円/回
3. ガソリン代	約	円/回	4. 駐車場代	約	円/回
5. 宿泊代	約	円/回	6. 飲食代	約	円/回
7. 買い物代	約	円/回	8. 施設利用費	約	円/回

【全員にお伺いします】

(設問) 新型コロナウイルス感染症拡大によって、あなたの旅行に関する意識や行動の変化があったか教えてください。(複数回答可)

1. 県外旅行の回数が減少した
2. 県内旅行の回数が増加した
3. 大人教や、家族以外との旅行が減少した
4. 目的地を変更した
5. 普段立ち寄っていた飲食店や商店への立ち寄りを控えた
6. 公共交通機関の利用を控えた
7. 日帰り旅行とし宿泊旅行を控えた
8. 団体旅行から個人旅行に旅行スタイルが変わった
9. その他 ()
10. 特になし

(設問) 以下の各地区に関する観光・旅行に関するイメージを下記選択肢からお選びください教えてください。

※特になければ、特になしと記載ください。

地区	イメージ
1. 仙南地区	
2. 仙台地区	
3. 大蔵地区	
4. 栗原地区	
5. 登米地区	
6. 石巻地区	
7. 気仙沼地区	

1. 商業施設が豊富	2. 自然が豊富
3. 文化的観光施設が豊富 (博物館、歴史館等)	4. レジャー向け観光施設が豊富 (遊園地、スキー場等)

5. 歴史的・文化的建造物が豊富	6. 交通の便が良い
7. 宿泊施設が多い	8. ビジネスでの活用
9. 若者に人気	10. 商業施設が少ない
11. 自然が少ない	12. 文化的観光施設が少ない (博物館、歴史館等)
13. レジャー向け観光施設が少ない (遊園地、スキー場等)	14. 歴史的・文化的建造物が少ない
15. 交通の便が悪い	16. 宿泊施設が少ない
17. 特になし	18. その他 (具体的に)

新型コロナウイルス感染症を踏まえてこれからの旅行選びで魅力的な形態について教えてください。(複数回答可)

1. 密を避けることができるマイカーやレンタカーなどの車移動
2. 体験型観光旅行 (グリーンツーリズム、サイクルツーリズムなど)
3. テレワークを活用しながら、余暇 (バケーション) も楽しむワーケーション
4. 会社の団体旅行より、家族や友人・知人等と出かける個人・小グループ旅行
5. なるべく安価で経済的な旅行形態
6. 高価格ではあるが、プライベート空間のある宿泊等
7. グランピングなど自然環境の中で快適なサービスが受けられるアウトドア
8. 宿泊施設館内で充実して過ごせるプラン
9. 料金が比較的高価格ではあるものの、安心安全の徹底された旅行形態
10. 長期滞在を行い、まちあるきやその地域ならではの体験
11. 一か所に長く滞在するのではなく、様々な観光地へ旅行をしたい
12. 地域ならではのおいしいものを巡るグルメ旅
13. 歴史文化・名所・旧跡などの王道観光地を巡りたい
14. その他 ()

7.参考資料

7.1. 個人アンケート調査票

(追加設問)

新型コロナウイルス感染症を踏まえて、今後どのような観光施策に予算を充てるべきだと思いますか。(各項目単一回答)

◆感染症に落ち込んだ観光需要の回復
1. 観光地として選ばれるための安全・安心対策の更なる可視化と確実な情報発信
2. 入国制限緩和を見据えた訪日外国人への取組
3. 地域の魅力の再発見と観光客の受入体制の構築
4. 交流人口に加えて、関係人口の拡大への取組
◆魅力あふれる観光地づくり
1. 地域資源の発掘・磨き上げ
2. 観光コンテンツの充実
3. 地域ならではの着地型観光プログラムの造成
4. 地域住民の郷土への誇りや愛着の醸成
5. 震災の経験を生かした復興ツーリズムの展開
◆観光産業の体制強化
1. 農林水産業などの他産業との連携強化
2. 地域の価値向上や空間的の魅力創出による地域経済の活性化
3. 観光産業を牽引する担い手の育成・確保
4. 未来を担う観光人材の職業意識の向上
◆受入環境の整備促進
1. 感染症や災害等発生時の観光・宿泊施設等の対応力・態勢強化
2. 旅行者への情報伝達態勢の整備
3. 観光・宿泊施設等の多言語化やキャッシュレス化、ユニバーサルデザイン化
4. ニューノーマルに適応したビジネスモデルの転換
◆戦略的な誘客プロモーション
1. デジタルマーケティングを活用したプロモーションの実施
2. 訪日外国人を対象とした誘客プロモーション
3. 広域観光ルートの充実
4. 仙台空港 24 時間化を契機とした東北への誘客促進
◆その他 ()

7.参考資料

7.2. 企業アンケート調査票

宮城県 観光産業に関する意識調査

(令和3年度地域経済構造分析推進業務)

貴社名			
ご回答部署名	()	ご回答者役職	
ご回答部署TEL	()	ご回答者お名前	

○回答は各設問の該当する**選択肢の番号**に○を付けてください。

問1. 貴事業所について教えてください。(それぞれ当てはまるもの1つに○)

機能	1. 本社機能 4. 研究開発 6. その他()	2. 営業・販売・マーケティング 5. 物流	3. 製造・加工
業種	1. 宿泊サービス 4. 輸送設備レンタルサービス 7. スポーツ・娯楽サービス	2. 飲食サービス 5. 旅行代理店その他の予約サービス 8. 小売	3. 旅客輸送サービス 6. 文化サービス 9. その他
具体的な事業内容 ()			
本社・事業所	1. 本社 2. 事業所 (本社以外)		
従業員	()人 ※うち宮城県内在住者 ()人		

問2. 貴事業所が所在する地域を教えてください。(単一回答)

1. 仙南地域	2. 仙台地域	3. 大崎地域	4. 栗原地域
5. 登米地域	6. 石巻地域	7. 気仙沼地域	8. その他

※本調査では各地域を以下のように設定しています。

地域	市町村名	地域	市町村名	地域	市町村名
仙南地域	白石市	仙台地域	仙台市 (旧仙台市、旧泉市、旧秋保町、旧宮城町)	大崎地域	大崎市 (旧岩出山町、旧雫子町、その他)
	角田市		塩釜市		加美郡加美町
	刈田郡蔵王町		名取市		加美郡色麻町
	刈田郡七ヶ宿町		多賀城市		遠田郡涌谷町
	栗田郡大河原町		岩沼市		遠田郡美里町
	栗田郡村田町		富谷市		栗原地域
	栗田郡牟田町		登米郡登米町		登米市
	栗田郡川崎町		登米郡山元町		石巻市
	伊具郡丸森町		宮城郡松島町		石巻地域
			宮城郡七ヶ宿町		東松島市
	宮城郡利府町	牡鹿郡女川町			
	黒川郡大和町	気仙沼地域			
	黒川郡大畑町	本吉郡南三陸町			
	黒川郡大衡村				

問3. 2020年度の決算における貴事業所(店舗)単独での年間売上高のおおよその総額を教えてください。

貴事業所(店舗)単独での年間売上	()円
(本社・支店がある場合)	
本社・支店などの合計での年間売上	()円

問4. 貴事業所における2020年度の売上全体のうち、旅行・観光客へ対する直接売上のおおよその割合を教えてください。

約()%

問5. 2020年度の年間売上高の中で、貴事業所単独で各経費がどの程度かかっていたのかおおよその割合(%)をご記入ください。

科目	売上高に対する比率	備考
① 原材料費(売上原価)	%	製造や料理など原材料費や販売用商品の仕入れなどの費用を指します。農林漁業の場合は肥料・種苗・薬剤・餌代、製造業の場合は加工外注費も含めてご記入ください。また、運輸・交通業の場合には燃料費も含めてご記入ください。
② 営業経費	%	旅費や通信費、水道光熱費、広告宣伝費、消耗品費、修繕費等、製品やサービスを提供するにあたって必要となる費用を指します。農林漁業の場合は、農機具・漁船・漁具費・油費も含めてご記入ください。
③ 人件費	%	貴事業所で働かれている従業員の人件費(パートを含む)を指します。役員給与や賞与なども含めてご記入ください。直接労務費や構成比なども含めてご記入ください。個人事業主・家族経営の方は本人や家族の人件費は0とし、所得は全て営業利益に含めてください。
④ その他経費	%	原価償却費や固定資産税などの租税公課、支払利息などが該当します。
⑤ 営業利益	%	売上高から上記の原材料費、営業経費、人件費、その他経費を除いた額をご記入ください。
合計	100%=売上高	

問6. 2020年度における各経費(原材料費(売上原価)、営業経費、人件費)について貴事業所(店舗)単独での支払先(域内(問2で回答した地域のことを指す)、県内、県外)のおおよその割合をご記入ください。

科目	各種経費等支払先(購入先)の比率			合計(A+B+C)
	A.域内	B.域内外の宮城県内	C.宮城県外	
① 原材料費(売上原価)	%	%	%	100%
② 営業経費	%	%	%	100%
③ 人件費	%	%	%	100%

問7. 問6「C.宮城県外」について各経費における貴事業所(店舗)での県外の主な支払先についてそれぞれ教えてください。

科目	県外の主な支払先								
① 原材料費(売上原価)	1. 岩手県	2. 山形県	3. 福島県	4. 北海道	5. 東北	6. 関東	7. 中部	8. 近畿	9. その他()
② 営業経費	1. 岩手県	2. 山形県	3. 福島県	4. 北海道	5. 東北	6. 関東	7. 中部	8. 近畿	9. その他()
③ 人件費	1. 岩手県	2. 山形県	3. 福島県	4. 北海道	5. 東北	6. 関東	7. 中部	8. 近畿	9. その他()

7.参考資料

7.2. 企業アンケート調査票

問 8. 貴地域における観光業に対する強みを教えてください。(複数回答)

1.商業施設が豊富	2.自然が豊富	3.文化的観光施設が豊富 (博物館、歴史館等)
4.レジャー向け観光施設が豊富 (遊園地、スキー場等)	5.歴史的・文化的建造物が豊富	6.交通の便が良い
7.宿泊施設が多い	8.観光客の滞在時間が長い	9.特になし
10.その他 ()		

問 9. 域内での取引(原材料や商品)が増加することは、地域経済の活性化に繋がりますが、域内で取引を行うことに対してどのようなメリットを感じますか。(複数回答)

1.地域の活性化を身近に感じる	2.地域の強み(地域ブランドなど)をアピールできる	3.事業者間の繋がりを維持できる
4.輸送コストの削減	5.取引先との信頼関係を構築しやすい	6.小回りの利対応が可能
7. 特になし		
8.その他 ()		

問 10. 観光客増加を進めるために、貴社が行っていること(行ってみたいこと)があれば教えてください。(上位3つまで)

①現在行っていること	具体的に ()
②今後行いたいこと	具体的に ()

(選択肢)

1.SNSの活用	2.HPでのPR	3.積極的なテレビCM
4.観光マップの作成	5.インターネット販売	6.ふるさと納税への参画
7.駐車場の拡大	8.バスツアーの企画	9.特になし
10.その他 ()		

問 11. 観光客増加を進めるため、必要だと思う点について教えてください。(複数回答)

1.産学官連携による観光振興促進	2.着地型観光プログラムの造成	3.魅力的な地域資源
4.安全安心の確保	5.バス・鉄道・飛行機など交通網の整備	6.映画・ドラマ・アニメとのタイアップ
7.観光人材の確保	8.地域一丸となったPR策	9.特になし
10.その他 ()		

問 12. 観光と他産業の連携について、重要だと思う産業を教えてください。(複数回答)

1.農業	2.林業	3.水産業
4.医療・福祉	5.製造業	6.建設業
7.教育	8. 特になし	
9.その他 ()		

問 13. 貴社が行っている(行ってみたい)デジタル化に向けた取組について教えてください。(上位3つまで)

①現在行っていること	具体的に ()
②今後行いたいこと	具体的に ()

(選択肢)

1.モバイルアプリの開発・運用 ^{※1}	2.HPなどにおけるチャットボットの活用 ^{※2}	3.電子チケットの導入
4.生体認証の活用 ^{※3}	5.デジタルサイネージ・案内表示の活用 ^{※4}	6.音声ガイド ^{※5} の導入
7.キャッシュレス決済の導入	8.混雑・渋滞予測の導入 ^{※6}	9.環境モニタリング ^{※7} の活用
10.AR・VR ^{※8} の導入	11.受付・掃除・運搬ロボット ^{※9} の導入	
12.その他 ()		

【具体例】

- ※1 観光アプリ・ナビゲーションアプリ(交通飲食等)など。
- ※2 HP上でサイト訪問者のからの質問の対応など、オンライン上において自動で対応をするものなど。
- ※3 顔認証観光案内板や顔認証による施設入場及びアトラクション搭乗など。
- ※4 デジタル案内標識など。
- ※5 音声ガイドアプリ、音声ガイド付きデジタルスタンプラリーなど。
- ※6 交通における位置情報やビッグデータを活用した混雑予測など。
- ※7 各種センサーにより大気汚染や騒音、水質のモニタリングなど。
- ※8 バーチャルツアーなど。
- ※9 飲食店や大規模施設における掃除ロボット、運搬ロボットなど。

問 14. 貴社のデジタル化の取組を阻む要因を教えてください。(複数回答)

1.資金不足	2.デジタル人材 ^{※1} の不足	3.具体的な利用イメージが不明
4.活用用途がわからない	5.効果・メリットがわからない	6.顧客ニーズの有無がわからない
7.現状、必要としていない	8. 特になし	
9.その他 ()		

※1 最先端テクノロジーを活用した企業のデジタル化の推進や組織の成長につなげられる人材を指し、ITに係る知識を持つ人材をなど。(具体例：データアナリスト、プログラマーなど)

問 15. 現在、貴社で求めている人材について教えてください。(複数回答)

1.デジタル人材	2.接客に特化した人材	3.観光ガイド
4.体験メニューのインストラクター	5.物産品の開発・研究	6.学生インターン
7. 特になし		
8. その他 ()		

問 16. その他意見がありましたら、ご自由にお答えください。

ご協力いただきありがとうございました。同封の返信用封筒にて、ご返送をお願いいたします。

7.参考資料

7.3. 企業ヒアリング調査票

宮城県 観光産業に関する意識調査 (令和3年度地域経済構造分析推進業務)

【担当調査員への注意事項】

・本ヒアリング調査は、事前に郵送調査を送付した企業を対象としています。
郵送調査に回答いただいた企業に関しては、回答結果をお渡しいたしますが、未回答企業に関しては、ヒアリング前に送付して回答いただき、ヒアリング時に回収するか、ヒアリング時に聞き取って記入していただくかどうかで対応し、回答結果を官公庁ソリューション課に送るようにしてください。
※特に郵送調査票の間1～問7は回答いただくようお願いしてください。

・調査員は項目内容を全てヒアリングしてください。
(例:「問〇 については×××と回答されていますが、具体的にはどういった状況でしょうか?」など)

回答者情報

調査支店・		調査日時	年	月	日
調査員氏名					
商号					
所在地					
部署名		ご回答者様氏名			
役職等		TEL			

●【郵送調査票：問8 貴地域における観光業に対する強みを教えてください。】の回答について具体的にお聞かせください。

郵送調査の回答結果 ※転記をお願いします。	1. 商業施設が豊富	2. 自然が豊富	3. 文化的観光施設が豊富 (博物館、歴史館等)
	4. レジャー向け観光施設が豊富 (遊園地、スキー場等)	5. 歴史的・文化的建造物が豊富	6. 交通の便が良い
	7. 宿泊施設が多い	8. 観光客の滞在時間が長い	9. 特にない
	10. その他 ()		
具体的な内容	※具体的な施設名称など		

● 貴地域における観光業に関して課題と感じている点について具体的にお聞かせください。

課題	※観光・旅行者が多いが、客単価が低いなど
----	----------------------

● 貴地域における、観光客増加を進めるために地域全体で行っている取組、または、これから行う予定の取組があればお聞かせください。

施策取組	※旅行会社・鉄道会社・バス会社と連携したツアー企画 など
------	------------------------------

● 貴地域における、観光客増加を進めるために行政に求める支援等あればお聞かせください。

支援等	※旅行会社・鉄道会社・バス会社と連携したツアー企画 など
-----	------------------------------

● 域内での取引(原材料や商品)が増加することは、地域経済の活性化に繋がりますが、域内で取引に関する課題・問題についてお聞かせください。

課題・問題	※調達したい原材料や商品(具体的な名称)を取り扱っていない企業が域内に存在しないなど
-------	--

●【郵送調査票：問14 貴社のデジタル化の取組を阻む要因を教えてください。】具体的な課題・問題についてお聞かせください。

郵送調査の回答結果 ※転記をお願いします。	1. 資金不足	2. デジタル人材 ^{※1} の不足	3. 具体的な利用イメージが不明
	4. 活用途がわからない	5. 効果・メリットがわからない	6. 顧客ニーズの有無がわからない
	7. 現状、必要としていない	8. 特にない	
	9. その他 ()		
具体的な課題・問題	※「2. デジタル人材不足」のようなスキルの人材が必要がわからない、募集してもみつからないなど		

● 宮城県内において、経済を活性化していくための意見がありましたらご自由にお答えください。

意見	※地域の特性を生かしたプロモーションをしてほしいなど
----	----------------------------